

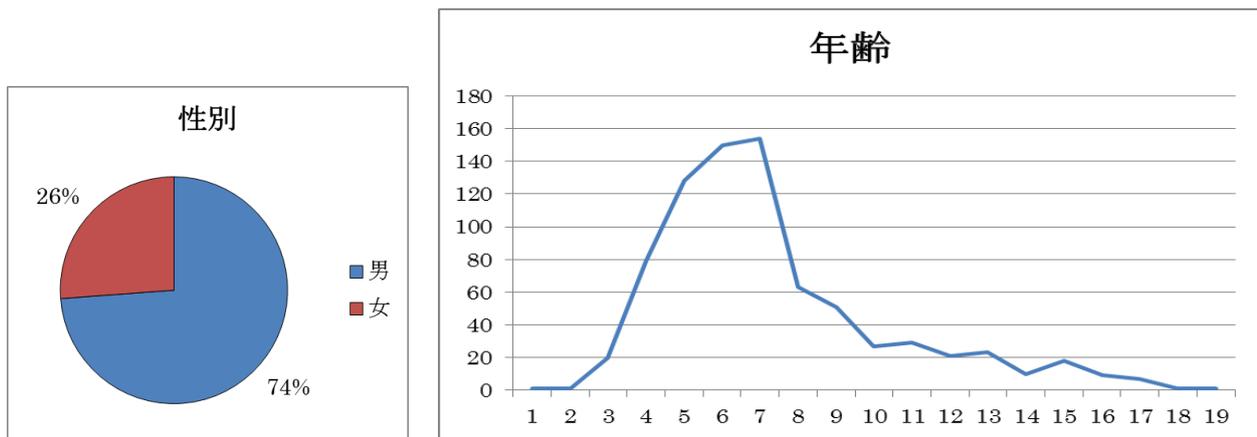
児童発達支援（療育）に関するアンケート集計結果

回答数 808 / 1,809

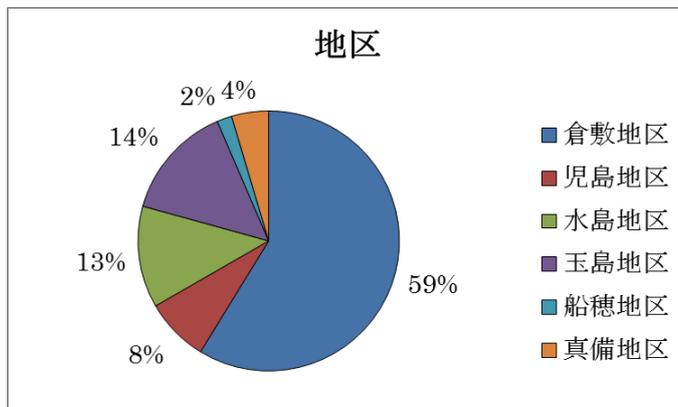
回収率 44.7%

はじめにお子様について基本的な事柄をおうかがいします。

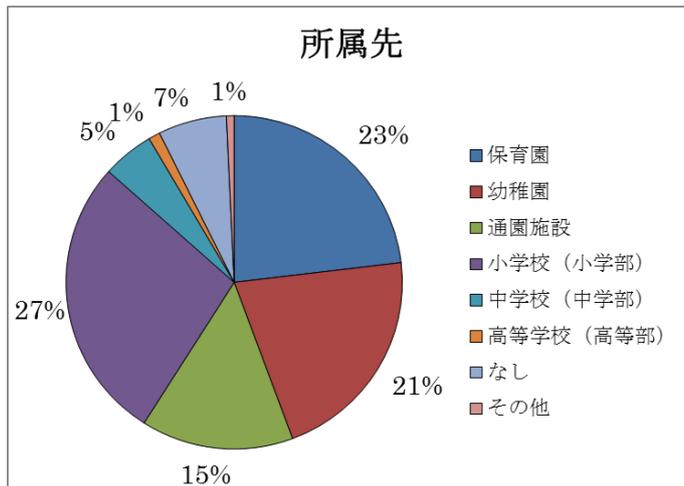
問1 お子様の性別と年齢をおきかせ下さい。



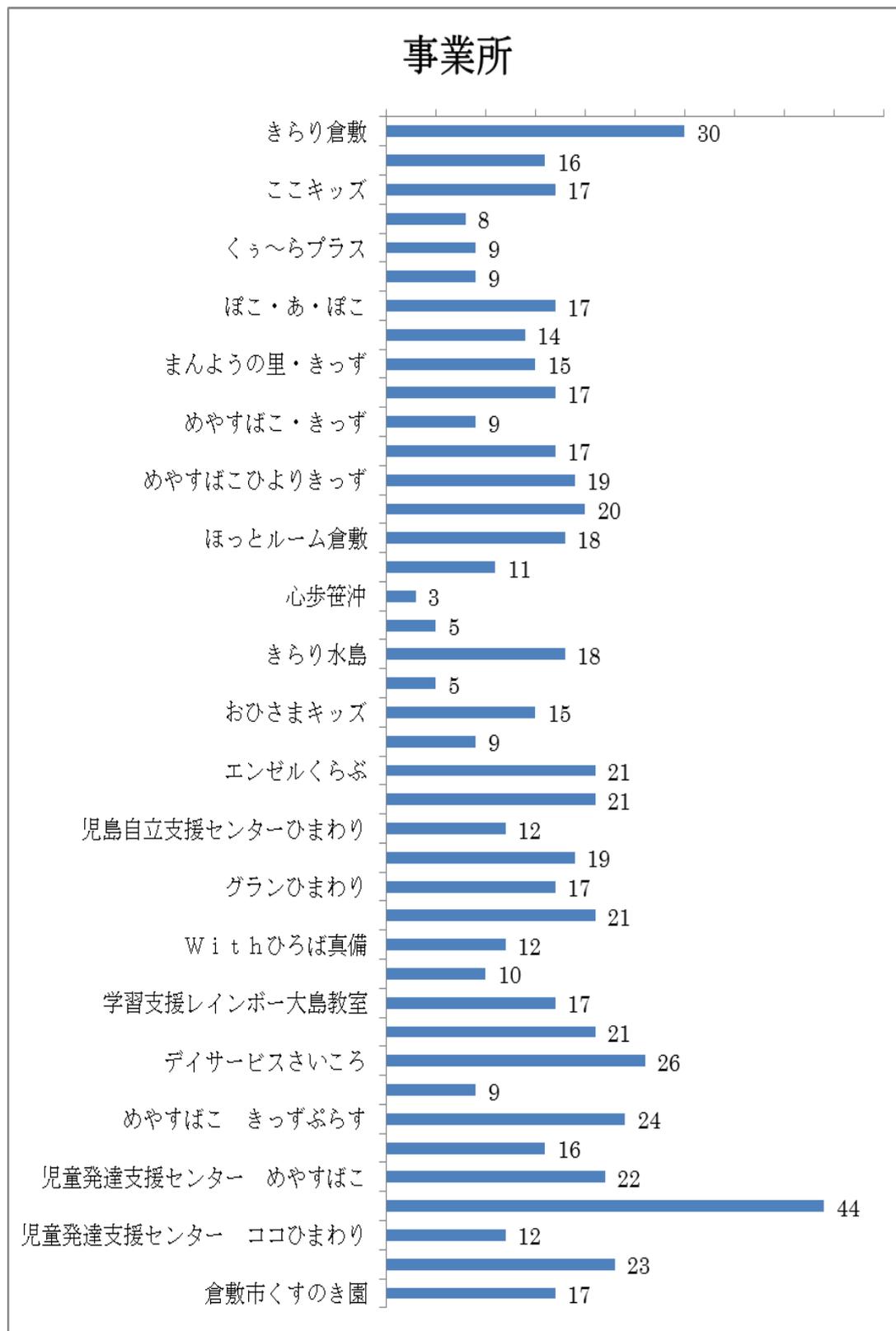
問2 お住まいはどちらの地区ですか。



問3 お子様の所属先はどちらですか。



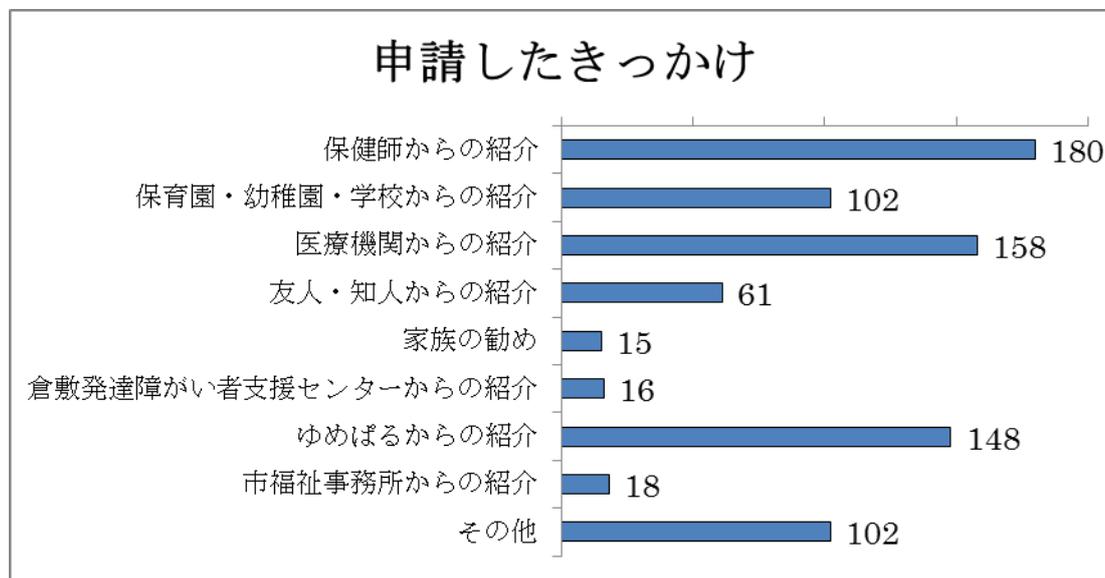
問4 現在通っている児童発達支援（療育）の事業所はどこですか。



(※市内の事業所のみ抜粋)

児童発達支援（療育）の利用状況についておうかがいします。

問5 児童発達支援（療育）を申請したきっかけは何ですか。

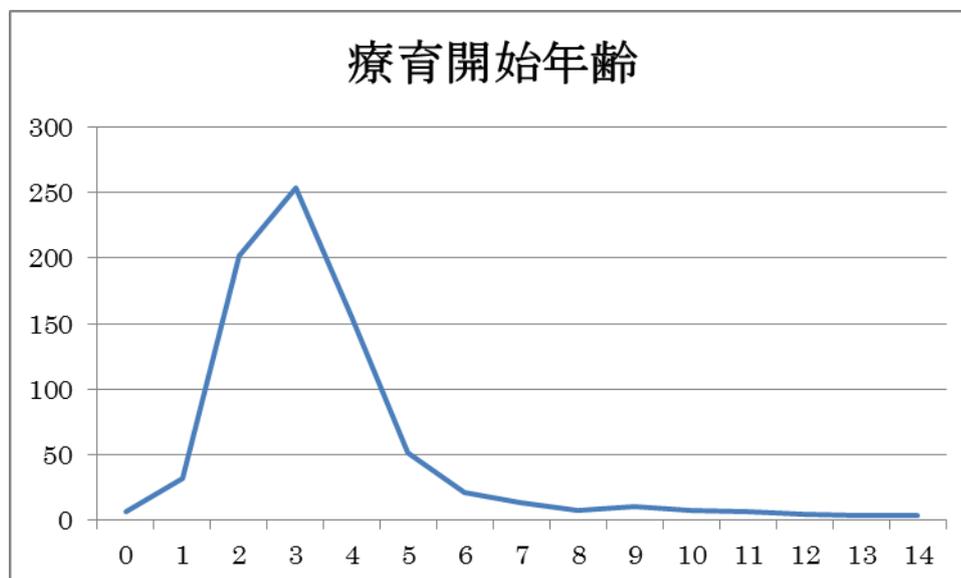


<その他の意見>

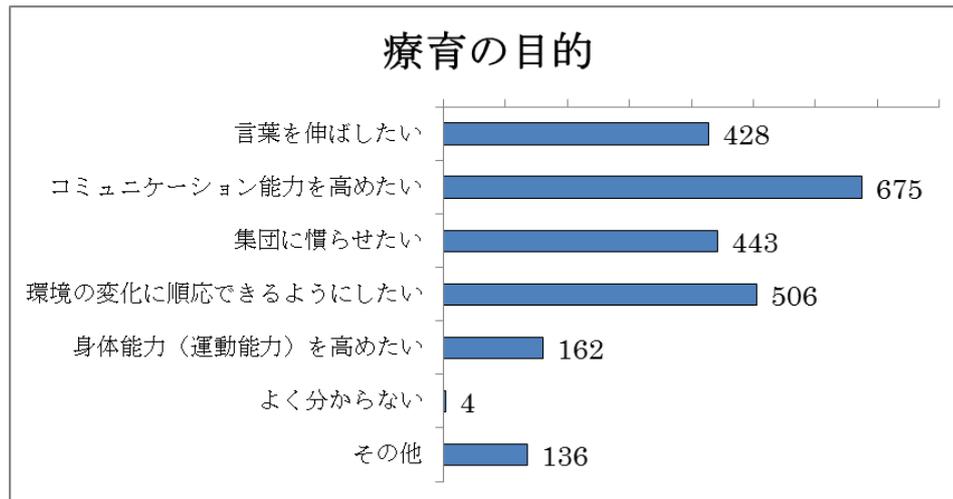
- ・自分でネットで探した。
- ・兄弟が利用していたため。
- ・児童相談所からの紹介。
- ・日中一時支援事業所の紹介。

他

問6 お子様、児童発達支援（療育）を利用しはじめたのは何歳からですか。



問7 児童発達支援（療育）を利用する目的は何ですか。

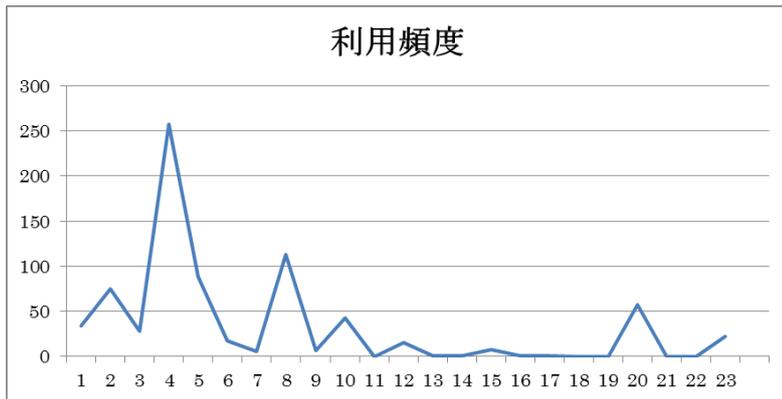


<その他の意見>

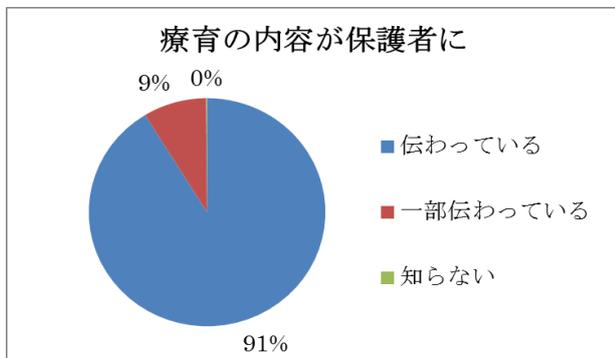
- 子供がのびのび育つように必要なことを少しずつ身につけたい。
- 自分のことが出来るようになって欲しい。（着替え等）
- 多動傾向でじっとしている事ができる様に
- 親が出来ない専門的なところに関わりたと思った。
- 自信を持たせて、自己肯定感をもたせたい。
- 困った時にSOSを発することができるようになる。
- 社会人になった時、自立した生活を送れるように本人を助けてあげたい（スキルUP）。
- 同じような境遇のお母さんたちと情報交換などをしてほしい。
- 子どもの困った時の対応などを学びたと思った。
- 療育を通して、いろいろな経験をさせたいから。
- 遊ぶ時や話す時何をすればいいのかわからないことが多いので周りに助けてもらいたいと思った。
- 支援が必要な子の子育てをするにあたりプロのアドバイスがほしいから。また情報を得たいため。
- 自立していく力、まずは考える力、親からの心の自立
- 成長して登校拒否やひきこもりにならないように今からできることは早めに手を打ちたかった。
- 勉強がうまくできず、つまりいて嫌いになりかけていたため、他の事にも不安定になっていた。
- 行動療法により社会性を身につけ学童としての学習の困難な点を見極め援助につなげる。
- 学校に行きづらさがあるので家以外の居場所の1つとして利用したいため
- 切り替えの悪さや癇癪があり、どんな対応をしたら良いか私自身も勉強するため。

他

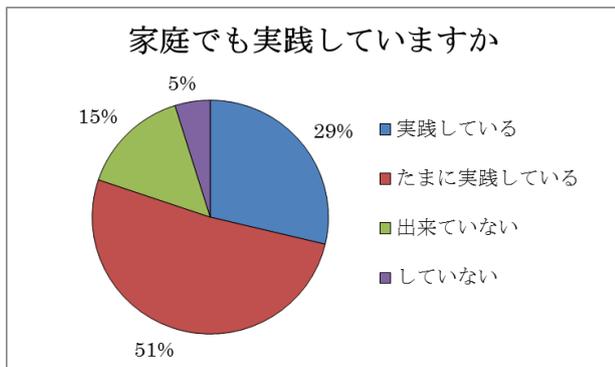
問8 現在の児童発達支援（療育）の利用状況を教えてください。月に何回程度利用していますか。



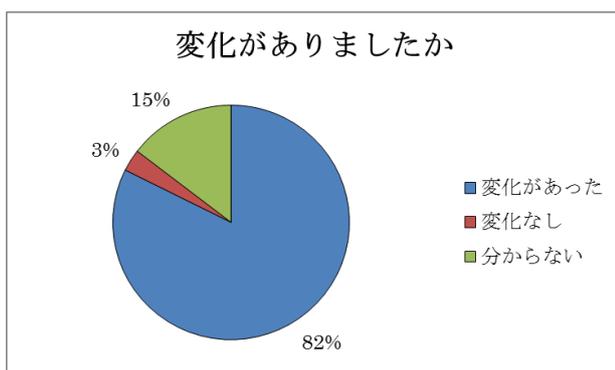
問9 お子様が受けている療育（活動）の内容や目的について、事業所から説明を受け、保護者の方に伝わっていますか。



問10 児童発達支援での療育（活動）をご家庭でも実践されていますか。



問11 児童発達支援（療育）に通うことでお子様に何か変化がありましたか。

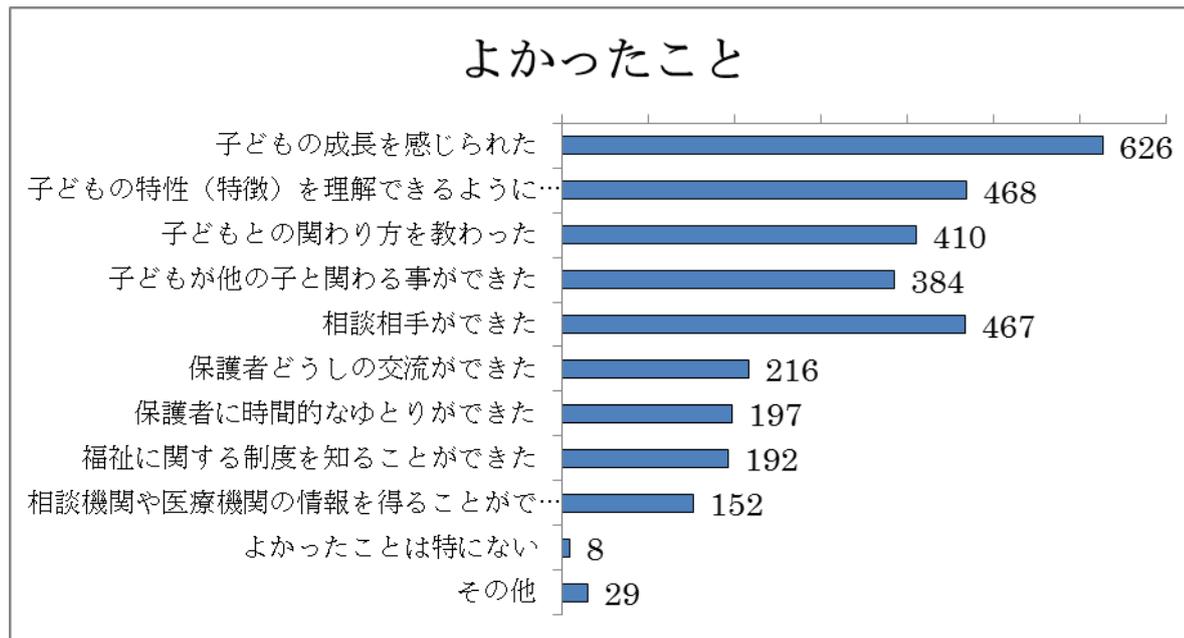


問 12 具体的にどのような変化が見られましたか。

- 言葉の伸びがみられ、同世代の子への関心が高まっていると思います。
- 自分の思っていることを先生にたずねてみたり、友達に思いやることが増えたこと。
- お友達との関わりの中で楽しさを見つけ、学校以外でもお友達と楽しく過ごせる様になりました。
- 身の回りのことが自分で出来る様になった。話を聞ける様になってきた。
- 挑戦しようとする様になった。トイレに行ける様になった。お箸が使える様になった。
- 少数の集団の中で、他人との関わり方を学び、落ち着いて対応できるようになった。
- 他の児童との関わりで、少しくらい嫌なことがあっても泣いたり、怒ったりすることが減った。
- 他害・多動傾向がおさまり、言葉で気持ちを伝えたり、立ち歩きなく座って話が聞けるようになった。
- 勝負事が苦手でしたが、チャレンジしたり、負けても受け入れることが出来る様になった。
- 自分が我慢しないといけない時は、ゆずり合うことができるようになった。
- 自分から楽しかったことを親に伝えることを親に伝えることができるようになってきている。
- イライラとヒステリックになる回数が減った。
- 思い通りにならない時に、待つ、交渉するなどの柔軟な対応ができるようになった。
- 椅子に座れるようになった。
- 家だけではなく外でお友達と遊ぶことが楽しということがわかってきました。
- 着席できる時間が増えてきた。見通しをもって活動にとりくめていると思う。
- 勉強習慣がついた。ルールの理解ができるようになった。
- いろんな表情が見られるようになった。興味が出るように
- 他の子と積極的に関わられるようになった。ルールを理解したり、指示を聞いて動けるようになった。
- 明るく楽しく、自信をもって毎日過ごしています。よく歌い、おしゃべりできるようになっています。
- 自分だけの世界から、大人へ、お友達へと興味がでてきた。
- 人との関わり方が上手になった。困った時に助けを求めることが出来るようになった。
- 知識も増えるので、ふとした時に知っていると、覚えたことを家族に話してくれるようになった。
- 他の人の動きを見なくても、先生などの指示を聞き行動できる様になってきた。
- 言葉が爆発的に増え、コミュニケーションがとりやすくなった。
- 親が子供の性質を理解して正しく接することができるようになった
- 最後まで説明を聞く事が出来る。分からない時、人に聞く事ができる。

他

問 13 児童発達支援（療育）を受けて良かったと感じることは何ですか。

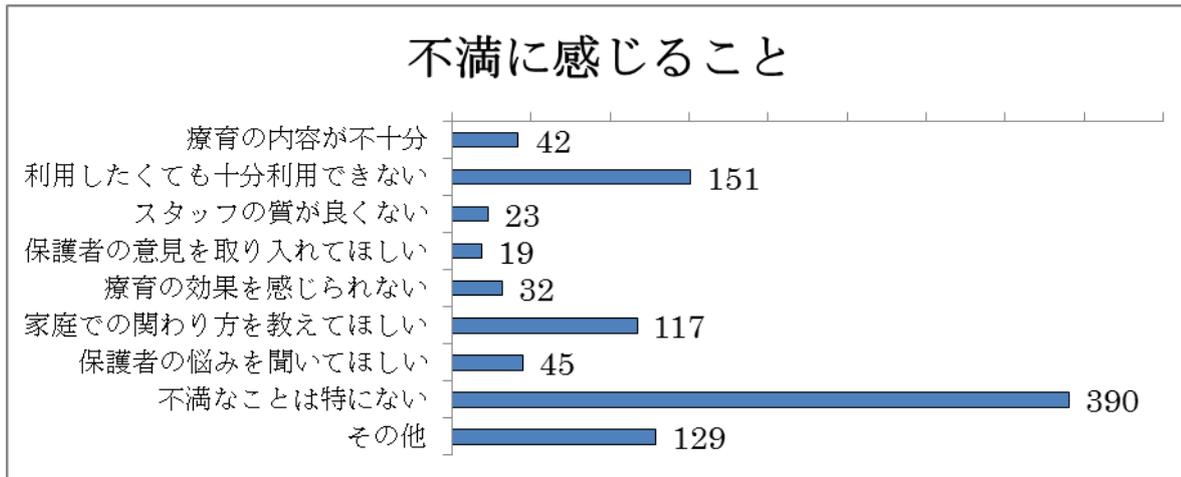


<その他の意見>

- ・お母さん会がありいろいろと親も勉強ができた！。
- ・子供がうれしそうに通っている。
- ・相談できる場所、専門的意見がいつでも聞けるという安心感が親に余裕を与えている。
- ・入園、入学等で必要なことを療育の中に取り入れてくれる。(例、板書の練習)
- ・家庭以外の居場所、安心して楽しく有意義に過ごせる場所ができた。
- ・親一人でなく、だれかが一緒に我が子の問題を知って教えてくれているという安心感。
- ・入学後子どもにとっても相談できる場所が増える。
- ・保育園、親の間の橋渡し役や情報共有していただきよかった。
- ・無理解な担任の先生との間に入ってくれること。
- ・園では一人ずつの対応が難しいので、教育面や生活面で必要な事がしっかりと目がいきとどいている。
- ・学校と連携してくれるので、家、学校、療育とで同じような声掛けサポートができる。
- ・大まかな行動への支援方法とその視点、対応を知る事ができた
- ・本人を認めて見守ってくれる人の存在が心強かったです。
- ・小学校で普通学級で適応できている。
- ・子どもに良い友だちができた。
- ・子どもとコミュニケーションを上手くとれるようになった。

他

問 14 児童発達支援（療育）に対して不満に感じることは何ですか。

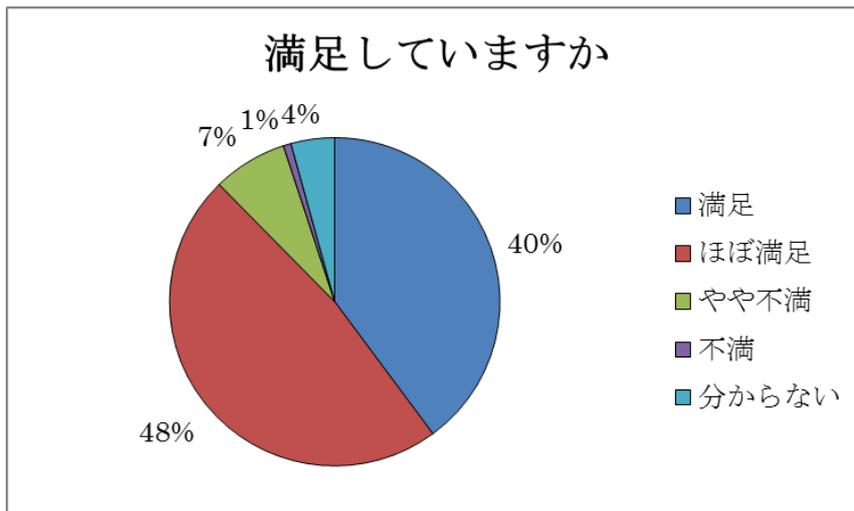


<その他の意見>

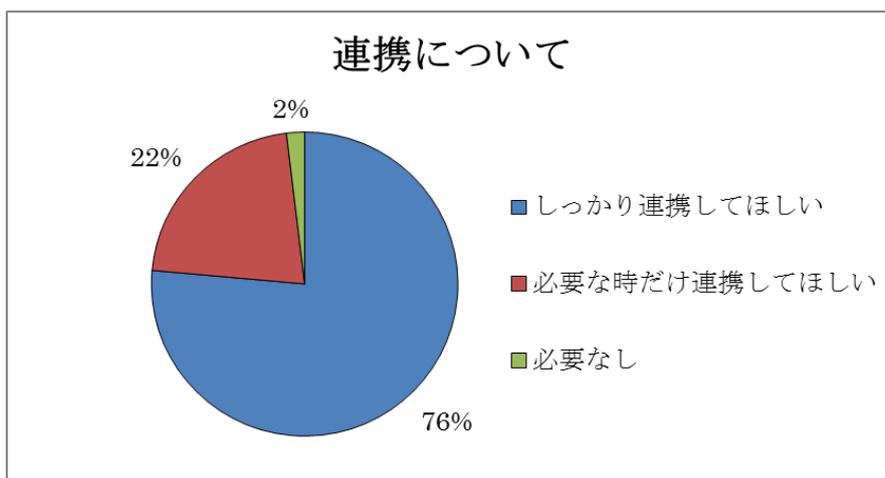
- 受け入れる時間をもう少し早くしてほしい。
- スタッフとの交流の場を設けてほしい。
- 個々の職員のレベルの格差。
- 体に使うこと（運動的な要素）を取り入れてほしい。
- 保護者どうしの交流が持てない。放課後等デイサービスへつなげてもらえない。
- 医療機関の情報を持ち、つなげて欲しい。
- 重症のため、医者つきじゃないと利用できないサービスがある。
- 送迎があればうれしい。
- 年に一度位参観の機会があれば、どの様な様子かを知る事が出来ます。
- 利用までの手続きや施設・病院不足ですぐに支援が受けられない。
- 手帳の更新手続きが面倒。
- スタッフが2度ほどかわってしまい、やっと分かってもらったのに…という事があった。
- 倉敷はデイサービスは1つの事業所しか利用してはいけない規則があり利用できなかった。
- 療育の数がなかなか少ない。質にもばらつきがあり、いいところに集中している。
- 学校との連携がないので仲介してほしい。
- スタッフが入れ替わり、責任者と現場のコミュニケーションがうまくいっていない。
- 療育も学校のように年1度くらいは日ごろの様子を見学できればと思います。
- よく勉強されている先生もいるが、そうでもないかなという先生もいる。

他

問 15 児童発達支援（療育）に対する満足度をお聞きします。



問 16 児童発達支援（療育）のスタッフと学校（保育園・幼稚園）、医療機関、保健師などがあなたのお子様の支援内容などの情報を共有し、連携することについてどう思いますか。



具体的にどのような連携が必要なのか、イメージがあればお答えください。

- 事業所で受けている療育を、学校でも取り入れてほしい。
- 子供にとって保育園や学校はとてもしめる割合大きいと思うから療育中だけでなく、保育園にも子供の特徴を理解し、対応してもらえたら嬉しいとは思いますが。
- 幼稚園での様子や療育での様子を今は親が双方に伝えているが、これが直接幼稚園と療育機関での情報交換になればもっと、もっと親が伝え忘れていた事も共有できて双方での対応に役立つのではないかなと思う。
- 定期的に幼稚園を訪問し、子供の対応の仕方、特性等をしっかり伝えてほしい。
- どのような療育を受けているか、学校や病院でも把握してほしい。
病院（アドバイス）→療育←（把握）→学校。
- 児童発達支援と学校との連携を密にしてほしい。文章、文面でなく、学校側と会って話してほしい。

- 病院で受けているリハビリの様子を療育の方に伝えられるように、リハビリの方からよりわかりやすい説明（治療内容、その狙いなど）がほしい。リハビリで新しく大きな取組をすることになる時は、療育の方にもできれば同行してほしい。家ではない療育内での人とのかかわり方など、親にはわかりづらいところを共有してほしい。
- 学校での困り事について、保護者が学校とスタッフの間に入って相談をしてもうまく伝わっているか不安なので、直接先生が相談できると確実かなと思う。
- 家で、療育先で、学校で、姿が違ふと思うので、親がワンクッションになるだけでなく、学校で直接やりとりをして、対策を考えてほしい。
- 事業所、学校で状況、様子、対応の仕方、こんな時はこんな対応しているなど…作成した資料（事業所、学校お互いに資料作成してほしい）を連携して見るようにしてほしい。
- 学校の懇談で話して下さる学校生活での問題や改善点を事業所と共有できたら良いと思います。保護者から事業所へ伝えられることも必要なことだと思いますが、何か伝えるための書式のようなものがあれば、伝えやすいかと思います。
- 学校などは一年単位になりがちなので、長期的なつながりをもってほしい。
- 医療機関（リハビリ含め）や、医療機関などに行く度に子どもの様子を何度も何度も毎回同じような事柄を説明しないといけないので、共有できるシステムがあればありがたいと思う。
- 子供の成長は早く、速い対応が成長をうながせるので、関わりあう大人全てが情報共有を密にし、積極的な意見交換が望めます。
- 事業所のスタッフは園の、園の先生は事業所を見学し、情報交換をして欲しい。事業所、病院、保健師等の発達障害の専門知識を持った方が園へアドバイスできる体制を整えて欲しい。
- 事業所のスタッフ、園、保健師の方々に「発達障害」の正しい知識を身に付け、深めて欲しい。
- 事業所で受けている療育内容を園に知らせてもらえる書類があれば園にも伝えやすい。
- 年1回は学校、療育機関、保護者をまじえて、ケース会実施してほしい。
- 医療機関でのこんなことをもっと伸ばした方がよいなどの意見を事業所向けに文書を作成して欲しい。口頭で保護者が伝えるのもよいが全てを伝え切れないし…忘れてしまったり…事業所の方も全てを覚えていられないのではと感じる。全ての専門職者が共通して閲覧情報共有できるシステムを作った方がよいのでは。
- 学校や保健師等、専門でない方でも、子どもの障害の特性を理解してもらった上で関われる様にしてほしい。
- 子供の特性理解において情報共有できるといろいろな場面で対応しやすい。先生が対応に困った時など療育機関に相談できるといいなと思います。
- 事業所は発達障がいに関して、専門的ではあるが、日常は学校が主なので、学校が主、療育が補佐の様な連携が望ましいです。。
- どちらとも施設での状況を情報共有し、リアルタイムで困難な所を共有し、対応をしてもらいたい。保育園でも、行事だけではなく、リアルタイムの本人の状況を療育の先生が見に来る時は見せてほしい。

- 学校や園の職員も療育研修や見学を行い、発達障害に対する知識を身に付けてほしい。療育のスタッフから学校や園の担任へその子の得意、不得意どのように接すればいいかパニックになった時の適切な対処法を伝えてほしい。
- 連絡帳の共有をしました。(幼稚園、療育、親)それぞれの状況や悩みが共有できて、とてもよかったので、みなさんにもお勧めします。
- 学校側も事業所側も、お互いに生活の様子を見に来て欲しい。学校側の先生が支援が必要なこのやり方、教え方などくわしく理解されてたり、資格があるようならいいですが、そうでないのなら、もっと理解するためにも事業所との連携をとってもらいたい。
- 小学校の担任教員に事業所の様子を見に来てほしい。事業所のスタッフが小学校の様子を見に来てほしい。そこで知り得たことを保護者に伝えてほしい。小学校の担任教員、事業所のスタッフ、保護者の三者面談(保護者の親も含む)をして頂けたらと思います。
- 親という時と学校、療育などにいる時と本人が(様子)違う時などがあります。そういう時、親の知らない様なことなどこちらが聞かれてもわからない事もあるので時折文章などで密にやり取りしてもらいたい。
- できないことの共有や、具体的などんなことをしたらよいかなど教えてほしい。保育園のころは、何度か生活している様子を見てもらったようでしたが、小学校に上がってからは特に聞かないので、もし必要であればして頂けたらと思う。
- 療育施設のスタッフと医師と保健師の言うことが異なることが多々あるので定期的にでも意見を交換するような場を作ってほしい。ゆめばるなどで状況をデータベースなどで管理して、必要なら、そこから情報をみられるようにしてほしい。
- 同じ時期に同様の課題をとりくんでほしい。
- 先生の相談先があると良いと思う。療育の先生が定期的に幼稚園へ行って指導してほしい。
- 連携する事によって、他の発達障害で、悩んだり心配されているお母さん達の助けになる事はとても大事だと思う。小さい時から、色々な発達障害の子達とふれあう事によって、誰にでも、フェアに接する事が出来る子に育てて欲しいと思う。
- 子供の近況(行動パターンや効果があったこととか)を書面などにして共有できるといいかも・・・。
- 園で困っている内容を事業所に知ってもらい、その対策を一緒に考えてほしい。事業所で行っている活動が園でもできるのか試してみたい。
- 事業所スタッフと、幼、保、学校の担任が各々の事業所や幼、保、学校に様子を見に来ていただきたいと思います、また、双方で対象児の様子をヒアリングし、親にもその結果と、見学した結果対象児にどのような支援の手立てをするのかを伝えてほしいです。(できれば半年毎に)この取組は、特に学校関係者に強化していただきたいです。
- 幼稚園へのアドバイザー契約の推進。

他

問17 その他、日ごろ感じることや、意見など自由にご記入ください。

(別紙)

(別紙)

- 私の場合は1歳半健診で「2歳まで様子見」になったのに2歳になっても保健師から何の連絡もなかったのので、自分から療育を受けたいと行動を開始しました。自分から行動した後の保健師の対応は親切でしたが、コロコロと保健師が代わり、情報共有できているとは思えず、育児の相談窓口として当てにしていない。あと、水島支所の受給者証の担当者の対応が悪い。有効期限の前日に私から催促するまで送ってこない。早くから更新手続きを済ませているので、イライラする。児童発達支援のスタッフに不満はそんなにないが、公務員については不満多しです。多忙なのも理解できるが「仕事だろ?」と思う。
- 発達障害の事がよく分かっていなかった頃、うちの子は他の大人(先生)がこわくて大人しいだけ…とっていました。もっと親が我が子が違うかも…?と気付ける資料や環境作り、こんな様子(実例等)があれば発達障害かも…?と積極的に園や健診で教えて欲しいです。まずは相談を!!と言われてもうちのこは〇〇なだけ…と知っている親は沢山います。ある日突然、私の場合は「個別の対応はできません!!病院や専門機関へいきませんか!?!」と強い言い方で言われ、しばらく悩み、何が違うのか分からず言いがかりをつけられた気分でした。もっとこんな様子がある子はこんな可能性がある等、先生の方から資料での説明が欲しかったです。どう声をかけるか難しいとは思いますが、まずは親が気付きやすい様にもっとわかりやすくして欲しいです。アドバイザーさんもいまひとつで、数時間見ただけではわからない事が多くて、こちらからの相談も「そんな風には見えません」とバツサリ…園の先生やアドバイザーさんへの期待や信用もなくなってしまいました…。否定せず聞いて欲しいかったです。二重に傷ずきました。
- とても恵まれた時代に生まれたと感じております。障害がわかった時はショックで目の前が真っ黒になりました。でも、そこからたくさんの方の助けで下さる方に出会えました。少しずつですが、我が子なりに成長しているのは支援者のおかげだと思っています。ありがとうございます。
- 小学校に入ると療育を受けれる環境が少なくなると聞きました。受け入れ出来る環境を整えてほしいです。よろしくお願いします。
- 仕事をしているので、やはり子供が病気をした時の預け先が長期になったりすると、会社を休まざるおえなくなるので病児で障害児も利用できる場所があると助かります。障害に理解のある専門病院があるといいなと思います。
- ゆめばるの存在に疑問を感じる。全く意味がないと思う。結局親任せ、保育園任せ、療育任せ、めやす箱任せだった。書類のやり取りのみ。手帳の発行も遅延が大幅だったが一切連絡も無し。何の為に施設かいまだに理解できない。療育は本当に問題ない。感謝ばかり。もっと支援をしても良いと思う。情報も遅いし古い。手帳の発行も遅い。何の為に相談センターなのか。一番役に立たないのではないのか。ゆめばるに行った時間が一番必要ないと思った。情報を提供するならもっと努力してほしい。
- 耳が悪いと判明したのが3歳。その時、障害者手帳についてたずねたものの、その対象にはならないと言われました。それから5歳になるころに、今度は弱視及び斜視があると発見されました。こちら手帳の対象ではないとのことでした。幸い、倉敷市は子供の医療に関しては大変恵まれているのでありがたかったのですが、こらからのことを考えると不安。複数の障害をかかえた時は何らかの対応があってもいいのでは…と思います。この子が成長してからの経済的負担は大きいかなと思います。
- 最初は正直、支援センターという言葉に壁を感じていましたが息子の成長の為に勇気を出し門をたたいた結果こんなに成長してくれて、センタークムレの教職員の皆様には本当感謝しています。これから先も息子の成長を一つ一つ組みとっていきたいです。

- 療育という制度を知り、利用することによって、家での対応方法等が分かってきた点ではとても助かったし、気持ちも親の方で余裕が生まれてきて良かった。ただ更新の際の病院での予約が1年後だったり、早くて半年後だったりするため、スケジュールの調整が難しいのが少し困っている。待ち時間も長いのに診察は1、2分だったりと短く負担になることもあるので（他の兄弟との兼ね合いで）この点がもう少しスムーズに更新できるシステムになるといいなと思います。
- 定期的に園を訪問して頂けるのはとても嬉しいですが、訪問して頂きたい時期（子供を見てほしい時）をお願いしても、今は園がバタバタしているだろうから、園が落ち着いてから・・・と返事がよくあり、園の都合も分かるのですが、子供の事情を優先して園へコンタクトを取って頂けたら・・・と残念に思います。昨年度は年1回しか訪問が実現せず、今年度も実現できません。療育の先生は知識は沢山持っていていらっしゃるのですが、心配して相談すると、「注意欠陥」があるのかも・・・と口にされて、病院に相談すると、「注意欠陥」は本当に激しい子供に付く病名なので、あてはまりません。と言われることも。時々うちの子の事をIQを低く見すぎているのでは？とも思います。もっと、体を動かす内容も療育で取り入れてほしいです。
- 自閉症スペクトラム障害と診断名がおりただけで保育園での預かりが難しくなる（追い出される）など、保護者に対する現実的な情報が足りなさすぎると感じる。（もしかしたら保育園によって対応が違うのかも知れないが・・・。）通園施設を希望する前に見学が必要な事や、10月末が締め切りである事も私は9月末に知ったのでかなりバタバタし大変であった。幸いなことに来年から毎日通園タイプの施設に入れることになったが、そういった情報も教えて欲しかった。
- 最初は正直、支援センターという言葉に壁を感じていましたが息子の成長の為に勇気を出し門をたたいた結果こんなに成長してくれて、センタークムレの教職員の皆様には本当感謝しています。これから先も息子の成長を一つ一つ組みとっていきたいです。
- 幼稚園3才～6才の療育の教室はたくさんあるけど、待つという状態でも何とか入れるという話も他のお母さんからも話は聞いています。私は小学校クラスになった時にぐっと療育の数が少ないと聞きました。年長1年で、1年後の小学校になった時の療育の教室を探し始めないと入れないと聞いたので、入る前から準備しないといけないの支援を受けている親は本当大変だと日々感じています。
- 発達全般が遅れている我が子に、あれこれできるようにさせるようにさせようと試行錯誤してみるものの、時間と労力の割に伸びて来ず、親の方が根負けしていることもあります。そんな時に療育先で平行して指導して下さったり、他のお子さんに有効だった方法を試して下さったりすることで親の方も精神的に楽になっています。子供を療育に行かせることで1番救われているのは母である私かも知れませんが、現在の療育先でも保護者同士のつながりを持てる取り組みはしてくださっているのですが、他の事業所の療育に通われている方などとも交流できる場があるといろんな面で幅が広がる気がします。またこどもの障害が同じということでより深い相談もし合えたりすると思うので、そういったつながりの場が増えるといいなと思います。
- 事業所の先生がとても親身になってくれていて感謝している子供の事を考えてその日のメニューを工夫して下さり、本人もとても楽しく通っている。このまま引き続き利用していきたいと思っている。家庭でのトラブルや保育園でのこともアドバイスをもらえて助かっている。
- 宿題のやり方を教わる事が出来た。困っている時、相談にのってくれるし、先生の方からたずねてくれる。
- 幼稚園の行事の日に療育の日がかぶっていると行けなくなるから、振り替えの日にちを取ってもらえると助かります。

- 本人がとても楽しみに通っているということは、良いことだと思います。成長も感じられるので、今後も続けたいと思います。
- 療育に通うことで、親子共に助けられています。子供は理解してもらえて、安心して過ごせて、苦手な部分も少しずつ成長させてくれています。親も対応の仕方を教わったり、悩みを聞いてもらったり…すごく救われています。就学してからは学校でも安定して、楽しく過ごせています。小学校の先生も大変理解があるからか、本人もすごく成長しています。就学前にしっかり療育を続けていて良かったと思います。(ここからは愚痴になります…すいません)通っていた幼稚園は週3日でしたが、理解がなく、診断名も告げた上で入園、加配も我が子が一番問題児…の位置づけで申請したにも関わらず、実際は何でも親に付き添いを負担させ、困った子は療育で見ろ的な扱いでした。他の子供が見ている中、怒るばかりしていたようで、他の子供から見下される等、親子共大変辛い思いをしました…療育機関や行政に、もっと強い権限を与えて、教育機関に働きかけられるようにしてほしいと思いました。世間一般はともかく、教育者の立場で「親のしつけがなっていない」と発言するのはどうかと思います。
- 倉敷市は十分に利用が出来ない。岡山市と比べても遅れている。改善してほしい。
- ひよりへ行くまでは他の事業所へ通っていました。ひよりにかわってから、子供がとても楽しそうに行くようになりました。ひよりの先生は、どの方もとても良く、優しく、熱心にして下さいます。悩みもその都度聞いてくれます。ひよりにかわって本当に良かったと思います。あと一年幼稚園生活ですが、小学校に入ってからサポートの施設が少ない気がします…。しっかりサポートしてほしいです。学習支援してくれる施設もありますが、前に見学に行った所は本当に最悪でした。そういう支援する施設は、どこもきちんとした所であってほしいと思います。
- 土・日・祝は日中一時に預かってもらえず…。せめて子供を連れて、気がねなく行ける様な、大きな施設があればな…と思う。幼児期は、本当に大変なので。
- 学校の支援員・担任(支援学級)にもっと理解ある人をつけてほしい。療育所の利用期間を長くしてほしい。日曜に行ける日中一時支援の様な所があればいい。休日(土・日・祝)にイベントの様な事があれば楽しめる。
- 我が子は、グレーで学校も普通クラスです。学校の教員は我が子の障害に、一人も気づきませんでした。学年が変わるたびにきちんとした申し送りができなくて説明をしましたが、おとなしく人に、迷惑をかけるわけでもない我が子に対して、学校での配慮はあまりありませんでした。6年生になり、事業所に通い始めましたが、「たのしい」と言っています。中学に入りますが、普通学級に入るなら、とてもつらい思いをするのかと思うと辛いです。特別教室への希望を考えていますが、本人がどうしても嫌がります。どの様に中学と連携をとればいいのか、そんなに個人について、中学校が考えてくれるのか不安です。教科により先生が変わり、つらいと思います。コミュニケーションがとれず、トラブルもありました。
- 放課後デイサービスは、利用回数が5回…時間的にも長くないので、利用時間か回数を増やして欲しい。学校を早退したりせず利用できる体制にして欲しい。
- デイサービス計画書を親の意見を聞いた上で作成してくれるのはいいのですが、学校での集団生活において困らないように利用しているのですべて親の意見(家庭生活の中)ばかりではなく、専門のスタッフの先生方からみてこの部分が弱いから伸ばしたほうがいいというような学校でこの場面で苦労するかもというような内容もあっていいように感じました。親→事業所だけでなく学校から療育機関への連絡も密にとりあうべきだと思います。

- 利用回数を増やしてほしい。毎年の更新手続きをもう少し簡単にしてほしい。小学校に入学し、特別学級に通う事はできるようになり、個別に対応して頂き、成長も感じ、保育園の時から通う事ができた療育は本当に良かったと思っています。ただ、保育園とは違い、登下校は自分で歩いていくようになるので…大人（先生が）がいないと、友達とけんか（腹が立つと手、足が出てしまう）、トラブルがあるので、対人関係の難しさを感じています。この病気は規則正しい生活が大切なんだと…小学校入学して、特に感じるようになりました。
- 先日、新たな補装具の申請をした際、市の方から、追加の検査が必要だと言われました。4つのパターンの検査のうち、1つは意味のない検査で、その旨事業所より連絡してもらったが、そういった小さな所で、市の方でさえ知識がないのだと痛感致しました。個々に違う障がいなので、専門性のある事柄に精通した人材を揃えて頂きたいと思います。
- 利用したいときなど、もっと融通がきくといいと思います。スタッフの方がよく変わるので同じスタッフの人が長く勤められる環境作りをして下さい（子供が不安がります）。
- 子どもの特性を理解できたことで、毎日の生活の中での声かけや促し方を変えることができ、好循環につなげることができました。療育機関で開催された勉強会やペアレントトレーニングを受けて、実践的な理解ができたことが大きかったと思います。
- 週1回ではなく、もう少し通うことができたらなと思います。療育に不満というのは内容ではなく、回数、時間です。他の自治体ではもっと回数を利用できるようですし、いろいろな問題をかかえ、学校にいきづらかったり休みがちな子もいるので、もう少し回数を増やして人と接したり、自分を認めてもらえる時間がとれるといいと思います。
- 毎年2~3月にかけて、受給者証の更新手続きをしなければならない。その時に、医師の診断書や相談支援の先生などなかなか予約が取れず困る。保護者にとっても負担になっているので、もっと簡略化してほしい。
- センターに入園し、子供を受入して下さる場所ができ、良い方向に向かっているという安心感と裏腹に普通以下の我が子に失望し将来を案じて悲しんだり、私自身の人生が絶望的に感じて苦しい日々を送っています。外出先では幼児を連れた母親に怒鳴られたり、騒ぐ我が子を見る周囲の目は非常に冷ややかで、障害とは気づかれにくい特性のある子にとって、生きづらい世界です。障害者マークを作って頂き、バックにつけたりして認知されやすくなると、親として少し気が楽になるかもしれません。
- 本人は元より、家族の悩みを解決できる場が欲しい。本人を含め、家族の居場所が欲しい。病院へ行くこうにも、予約が取れない。「今」困っているのに。常に何かしらのサポートが欲しい。心を支えて欲しいし、本人にどうしてあげたら良いか頻繁に相談できる場所が欲しい。病院の情報が欲しい。放課後等デイサービスへスムーズにつないで欲しい。小学生からの入所は大変ま数の待機が出ており、絶望的（どの事業所でも）と言われている。一部の早く動けた人や、情報を得られた人のみ得する（入所できたり、保護者の集まり、治療できる等）のはおかしいと思う。早め早めに情報を得られるようにして欲しいし、保健師等の細やかなサポートが欲しい。こういう声を届ける場所を下さい。放課後等デイサービスで人とのやり取りや、自立を目標にしてくれる所を沢山造って欲しい。「学習のみ」「運動のみ」のような事業所ではなく自立できる大人を目指して欲しい。学校で困った事等の解決策と一緒に考えてくれたり、学校へ出向いて様子を見たり、先生とやり取りして欲しい。
- 療育でのことを保育園に伝えると言葉が少ないせいか、保育園の先生が疑問に思うことがよくあります。（心歩の先生の言い方は正しかったのか？子供が混乱しないか？など。）都度私が間に入ってやりとりしています。みんなこんな感じなのかな？と思っています。

- 特にありません。(通った期間が短いため。)
- 普段我が子だけを見ているので、何が他の子と違うのだろう、と思うこともあります。うちの子よりもあの子のほうが・・・と思うこともありました。ですが、第三者の目(例えば保育園の先生など)から見て、やはり療育や通級は必要だろうということなので、できるだけことはしてあげたいなと思っています。園の先生、療育のスタッフの方々には本当に良くしていただいて、素敵な出会いに感謝しています。子供の成長とともに、心配事も変わってくると思います。その都度どこに相談したら良いのか、私自身のよりどころとなるところを見つけていけたらと思います。
- 療育に行く度にスタッフに責められてつらい。
- 計画相談支援は希望者や支援困難ケースだけでいいと思う。保護者自身ももっと計画について自主的に取り組むべきだと思う。福祉事務所やゆめぱるの職員はとても良くしてくれるのでありがたい。
- 療育中の様子など、よく説明して下さり、また療育内容についても、こちらの希望(日常生活や園生活の中で気付いた事)をよく聞いて、取り入れて頂き安心して療育をお願い出来ています。ただ、この頃インフルエンザの流行とともに学級閉鎖になる小学校がある中、兄弟がインフルエンザになった場合、下の子が療育に来ていたら、療育先で蔓延してしまわないかと思うことがあります。兄弟がインフルエンザになったその場合はキャンセル料なく、当日であっても欠席出来れば無理に連れて行く親御さんも少ないのではと。
- 療育機関や病院などの情報をまとめて、療育計画を立ててくださるところがあると思うのですが、個人的な意見として、そのような役割を療育機関にして頂けると有難いなと思います。療育機関に話したこととまったく同じ説明し、たくさんの書類に署名・捺印をしましたが、仕事を休み、何時間も時間を割いた結果、できあがった計画書は療育機関や病院で頂いたものとほぼ変わりなく、時間と手間だけが無駄にかかったように感じてしまいました。また、計画を立てて作成している方が、私達の希望というよりも、ご自分が良好な関係を築いている、また築きやすい療育機関を進めようとなされたり、また療育機関の方のことを悪く言ったりされることもあり、気持ち良く利用させて頂いている私達側としては、個人的な感情をもちこまれて戸惑うこともあり困っています。
- 子供がおちつきがない。
- 子供は楽しそうに通えているので、学年が上がっても通えるといいなとおもっています。(小学年は2ねんくらいまでやめる事が多いみたいなので通い続けれる環境がととのってほしいです。グランひまわりは大きい子が通うようになったので、大きい机を用意してくれたので子供が3年になっても通えるので、うれしかったです。
- 夏休の宿題がたいへんです。学校へ行けるのがよいですが、無理なら毎日1時間ずつでも勉強をみてくれるところがあればたすかります。親が必死になってますが親が先生のかわりをする事にいいのかなあ〜?の不安とそのうち勉強を教えられなくなりますし…。幼稚園の時に担任の先生から、子供の口に赤のビニールテープを貼られた事がありました。倉敷市の先生の質は、こんなもんだと実感してから、親のみてない学校生活が大丈夫かいつも不安に思っています。すてっぷ、うさぎカフェなどの理解のある人達のなかで、私も子供もおちつけてます。
- 2時間が適切な時間数なのか分からない。もう少し長くてもいいような。
- いつもとてもお世話になっています。いろいろな方々にささえられて親子共々生きているという思いです。とてもありがたく思っています。

- 受給者証更新で医師の意見書が必要になるが予約がなかなかとれないときがあるので、もう少し早めに連絡して欲しい。倉敷市だけとは限らないようなのですが、健診時、初対面の保健師さんに突然発達が遅い、あなたの子どもは障害児ですといったニュアンスの説明をされたという友人たち（私も含め）がいて、皆とても不安になって自分を責めてといった悲しい思いをしました。健診時、とても忙しいので気がそこまでまわれないのかもしれませんが、でも、相手の母親の立場になって発信、対応して欲しいです。その場限りの対応がとても私たちを傷つけています（泣）
- 就学してからの通える事業者があまりにも少なく必要なサービスが受けられない。もっと障害児へのサポートができる事業所を増やして欲しい。また利用日数も5回では足りない。他の市町村のように併用が可能だったり回数を増やして頂きたい。
- 下の子がまだ小さいので送迎のルートなど、もっと止まれる場所などをふやしてほしい。
- 発達障がいという言葉は知られるようになってきたが、正しい情報が伝わらず、へんけんなどが心配で周りに障がいをかくして生活している。秘密があることで、他の親と距離をおいたり園を休んだり、早退するのを聞かれないように気をつかったりする。話しても相手に悪く思われられないかもしれないが、周りから将来的に本人に障がいのことが変に伝わらないか心配で話せない。家族も障がいについて受け入れられないので、療育についての理解も得られず、孤独に感じることもある。また将来への不安もあり、ストレスを感じる。
- 3歳児健診で療育をすすめられて、初めて知ったのですが、内容をまったく理解していなかったため、「自閉症」という言葉も全然違う意味で勝手に理解していたつもりになってましたが、それがきっかけとなり障がいについて調べることが出来ました。声をかけてもらわなかったら「成長がマイペースなんだ」と思ってたまだったもので、早い段階で教えてもらえてよかったです。少しずつですが、子どもに合った方法を見つけ一緒に成長できたらなと思っています。ありがとうございました。
- 子供は周囲の環境に敏感だと思う。もっと周囲の助け（支援事業所、保育園、小学校、中学校など）があると、伸びると思うし子供も安心して過ごせると思う。もっと関わりを持って欲しい。もっと関わるべき！！安心できる環境をより整えるべき。児童福祉の充実を。境界域にいる子供は見逃されやすいので、しっかりと支援して欲しいと思う。
- 倉敷市は療育にとっても力を入れて下さっていると思います。今後とも宜しくお願い致します。
- 去年4月、保育園に入園しました。その時に療育機関と先生が1度話し合う、見学に来ることも親が希望し伝えましたがもうすぐ1年たちますが、その後全くありません。特に大きなトラブルがないのでほっとかかてるのか忘れてるのか…あまり連携がとれているとは思いません。もっとすべきだと思います。子どもの事をもっとほめてほしい。
- 小学校にあがってから療育施設の受皿が少ないのでなかなか思うように利用ができない。療育施設が増えることを要望します。支援を受ける為に親の努力が必要 見学など子供にあった施設を見つけるのが大変 待機期間がある。マッチングシステムなどあるといいなと感じます。
- 手続きに時間がかかり、必要な時に受けることが十分にできないのはどうかと思います。必要な時に受けれる様にじゅうんなな対応を期待します。
- 事業所の利用時間の開始がもう少し遅いと助かります。今は6時間目を早退して行かないと間に合わない状態です。人数制限もあるかと思いますが、解消されたら嬉しいです。
- 助かってます！！

- 福祉の窓口の方は、その人1人しか情報を知らない事が多く、仕事を抜けて行っても、”担当の人がいない”と言われたり、違う説明をされたり、といつも困っています。なぜ福祉課の人が、皆全員同じ知識がないのか？と思います。他の課の人が福祉の事を知らないのはわかるが、納得できません。手続きの不備も時々ありました。困って相談に行っているのに、答えられない又は間違っただけの回答をするのはやめてほしいです。市によって、サービスの内容が全く違うのも、おかしいと思います。その差も何倍も差があるので、おかしいと思います。本当に生活に困って相談しているのに、きちんと親身になってこたえてほしいです。それが福祉課の人の仕事ですので。直してほしいです。
- 複数の支援センターを利用出来たらと思います。児童発達支援事業所と児童発達センター（福祉型）の並立利用等。支援内容が異なるので、どちらも利用してみたいと思いました。（見学をして）今、利用している所に不満があるわけではないのですが、集団でご飯食べたり遊んだり等出来たらいいなと思いました。（なかなか集団でご飯を食べたり等出来ないのに）児童館や子育て広場で他のお母さん達と仲良くなっても、子供は定型発達ではないので、相談も出来ないし、他の子と何かをするのは難しいです。特性のある子に理解のある場で、手遊び、紙しばい、ご飯等、集団で出来たらいいなと思います。
- 3才から療育をしていましたがずっと行くのを嫌がっていたため昨年10月に嫌がりながらやってもあまり効果がないだろうということでやめました。しかし療育の先生はずっと相談に乗ってくれアドバイスをくれていたし子供のこともよく知ってくれているので療育をやめて一番困っていることは私（母）が相談できる人がいなくなってしまうことです。めるばるに行っても子供のことを一から説明しないといけないし同じ人がずっと相談相手になってくれるのかその人の相性もあるし・・・と思いつつ行きにくいです。
- 日常生活でも親でさえなげだしたくなる時も多々あり、本当に、この子を殺して私も死のうと考える事もありました。保育園からも1人だけにズット対応が出来ないと、遠まわしに、退園をしてくれと言われていたのだろうかと思う言葉を言われた時に、いつも療育（心歩）の先生が相談にのってくれました。走り回る程の忙しい中でも嫌な顔せず聞いてもらえ、ここまで子供を生きる事が出来ました。本当に、心歩にかよえて良かったと思ひ、又これからも一緒にあゆませてもらえたらと思います。
- 療育もですけど、特に日中一時について、受給者証を安易に発行しすぎではないでしょうか？支援が必要な子が増えているのではなく、本当に支援が必要かどうか見極めが甘く、福祉サービスの利用可能なこばかり増えて、良質な受け皿は増えることはなく、従って本当に支援の必要な子の行き先が別に行き先がある子達によってうばわれているのが現状。地域の小学校の学童に行くことが出来る子に受給者証を発行するのはいかにがなものか？せめて福祉サービスしか行き先が無い子と差別化を図る為に、日数で差をつけるとか（例えば、療育手帳を持ってない人は持っている人より日数を減らす等）金額で差をつけるとか（例えば、地域の小学校に行く人は1割負担ではなく9割負担にするとか）同じ土俵で扱うから行き場を失う人がいることに行政は早く気づいて欲しいです。障がい福祉サービス受給者証発行の線引きを厳格して頂きたい。
- 学校、リハビリ、療育の連携が全く無い。それぞれの所で変化があった事は伝えるようにしているが参考になっているのやら…それぞれがやるマニュアルを勝手にやってる感じがする。
- 医療機関に物足りなさを常日頃より感じています。診断→支援を受ける為の診断確定→投薬→月1回の受診の定番。とにかく短時間で状態の確認といった受診に正直不満です。たまに講演会などでお話をうかがう有名ドクターの踏み込んだ取り組みにいいな～そんなドクターが倉敷にもいらっしたらと願います。

- 見た目が他の子（発達障害ではない子）と何もかわらないので周りの人の理解が難しい。もっと発達障害についてみんなが理解できる社会になってほしい。
- 参観日がないので、今ひとつ、どんな療育をしていてそれに対して子供がどんな反応をしているのかわからない。• 医療機関のリハビリとはどういう存在なのか？毎日通うセンターに行っている場合、医療機関リハビリは必要ない、と言われた。チェックの役割にすぎないのか？それとも個別に毎日受けるべきか。• センターの場合、人手不足な感じを受ける。パート、アルバイトが多いのでただの保育（園）になっていないか少し心配。
- 今、毎週木曜日と第1、3土曜日に療育に行っています。AM10:00~12:00までです。幼稚園ならAM9:00~13:30です。少人数なので内容の濃いものになっているとは思いますが、2時間は短すぎると思います。せめて9:00~12:00にして欲しいと思います。
- 仕事しながらの療育は通わせたいものの、送迎などにかかなりの負担があります。ファミリーサポートの利用も行っていますが、現在、一月5000円弱、これからウチは兄弟2人療育に通わせることを考えると（弟は平日週2日の予定なのでファミサポを2人あわせると1月あたり1万5000円以上となります。）かなりしんどいです。これにそれぞれの療育利用料5000円以上がかかります。周囲のサポートがないと本当にしんどいです。そういった所の送迎や補助金などの支援がうければもっと良いのになあと考えています。
- 倉敷市に転入の時、福祉サービスについて色々説明をいただきましたが、一回の訪庁ではすまず、何度か足をこびました。その毎に窓口の異なる為、はじめから説明し状況をわかっていただくことからはじめなくてはなりません、大変でした。以前住んでいたところでは担当のケースワーカーが役所において、その方に問い合わせをすればスムーズに事が進んでいきました。担当のケースワーカーは訪問して下さり、児の状態、家の状況もわかっていて、適切なサービス提示をして下さり助かりました。そのかわりになるものが相談支援事業所になるのでしょうか？そういう事を業者まかせにするのもどうなのかなあと不安に思います。
- 児童発達支援の事業所を見つけるのが大変だった。（空きがない）
- 料金が、負担が大きいのでもう少し低料金になると助かる。 保護者同士の交流の場があればいいなと日ごろ感じる。 障害児が安心して遊ばせれる場所がほしいと思う。
- 地域の小学校へ行き支援級で学んでいます。担任もとてもよくして下さい、学校に楽しく通えています。・・・が、親として、悩み（日常）も多く、聞いてもらう所が、手軽にないこと…感じます。専門的なお話しが聞きたくても、「療育の場（病院のリハビリ）」では、その日の療育内容等の説明するくらいの時間しかなく、困り事、悩みなど、伝えたとしても、一方的に伝えただけで、それに対する答えも出ぬまま……。もちろん児相等もあるでしょうが、子供のことを、知って頂いてるわけではないので、1からお話する……。となると、「めんどくさいなあ……」と思ってしまいがち。もう連携は本当にお願ひしたいことの第1位です。よろしくおねがいします。乱筆乱文で失礼しました。
- 知的障害の有無に関わらず、療育手帳を発行してほしいです。多動・パニックがあるので、手帳があれば多少の配慮をしてもらえたりいろいろな経験をさせてあげられるのにとおもいます。
- 受給者証や療育手帳などの更新が本人を連れて行くのがとても大へんです。
- 進学の時も就学検診も発達障害のある子だけ日とかの日をもうけてほしい

- 各相談機関の相談員の方の対応がまちまちで、とても困りました。いい人に当たれば、すぐ支援を受けられますが、そうでない場合「様子を見て」と何度も言われたり、同じことを何回も説明したりしなくてはならず、何のための相談なのかわかりませんでした。個人の能力の差があるのは仕方ありませんが、相談を受けたからにはなんらかの対応をして欲しいです。話をするだけならネットの掲示板などで事足りています。具体的なアドバイスができるようになって下さい。
- 地区の担当の保健師さんがだれなのか知りません。連携以前の問題ですね。公報などで周知しては？
- 精神の手帳のことを児相で相談したら「この年齢で？」と言われました。「幼児で取得するのはありえない」というような対応でしたが、このような対応は他の県や市でも普通なのでしょうか？
- 私は利用していませんが、きらり水島の先生がきつく感じます。(こざくら支援センターを利用しているのたまにみたりしていました。)「〇〇くん！それは違うよ!？」や「早くして!」や「それは違うでしょ?!」(とても怒り気味)など一つ一つの言葉がきつく感じる先生がおられます。(名前はわかりません)その姿をみると、自分の子を預けているセンターの事や、こざくら支援センターの先生方も気になってしまいます。(保護者は普段はみえないので)もっと優しく子供ののやる気をださせるような接し方は出来ないのかな?いつも気になります。それか、それが自閉などの特性をもった子供に適した接し方なのかはプロではないのでわかりません。もしそうならすいません。茶屋町の幼稚園の事もあるし少し気になりました。
- 市の対応も、聞かないと教えてくれないので、知らない人、教えてくれる保護者などが周りにいないと困ると思う。
- 地域の児童館や親子クラブは敷居が高く行く勇気がありません。発達障害児が気軽に行くことの出来る場所が増えたらうれしいです。また、分離が難しいお子さんや家族の理解がえられなかったり、ご両親が遠方の方は預け先がなく、兄弟児の時など困ります。発達障害児を預けることのできる、一時保育があればとても助かります。一般の保育は断れることもあるそうです。昔に比べると発達障害は先天性のものであるということが浸透してきたようですが、まだ「親のしつけが悪い」とか「自閉症＝ひきこもり」などの偏見が多く傷つけられます。当事者の親がうたててもなかなか聞き入れてもらえません。一人でも理解が増えることを切望してやみません。発達障害児が楽しく生活できる場所を広げてあげたいです。
- とっても親切で色々なことに親身になってもらえて通わせてよかったと思います。
- 月に2回は少なく感じる。本人が利用を嫌がるが、何が嫌なのか分からない。運動教室やクッキングなど家でなかなか出来ない事をしてもらえるのでありがたく思います。
- 療育を受けるための手続きが以前より複雑になり大変。施設の数が少ない。小学校に就学してから勉強をサポートする療育が少ない。通級を利用している、療育も利用できるようにしてほしい。※通級ではメンタルのサポートしてもらい、療育では作業療法や勉強のサポートをお願いしたい。
- いつも、いろいろなことを体験させてもらって、ありがたく思っています。療育に通いだしてから、1年半程たちましたが、すごく成長したと思います。今日活動したことなどは手帳でとてもよく分かるし通わせて良かったと思っています。
- 親の仕事の都合で帰る時間が19時になります。デイサービスに預けると、入浴料300円/1回、夕食500円/1回、20日では16000円かかる。朝のバス停までの送り700円/1回、20日では14000円かかる。※入浴料についてデイケア50円/1回なのに子供は実費かかる。できれば、市役所の補助でデイケア並みにしてほしい。

- 子どもの発達に問題があるかもしれないと思ってても病院がいっぱいですぐに見てもらえないと感じる。手続きが少し大変だと思う。療育施設の質にバラつきがあつように感じる。小学校に上がったら、急に支援の量が減るのが気になる。支援してくれる施設も少なく感じる。
- 療育手帳申請（更新）方法にはもう少し方法があると思うので改善してほしいが、倉敷市では良くして頂いている方かな？と思っています。ありがとうございます。
- 最初は療育へ通うことに抵抗がありました。しかし、今では本当に通ってよかったと思っています。同じ悩みを持つ方と（ママ）と仲良くなれたり。私が子供の特性を受け入れた子育てをできるようになったり、毎週の連絡帳を通して、その都度、悩みを吐き出せたり、できたからだと思います。医師の意見書が必要だったり、更新のたびにケアプランを立て直したり、手続きが大変ですがぜひ、悩んでいるママは、頑張っって通って欲しいです。
- とにかく、事業所の併用をみとめて頂きたいです。我が子の場合、全体的に遅れがあり、全てを補っていたのに、今は学習支援をメインの所に通っています。岡山大学病院の先生に言葉の発音の訓練をするよう言われましたが、地域の事業所に行けません。小学校から行ける事業所をまだまだ増やしてもらいたい。選択が少ない中で、結局、通える所を選ぶしかできない状態です。
- 現在は療育という支援が受けられてはいますが、今後小学校以降が一般（地域）の子供と共存していく中で色々悩みは出てくると思います。今現在小学校へ通われている方から色々情報が聞けたらいいなと思います。療育を受けての成長は約2年で感じられますが家庭での接し方など具体的に知ればもっといいなと思いました。
- 未就学児の療育先はたくさんあるが、小学校に行ってから通う療育先が少ない気がします。実際、この春から小学生になる子がいるのですが、療育の事業所も定員がいっぱいで通える所がありませんでした。複数の事業所に見学にも行ったのですが正直療育内容の質にすごく差を感じました。もう少し就学児を対象とした事業所を増やしてほしいです。
- 医療ケアが必要な子供をあずけられる施設が少ない。倉敷にもっとできてほしい。使用したいと思うところが遠く送迎サービスを活用しにくい。
- 子供のどんな性格が特性なのか、それに対してのアドバイスもできたら欲しい。
- 送迎つきの利用ができるとうい。もっと利用したいが、定員オーバーでなかなか利用できないのが不便。
- 療育を受け入れてくれる施設などが増えてくれるといいなと思います。
- 療育に行きはじめから、とても成長したように思う。ただ、母親が療育に連れて行きますが、居住地区周辺に療育施設がなく、車に乗れない者としては、雨の日など非常に困っている。（雨の日はタクシー利用）。なぜ駅周辺に療育施設がないのか。倉敷市の手厚い福祉は他市の友人達との情報交換からよく分かっているが、もう少し施設の場所に幅を持たせてもらいたいと思う。
- 事業所の終了時間が、早いのでお迎えが困る。終了時刻を17時とかにしてもらえると仕事の都合がつけやすい。
- 私の子供達は姉妹そろって発達障害です。小5の姉は支援クラスで学んでいます。2人とも療育手帳がありません。小・中で支援クラスで過ごしても高校に入学できるのか将来が心配です。知的の子も大変でしょうが、将来まで支援が受けられます。情緒の子が増えていっているの、そちらの方ももっと情報提供や将来への安心を増やしていただきたいです。

- 活動の内容は家では出来ない事なので見守るより方法はないと考えています。いい時ととっても悪い日があり薬等も使っていますが体が大きくなると、とても危険を感じる時もあり不安です。友達からいじめを受けたのを境に外を自由に歩けなくなったのも一つの要因かとも考えていますが、外ではよくがまんもしているとの事ですが、家では自分が常に1番で家族に命令を出し、気に入らなければ何をするか分からない。身体が大きくなる事は本当に家族は不安です。
- 週に1日1～2時間くらいだとあまり意味がないように思えます。早島町など月に20日以上療育を受け入れたりするので、もっと使える時間を倉敷でも増やしてほしい。発達障害は本人も苦しいけれど周りの理解が得られにくく、親もすごく苦しい。
- 早く療育を始められたお陰で周りの方々からはなぜ療育に行ってるの？と聞かれるくらい毎日楽しく学校に通っています。勉強やお友達との関わりでまだまだ苦手なことも沢山ありますが最初の頃の不安な気持ちを考えると今は楽になったと思います。療育は3年生までなので、その先をしっかりとフォローしていかなければと考えていますが、あまり、手を出さないように気をつけたいと思います。倉敷市の支援の手厚さに、いつも感謝いたしております。
- 我が家の場合は、節目で良い出会いがあり、幼少から現在まで切れることなく支援を受けることができありがたいと思っていますが、支援機関が少ないので、受けない時に受けられない方も多くおられることも知っています。ぜひ支援機関が増えることを願っております。支援を受けずに育ったアスペルガーや高機能の子どもたちが2次障害で苦しんでいる社会は心苦しいです。皆が安心して暮らせる社会になってほしいと思っています。
- 療育を始めるにあたってのフローチャートが分かりづらく発達障害のテストを違う場所で2～3回することになった。また繊細な問題は分かるが、説明が曖昧なため、結局どうすればいいか悩むこともあった。療育を進められたとしても入れる事業所が少なく問題だけ指摘され焦りと不安だけが続く時期が長かった。保健所と事業所とサービス利用計画を担当する場所の連携が取れていなかったり、情報の錯誤により「ここではこう説明されました」というと「順番がおかしい。どうしてそうなったのか？」と逆に問われ、こちらも初めての事だらけで分からないことが多くとても困った。
- 保護者向けの勉強会はよく行われていますが、保護者の両親(おじいちゃん・おばあちゃん)向けの勉強会などあったら助かります。私が聞いて義理の両親に伝えてもなかなか伝わりにくいことが多いので・・・。
- 児童発達支援にお世話になり、まだ1年未満ですが、本当に通うことで何か変わっているのか、変化速度がゆっくりのところもあり、わかりにくい部分もある。園を優先して、事業所を利用しているため、園だけでも成長しているようにも思える。ただ園だけではできないこともあるし、園以外のお友達にも接することができるので、それらについては良かったと感じる。基本的に療育は継続するものなので、本人から不要の連絡があるまで、自動更新にしてほしい。もちろん必要書類の提出は行うが。
- 3歳児検診・・・連れて行きましたが受ける事ができませんでした。順番がやってきましたが、スタッフは待ってるだけで声もかけてもらえませんでした。人数の少ない支部(支所)で受けました。(市の方に勧められました)健診のスタッフさん達は発達障害のお子さん達も健診に来るって事を知っておいて欲しかったです。スタッフがおしゃべりして、誰も測定していないのなら、せめて寄ってきて声かけして欲しかったです。難しいお子さんは、別の時間に枠を取ってもらえたら助かります。
- 療育先の先生方には、本当に感謝しています。実際、医療のお医者さんとは、数か月に1回しか相談できないので、もう少し相談したいこともあります。日中一時事業所のスタッフさんの理解がいまひとつで利用しにくいという話は周囲でもよく聞きます。預けることをあきらめてます・・・。

- 今、通っているところは、子ども親も救われて、とてもたすかっている。ただ小学校での放課後サービスなどなくて、幼稚園を卒園すると、療育もおわってしまう。我が子は初めての場所など大の苦手。小学校に入学し不安でパニックな状態の中、新しい場所でのサービスを受けるのは、子への負担が大きく無理。療育の延長を全ての場所で行ってほしい。他の保護者も言われている。実際、小学校になっても支援が必要だと思う。治るものではないから。そして、親の不安を解決してくださる方との関わりがへってしまうことも心配。療育で勉強会があるが、職員の人数もあるのか土曜日にある。これは、仕方がないこと。私は気難しい子をあずけるところがなく、いつも欠席している。職員の増員は、できればしてほしい。
- 倉敷市は子供や医療の制度が手厚くしっかりしているので、これからもがんばって維持して(より向上して)欲しいです。(ありがとうございます)
- 療育の先生方には、よくグチを聞いていただいたり、相談にのってもらったりと大変感謝しております。ありがとうございます。
- 我が子は染色体異常のため出生前より障がいがあるだろうと分かっていたため早くから療育を受けることができました。児童発達支援(デイサービス)から始まりセンターへの母子通園を経て、センターへの単独通園をし、今春には支援学校に就学します。未就学児への支援は大変充実しており、利用させて頂きました。ただ就学すると放課後等デイサービスは月に5日支給となり医療機関でのリハビリ(PT,OT,ST)の回数が減ります。教育の場はもちろん小学校がメインとなるわけですが、もう少し放課後等デイを利用できれば有難いです。日中一時支援は事業所数が増えましたが、療育ではないため職員さんの知識、経験不足を感じます。
- 小学生以降の療育の機会も、もっとあって良いと思う。月1回とかでは不足。せめて月2回は定期的に通い、ほめてもらったり小集団で楽しく過ごす経験を積ませてあげたいと願っています。
- 4月より保育園に通うため、子供をつれ9園見学に行きました。療育に理解がある園もあれば、遠回しに断られるような園もあり、とても疲労し傷つきました。園への配慮もあり、露骨にここがお勧めとは言にくいのですが、療育先やゆめぱるさんに電話しても、具体的なお勧めの園の名前は出されず、自分で手あたり次第に見学へ行くしかありませんでした。入園先を探すにあたって、もう少し具体的な情報が欲しかったです。子供の成長をみながら学区選びもしていきたいので、きっとその時も情報不足で苦労するのだろうと、今から心配しています。子どもに不安をかかえていると引越先一つ探すのが大変です。(学区を考えると)療育は子供のために、どんな支援がよいか親が知ることができたので、とてもありがたかったです。
- 月に1回ぐらい、今後の課題など話せる機会があれば家でどうすればいいかわかると思う。どこができなくてこうしたらいいと言うのを教えてもらう機会がほしいです。
- 部屋の中だけではなく外に出て活動できるような療育があればいいなと思います。
- 先日、相談支援員さんと学校(支援級)の担任の先生、療育の先生、学童の先生とわたしの5人との会合を開いていただいて、日頃のことなどを知ることができて、問題点もたくさん見えてきました。今は受給者証の取得のみですが、将来のことも考えて療育手帳も取得したほうがいいのかと思うようになりました。その相談先がよくわからずもやもやしています。市へ直接連絡した方がいいのか、悩んでいます。平日は働いているため、なかなか連絡できないので、土・日も相談できるところがわかればいいなと思っています。問題はこの先子供が自立して生活していくことができる力をつけさせていきたいと考えているので、いろいろアドバイス等うかがいたいです。

- 集団生活の中では本人の混乱やわがままが時折見られる程度に成長しつつあります。事業所へ通所する事をすごく楽しみにしており、一時間半という短時間ですが、とても濃い時間をすごすことが出来ている様です。字ひとつとっても筆圧などが普段とは全く違います。やる気スイッチの入る時間。それが心穏やかに過ごせている様で親としては大変安心できます。家ではわがままや身勝手な事をがまんするのは、まだまだ難しいですが、私自身が「出来ることから、少しずつ」を心に向き合える様になったと思います。
- 1週間に1回送迎するために仕事の調整をしているが、そのため子供との時間が増えた気がする。帰りに買い物にいたり、公園にいたり親子の関わりが増えた気がする。仕事ばかりでは親子共々“うつ”になりそうだった。
- 利用できるしせつが少なすぎて、定員いっぱいでもつかいたくてもつかえない。医りょうこういをしていいる子がかえるところは、とくに少ない。福祉しせつや、利用できるところを知らない人が多いとおもうし、市やくしょは、どこが、どの子につかえるかなど、くわしくおしえてくれず、一賢表をわたしたくて、自分で、でんわをかけまくってつかえるところをさがさないといけないし、なかなかつかえないので、市の方もきちんとせつめいや、おしえてあげないといけないと思う。結局ほごしゃ同士の情ほうばかりで、なぜ、大きな団体が、たすけてくれないのか不まんや不信がある。
- 子供の成長が遅いので、早く成長しないかと自分が焦って生活していたと思います。でも今は「子供が、できなくて怒られ、泣いている姿」よりも、一緒にやって「できる喜びと、笑顔」を見る方がいいなと思えるようになりました。何回やってもできないことも多いですが、いつかできるようになると信じて子育てを楽しみたいと思っています。
- タイムケアに関して、仕事をしていないとあまりにも使いにくく困っている。仕事をしている人が優先なのは分かるが、必要な時に使えなければ毎日みている親がつぶれる。(他の場所も探したが送迎が必要だったり、遠すぎて実質使えなかった)。また送迎サービスが子供の特性(じっとしていられない)のせいで利用できず朝、帰り、両方ともに自分で送迎が必要で、正直、休むヒマがない。(センターと交渉はしたが、仕事をしていないのと、人員不足を理由に「ご協力下さい」と断られた。)
- 療育(今行ってる事業所)にたまたま行けて本当に良かったと思っています。少しずつ変わっていったらいいなと思い、スタッフの方も同じように取り組んでいけていて感謝しています。
- 園へのいきしぶり、孤立があったので、療育にお世話になりました。利用させて頂いて、現在、年長では集団行動ができるようになり、感謝しています。しかし、困っている現状を「何が問題なのか。こうなってもらいたいからコノ訓練をします」を、利用した日の連絡帳に意図を書いてほしいと思いました。ケアプランも半年に1回程なので、もっと密におしえてもらいたかったです。(例)「絵とことばを線でむすぶ作業が集中して行えました」と書かれており、やった事はわかるけど、これが集団生活の困りに、どういう意味があるのか・・・個別では、できるんです。集団の中での子供の成長が知りたいので、問題に思っている点を今日の療育で、こういう意味がある。を納得できるものにしてほしかった。本人は、療育は息抜きの場なので、好んで行ってます。あと、意見をくれる先生が、たった1人なので、他の先生だと何もわかりません。
- 園や学校などでは、まだまだ発達障害を知らない方がおられたり、差別的な目で見られたりするときがある。もっと地域の方に知ってもらい「障害=関わりたくない」ではなく「こんな支援があると、こんなことができる」とか「わざとやってるのではなく障害のために起こっている行動」ということや「親は、診断された日から苦しみ何とかしてやりたい」という思いでいっぱいであることを色々な方に知っていただきたい。まだまだ外出先なので白い目で見られ、子どももかわいそうです。

- うちの子は三才直前に療育に通い始めました。当初、下の子がまだ1才未満の為、“毎日通う園”は難しく、あきらめました。車の運転が苦手なのと、下の子の保育料がネックになりました。あの時三才前でも1人で通園でき、1人でバスに(通園バス)乗ることをさせてもらっていたらと悔やまれます。現在、通園型の”ぼこ”に通っていますが発達レベルが低いので午前中のみの枠となるそうです。なので週3回は幼稚園を休んでいるので園のルール、友達になじみにくく苦労しています。来春4月からようやく、午後の高レベル枠になるので、午前中は毎日幼稚園に行けます。午後は週2回”ぼこ”です。ようやく・・・です。あとと思うのは”福祉型”は毎日日中が原則で”通園型”は、月10日1時間半が原則なのも両極端だなあ・・・と思います。その中間があればいいのに・・・と何度も思いました。
- 療育を受ける場所によっては、子供に全然合わない所もあり、はじめの所は全くあわず困りました。相談にのってもらいたくても一方通行でアドバイスさえ頂けませんでした。今後はそういう事業所もきちんとアドバイスしてくれる所が変わっていく様に市の方でも色々な事業所の実態をもう少しきちんとはあくして安心して子供をあずけれる所にしてほしい。場所によって先生の方針が違いすぎます。今の所の先生はすごく心身に話を聞いてくれますし、子供もいきいきしています。早めに今の所が変わってよかったです。
- 未来図みたいな療育が増えたらいいなーと思います。保育園訪問支援など親はとても助かると思います。
- 無理なのかもしれませんが、発達支援事業所やセンター等の施設を増やしてほしいです。
- 保育園にもっと障がい理解のある…支援してくれる所があればと思う。例 小学校→特殊(別)学級と同じような。保育園の中にも、気になる子、少し支援があれば上手にすごせる環境があれば…と思うのですが。
- 療育に通いだして、半年位から落ちつきもでてきたようで通って良かったと思っています。先生方も優しくていいので子供もきりが大好きで毎週楽しみに通っています。その子の特質や性格、不得手な事を少しずつ出来るように伸ばしてくれているので、子供にとっても自信を持って安心して過ごせるようになり、良かったです。又、小学校へ入っても月1回のデイに参加したいと思っています。
- 子供が楽しく通ってくれてよかったです。
- もう少し市役所の方にも障がいを持つ親の気持ちをご配慮をして頂きたい。例えば、今回のアンケート差し出し人の所へ障害福祉課と記載されている所とか…障害という言葉が全面に出す必要があるでしょうか？他の言い回しを考える事ができないのでしょうか？
- 現在、週に1度利用していますが、夏休みや春休み等、長期の休みの時は、利用限度を超えてもいいようにしてほしい。
- 療育自体は子供をていねいに見てもらえていいと思います。もう少しどんなものなのか誰かが最初にきちんと説明してほしいです。相談のつもりで行ったのに障害があると言われて、とても腹が立ちました。それと保育園から相談したらと言われ結果的に行きついたので家で24時間世話をしているお母さんたちにぜひ知ってもらいたいです。実際、下の子の育児休暇中(本人2才)が一番騒いで大変でした。1才半健診や3才児健診のときに困っているお母さんに療育という制度があることや、2才、3才のイヤイヤ期の子供の接し方、周りのお母さんも同じように困っていることなどA4用紙1枚でもいいので、もらえるとうれしいですね。
- 2年生～の療育の場が極端に少なくなる。実際、困っています。

- すべての事が待機になる事が多く、自分の子供にとっては1日24時間が療育を利用しなくてもいい子に比べると大切なのです。待っている間、親だけでは伸びしろが少なく不安な毎日です。もうすこし利用がスムーズにいけば子供も伸びるのではないのでしょうか。上限10日というのは本当に少ないです。幼稚園で子供が友達と会話が来ていない。1人になっている様子を見ると心が痛みます。1人1人に合わせた日数や内容を考えるべきではないのでしょうか。岡山県全体でみても倉敷は少し考えなければ子供も増やそうとする親も減るのではないですが、役所の考えでなく人間として療育に関わっている子供や家族に目を向けてください。
- 週1回通っていますが、もっと家でできることとか教えてくれるとありがたいです。
- 扱いの難しい子供を抱えていると、親の悩みは尽きません。誰も頼る人・場所がなく困っているお母さんが沢山います。
- 学校での対応があまりよくないと思います。もう少し子供一人一人の事を考え療育での事を取り入れてくれないと学年が上がる事に子供はしんどさを感じています。
- 小学校へ就学後の放課後等デイサービスの利用人数が少なすぎて、いざ利用したくても空きがなく、療育をしたくても出来ない。本当に必要な児童なのか、きちんとみきわめた上での利用をすすめて欲しいです。
- 市、保健所で療育が必要と判断しておきながら、親子通園ならば、下の子を保育園に預ける必要があるのに、書類1通で何の説明もなく、希望した保育園すべて入所できないとする対応は保護者にとっても厳しいものがあります。療育に通わせたくても通わせられない状況を作っておきながら、でも、療育に行くべきとされ、周囲に頼れる人もいなくて、どうしたらよいのでしょうか。市と保健所が連携して障がいがある子は優先的に入れるべきだと思います。書面で入所できず、その後の対応策も一切説明がないとは市はとて障がいがある子の保護者に対して冷たいと思います。市と保健所の連携が必要です。
- 始めた頃は簡単な勉強とちょっとした運動くらいかなと、あまり期待はしていなかったのですが、先生と親で子供の状態に合った方針を話し合ったり、勉強も、その子に合った(延ばしていきたい)部分を考えて行ったり…といった感じで、きちんとして下さっているので本当に行かせて良かったと思います。親でも気づかない長所や延ばしていきたい事が知れ助かってますし、勉強になります。頑張っ通っていききたいです。
- 療育よりも病院のリハビリの先生(特に ST)をもっと充実させてほしい。月に1回だけ、と言うのはリハビリではなく現状確認にしかになっていないように感じます。発達障害と診断される子供が増えて、どこもいっぱいいっぱいなのはわかりますが……。でもこれからも増え続けていくのに、このままではどうなるのかなと思います。
- 「療育の事業所」に日中一時の事業所が入るのか、よく分かりませんでした。デイサービスのみされている事業所のことだったのでしょうか？デイサービスの事業所は地域にほとんどないので増やしていただければありがたいです。
- 日々、大変なことも多々ありますが、その時々で未来図の先生方からのアドバイスやこちらからの相談に、とてもよくのっていただいています。今は必要不可欠な存在なので、未来図の日は内容が濃い1日になっています。子供にも親にも合う事業所に出会えて本当に感謝しています。
- 療育では出来ることも学校ではできないので学校の先生にも療育方法をしっかり身につけて頂きたいです。

- 子供の母親は私一人ですが、育てているのは、保育園の先生や療育の先生も一緒に育ててもらっているので、孤独感を感じず心強いです。何でも一人でかかえこまない事が大事ですね。
- 療育へ行かなかった週は切り替え、集中力、おちつきがないようで、様子をうかがう事が出来る。
- 小1の時は療育に通っておらず(幼稚園の時通っていた)不安だったが地域の小学校支援学級の先生が良かったので、とても信頼できて先生に相談していました。が担任が変わると、やり方は変わるし、色々やりにくく、不信感だらけの時もありました。今は信頼できる療育に通える様になったので割り切っています。全てがうまく行くといいですが、自分が頼りにできる所が1つあれば親は元気になる前向きに進んでいけると思います。せっかく療育に通っているなら、色々な事を家で実践しないともったいないです。最近は事業所がふえているし習い事ではないので預けっ放しはオススメしませんね。
- いつも丁寧にご指導して下さっています。家庭での接し方も教えて下さいます。母子ともとても満足しています。ただ職員の入れかわりが激しい様に思います。せっかく信頼関係を築けたなあ・・・と思った頃に移動になったりするので少しさみしく思っています。
- 市からの支援(給付費)がなければ、療育は通えていません。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- 療育とは少しずれるかもしれませんが、保育士の質がものすごく悪いです。目の前を無言で通り過ぎる(あいさつ1つしない)人や声も出さずこちらが言ったことに対して、うなずくだけ(たぶん腹が立っているのか?)の人や保護者を差別する(対応が全くちがう)などなど、子供の多感な時期にあんな人達にお世話にならなきゃこちらも生活していけない情けなさ。あんな人達では療育に通ってもよくなると思います。もっと資格試験だけでなく人柄を見て合否判定してほしいです。
- 障害者差別解消法が施行され合理的配慮が義務化される中、個人の障害や特性を理解している療育の担う役割は今まで以上に大きなものとなると思います。学校の先生方は専門性が乏しく、なされるべき配慮がなされずにいる場面が多くみられます。積極的に学校に介入し教師の障害に対する専門性を補うようサポートしてもらいたいです。一個人の意見ではなかなか学校には伝わりにくいことがありますが、第三者(レインボーさん)に介入してもらい学校での対応がとても良くなったので、子どももすごく伸びてきています。適切に介入することで周りの人、学校の先生、子ども本人、保護者もかなり楽になります。横の連携を積極的に行いやすくなるような体制を今以上にお願いします。
- 1年生のクラスでは30人を越えないと2人目の先生がつかない決まりになっているようだが、せめて1年生だけでも2人の先生が必ずつくようにして欲しい。教師も療育について勉強して頂き、情報共有をして欲しい。1学期に1ケタのたし算ひき算のカードで練習していたのですが、担任の先生に夏休み中に指で計算しなくてもできるようにして下さいと言われたが、リハビリの先生には数の根底を学ぶためには必要なことだと言われました。子供のことをきちんと理解して下さいれば担任の先生のような発言になかったのかなと思います。親はひとつひとつの発言に対して敏感になっていると思います。言われることが違ふと一体どうしたらよいのか迷ってしまいます。できれば、このようなことがようにして欲しい。子供も療育に通っていることで、他の子供たちとは異なることに疑問を持つ時期がくると思います。いつ療育をやめたら良いのか迷うところです。
- 今はまだ子供が小さいので深刻な悩みはないのですが、行動を見ていると、小学校では授業ちゃんとうけられてるのだろうかとか、今の感じのままおじさんになったら一人で生きていけるのだろうかとか不安は絶えません。療育に通うことで、客観的な視点の意見や、子供の得意なこと、苦手なことをハッキリさせて伸ばしていけるように協力していきたいです。

- 週2回で通いたいが保護者も仕事で不可能な事が多いです。送迎のできる事業所が増えるとありがたいなと思います。
- 現在は今通っている療育に対して不満はなく信頼をお願いしているが療育機関でもそれぞれ方針やレベルの違いがあると聞いている。人数の制限などなく、子供に合った場所を選べるようになればいいと思う。また、発達障がいを持つ子供がその子供に合った園に優先的に入れるような工夫が欲しい。(子供に合った対応をしてくれるところじゃないと、逆に悪化する場合もあると聞き、とても不安に思ったので)
- 年令に応じて、小ざくら園、めやすばこセンター、ぽこあぼこ、レインボー川入、ホットルームとお世話になりました。どこの支援も手厚く、目配り、気配りして下さい、スローステップで、特性に合った対応をして下さって、お陰様で安心して子供を預けてきました。しかし、レインボー川入だけは質が悪く、まったく療育としての対応がなされてなくて名ばかりでお金もうけにしか感じず半年でやめました。大はじです。講習会を6回受けて有料で、支援員の認定証がもらえるとの事で講習会を受け勉強しました。内容はいいものでしたが、その内容はレインボーでは実践されておらず、先生の知識も少なく、講習会で言われている事と先生のされている事とのギャップが大きくて落胆しました。どの施設でもスタッフ全員のスキルをあげて安心できる療育現場をつくるべきです。施設によってのスキルの温度差がありすぎです。
- その日行った療育内容は教えてもらえるが、実際先生と親が懇談のように話す機会もなく、幼稚園や保育園のように参観できる事もないので、大まかに「こんな事したのかな？」とイメージするしかない。お金を払ってまでいかしている意味があるのかと思う時がある。
- 病気や障がいがある子供を育てるのは本当に大変だと感じます。4年間頑張りすぎた為に私は初期のうつ病と診断されました。まだ通院中ですし服薬もしていますがデイサービスに通えるように手配して下さい支援して下さいの方々のスピードがテキパキされていて感動しました。倉敷市に住んでいて良かった。今まで頑張ってきて良かったと1年間通して感じていましたしありがたいの一言です。私の場合はたまたまいいタイミングで手を差し伸べて下さった方がいたのでそれに頼る事ができましたが、それが10人に全て同じような支援が必要かどうかそれを親が希望しているかは分からないと思うので、難しいと思いますが、助けてほしいのサインがもしでているようなら手が差し伸べられる連携(勇気?!)は必要だと思います。
- 先生方には大変支えになって頂き、子供の成長も感じられて特にこれと言った不満はないが、週2日1日2時間の療育というのはあまりに短く感じるし、医師にもっと日数を増やすよう言われたのだが、幼稚園との併用だと現状が限度であること、とは言え週5のセンター単独通園は知的障がいがない子は難しいとのことで、そのあたりがもう少し改善されればと思う。
- 通っている療育が4年性まで?(3年性まで?)と知り、コミュニケーションが苦手なので、高学年こそ、いじめ等、さまざまなことにぶつかる年齢なので、小学校卒業まで、通えるように支援していただけると有り難いなと思っています。療育卒業後、勉強面ではなく、コミュニケーション能力をつけていく為の支援所はあるのか知りたいです。療育卒業後の支援を保護者に療育の事業所がもう少し提示してくれると有り難いです。
- 封筒の部課名に障がい福祉課と記入しないでほしい。子供が、今年4月から小学一年生になるのですが療育に行かせた方が良かったか悩んでいます。
- プランを作ってもらっている先生と相談することがほとんどないのですが、今後どうして良いのか不安になる。短い期間で、話を聞いてもらおう機会を作ってもらいたいと思います。

- 小学校の支援級に対する区別を越えた差別を感じる事が多々ある。(他の小学校支援級とくらべて)療育のおかげで、学校側に意見を言う事が出来るようになった。
- 小学校にあがると受けられる療育の時間が今と比べてぐっと少なくなってしまう事に不安を感じています。園より小学校の方が内容も難しくなるのについていけるのか。
- 来年、小学校に上がる際、通常学級が支援学級か、選択に悩み、不安を感じています。小学校でお友達との関わりや、お友達が出来るのか・・・不安です。参観日、発表会、運動会・・・集団の中での本人を客観的に見る時、どうしても差を感じ辛いです。保育園とはよく相談し、目立たないよう配慮してもらって日々、感謝しています。療育の先生方も、いつも相談にのってくれて有難いです。
- 今通っているところが、小学校3年生までです。その後どうするのか通う療育機関が少ないのが不安です。これから思春期だったりむずかしいところなので、通える所、相談できる場を増やして欲しい。とにかく長く通える所を増やしてほしいです。高校受験もあるので、学習面でも見てくれる所があるといいなあと思います。
- 療育を希望される方が多く、思うように日にち、時間がとれず、仕事もしているのでつれて行くのも限られています。もっと療育を受けさせたいのですが・・・少しでも子供の成長を願う親の気持ちです。
- 今5歳なので小学校入学が大きな課題です。もう少しいろいろな情報をもらえると小学校に入って困らず生活できるのになと思います。
- ただできることをして誉めるというシステムをぐるぐるまわすのではなく、本人の特性を見つけるためにいろんなことをためてやらせてもらえたらと思います。毎回同じことのくりかえしで違うことをしてもらえないかをお願いしますと、同じものでもレベルを少しずつあげているんですとのことでした。ただプリントをこなすのではなくものづくりが好きな子、音楽が好きな子、話のストーリーを考えるのが好きな子、運動が好きな子、いろいろな子がいますので、発達障害の子ども達用の学習プリントから少し枠を出て、その子が持つ特性をひき出す、興味のある内容を授業でしてもらえたらと思います。
- 部署が違うのでここに書いても仕方ないとは思いますが…。水島保健センター福祉課から送付された「障がい福祉サービス受給者証の更新について」の案内が先日送られてきた。医師の意見書を取り、相談支援事業所へ2月12日までに子供を連れて相談に行くように書かれており、封書が届いて約2週間後の日付が設定されていることに非常に困惑した。仕事をしており、発達相談員の予約や相談支援事業所の予約が取りづらい中、このようなタイトな締切の設定はどうかと思う。2か月、3か月前から書類を送付してほしかった。去年受給者証の申請をするのに事業所へTELしたら「この時期はどこも予約が殺到していて忙しいから取りづらいですよ」と言われた。
- お店や公共機関の障がい者専用駐車場に一般の人が停めていることがよくある。車いすなので狭いスペースでは乗り降りできないので、結局は、車の少ない一番遠い場所に停めないといけないこともあり、嫌な気持ちにもなるし、困ります。モラルとかマナーとか道徳的教育を子どものころからしっかりしていただきたいのと、アメリカのような、障がい者を守るような法的規制を強く望みます。障害を持つ子の親は、自分がこの先、世話や介護が出来なくなったとき、施設に入れられないといけないのかと不安をかかえながら毎日を送っています。旭川荘、南医療などありますが、どこも安心して預けられるような施設ではありません。老人のようにグループホームやサポートを受けながら親子で入所できるような小規模な施設をたくさん作ってほしいと思います。重度の人でも、福祉のサポートを受けながら自立できるような社会になってほしいです。

- 放課後デイサービスをもっと増やしてほしいです。あまりに少なすぎます。ケアプラン作成は療育を通っている事業所で作成をお願いしたいです。今年度から療育先の同一母体で運営している相談支援事業所が使えないというルールで全く子どもと面識のない児童版ケアマネの方にケアプランを立てて頂きましたが、時間の無駄を大変感じました。また、特に児童については、児童の経験がほとんどない方も相談事業所にいましたが、それはやめて頂きたいです。特に息子の場合、セタ-と同法人のサービスにうつりましたが、このルールの為相談支援事業所を変えました。その際息子の背景をまったく知らない人にイチから説明しなければならず、同法人内ならすべてを知ってくれているのでそうしたうえでの療育支援計画をたててくださるしてそちらの方が子供のためになっているのではと強く感じました。高齢者のケアマネと児童のケアマネを同じように考えているようにしか思えません。同一事業所集中してはいけないのでは保険上のルールと同じように数えられている。また児童のケアマネじゃ児童のケアプラン件数や児童発達支援に携わっていた年数を5年以上とかある程度経験がある人がいる事業所だけが相談支援事業所として指定を下してほしいです。
- 幼稚園の先生と、療育の先生で教えることに差があるので、どちらをどう信じていいのかとまどうことがあります。例えば幼稚園ではちゃんとできている、言葉で理解できているといわれますが、療育では絵カードを使ったほうがいいという風に意見が分かれます。療育のほうがより専門的ということもあり楽観視せず子どもとていねいに関わらなくてはならないと考えていますが、療育の話を知っていると、まるでうちの子がまだまだ色んなことがうまくできない。普通の子よりおくられているとおもわざるをえなくてそんなに普通の子とちがうのかなあとってしまうこともあります。この子しか育てたことがないので私には比べようがありませんが、発達障害があっても軽度なほうであってほしいとつい思ってしまいます。
- 子どものケアにはスタッフや学校などが取り組んでくれるが、子どもと一生懸命向き合う親は、毎日子供の不平不満、悪態をシャワーのように浴び、ストレスがたまります。親の悩みや相談を気軽に聞いてもらえる場や回数があるといいなと思います。
- 療育の場では大変お世話になっており、子どもへの関わり方など一緒に考えていただいたり悩みを着て頂いたり、親子にお世話になっています。ただ、スタッフによってこうしたら良いという方法が異なることもありまどうことでもあります。どちらのスタッフも子どものためによいと思うアドバイスをしてくださっているので両方を参考にさせて頂いていますが。あと、今の療育を受けるために受給者証を申請した時、申請の仕方がややこしく、ゆめばるでは事業所で手続きをといわれ事業所ではゆめばるでと言われ、何度もゆめばるへ行ったり事業所へ行ったり事業所へ行ったりしました。申請の仕方をわかりやすく統一してほしいです。
- スタッフの方々。よく子どもと接し見てくださっています。
- 保育園とセタ-の利用料が二つできてちょっとしんどかったです。最初は泣いていた子が今では楽しみにしているのに、また4月から別のところへ行くのがかわいそうです。みんないい先生でした。
- 今年の5月に伊勢・志摩サミットが開かれますが、倉敷で催される教育相会合で障害児教育の話題は出るのでしょうか？3月に子どもサミットが開かれるようですが、支援学校の生徒さんたちは全く関わらないのでしょうか？倉敷も外国の各都市と姉妹協定を結ばれていますが、障害児、者との交流については見聞きしません。障害があってもいろんなことを感じ、考える心があります。ノーマライゼーションが実現するには、障害に関する情報を適切に授業にとりいれたり、実際に健常者と障害者が交流する機会を設けるなど、隠さず、触れ合う教育が必要だと思います。そしてサミットのような会議でも話題に出していただける、開かれた街になることを願います。

- 事業所スタッフに見てもらえることで親では気づかないところが見えてきたり（子供の長所など）相談相手ができたりと心にゆとりを持てるようになりました。利用してよかったと思います。
- 一応すすめられているので療育にしているが4歳だからなのか発達障害だからなのか微妙なこと、行動ばかりで悩むことがある。調べてもグレーゾーンと言われ将来子どもが困らないのならと思って通っている。けど、療育自体はとても良いので不満はない。子供との関わり方や、その子に合わせて毎回いろんなことをさせてくれるので良いと思う。お金がかかるので行かなくて良いならそれが一番だと思う。
- スマイルキッズかたしまさんは療育内容を十分に事細かに教えてくれて安心して通わせてもらっています。初めは療育に少し抵抗があったのですが、通わせているうちにもっと早くかよわせていけばよかったと思うほど子供の成長を感じています。
- 幼児期から親子共に相談できる場所を持ち、子どもたちが問題行動につながらない支援が得られ、地域でいきいきすごせれば良いなあと思います。そのためには子どもと関わりの多い、保育園、幼稚園、検診病院で手を差し伸べてほしいです。
- 保育園によってはきになる子に受診を勧める園、すすめづらい園もあるようです。先生方の対応がしっかりされているため表面化しなかったり、親の考えもさまざまであるため支援を拒む方もいらっしゃるでしょうし、保育園の先生や保健師の方が受診を促す基準があればいいでしょうか？フォーマットの作成等。目に関しては、月1回福祉プラザでみてもらうことができます。同じように発達に関しても受診前に気軽に足が運べる場所があればいいなあと思います。
- 娘の特性はどちらかというとなりにくく、園での集団生活の中では、気づいてもらいにくい面があります。園での様子を先生に聞いても特に問題ないですと言われることが多く、親としては見えていない部分が多いです。療育の先生はしっかり娘の特性を見てくださり、娘がしんどいと感じるところを気づかせてくれています。園の先生にも娘の特性を理解して、園でも取り入れてほしいと思う反面、特別扱いではと思ってしまったり、先生方も多くの園児で手一杯ということはわかるので、どこまで先生にお願いしていいのかと思うのが本音です。
- 療育機関（グランひまわり）は就学を控えた児童への情報提供がなく困った。説明会や特別相談会があったことなど、すでに終了していることを後に知った。保育園の先生と療育の先生とはやり取りがない。後日見学の機会を設けた。保育園の先生は受診してください。療育へ行ってくださいというが、その内容も知らないのにそういうのは無責任で厄介払いのように感じた。障がい福祉課の名称を変更してほしい。医療機関に何度もかかり、受給者証の取得に労力もかかりそれで療育機関の支援が粗末では報われないと思う。親に負担がかかりすぎ。
- 学校が休みになるとき（春休み、夏休みなど）療育を受ける日に日中預けることができない点です。仕事の都合で日中は預けなければならないことが多くなる長い休みで困ったことがあります。仕事の休みの関係で平日の夕方から療育を受けたいと思っても日中支援でりようしていると受け入れがだめだとわかり、私たちの仕事の休みと事業所の休みが同じため調整が大変になります。できれば学校の長い休みの期間だけでも同じ日に日中一時も療育も受け入れるようにはならないでしょうか。前向きなご検討をお願いします。
- 療育の利用ができないときに、一時保育を利用していましたが、天城保育園の質の悪さ、保育士の知識不足、対応力のなさにとっても悲しくなりました。子供を思うとみじめでむなしくなりました。なぜ、こんな子供を産んでしまったのだろうかとも思いました。療育ももちろんですが、発達障害のある子どもでも気軽に利用できる場所や保育園にしてほしい。

- 事業所が市内にたくさんできて困っている親としては大変うれしく思っています。事業所の特徴がさまざまあり、保護者としては、どこをどのように調べて、利用決定をしてよいかわからずに空家の事業所を見つけて契約するという流れになっています。市のホームページで、TEACCHをしている事業所になるなど、特徴を一覧できたらと思っています。大変な子を連れて空きのある事業所を探し回ることが保護者同士の話の中でもよく出てくる話題となっています。
- 子どもを大人の考え方や社会の枠にはめ込んでいくのではなく、周囲の大人も子供ももっと良い事、悪い事を自分で考える力を身に着けて行ってほしい。周りが〇〇だから自分も〇〇するといった同調圧力が強いので、発達障害のある人には大変生きにくい世の中だと感じます。枠からはみ出ている人を認めなくなるのは枠があるからだと思います。もっと多様性が当たり前になれば、暮らしやすくなるのにといつも感じています。
- 偏見がまだまだあると思います。どういう風にみられているのか正直不安になることがあります。児童発達支援、受けたくても受けられない人はたくさんあると思います。もっと施設を増やしてほしい、発達障害の子どもが通えるにっすうについても検討してほしいです。発達障害の子どもが毎日通える保育園も少ないと思います。子供だけでなく親のストレス悩みを聞いてくれるところもわかりやすいように説明してほしいです。
- 療育を受けられるまでの手続きがいろいろ難しくなり、もう少し受けやすくなればよいのにと感じています。就学前のこどもだけでなく、学齢期の子供に対しての療育機関、利用期間の拡大を切望しています。
- 今通っている事業所は幼稚園までで、小学校からは違うところを探さないといけません、こどもにとって幼稚園から小学校と新しい生活に変わるのに療育も新しいとるとすごい負担やストレスになると思います。変化することが苦手な子は、とても大変です。できたら療育はずっと同じところに通えるようにしてもらいたいです。幼稚園で他の保護者の方々にも発達障害の勉強をしてもらいたいです。せめて乳がん検診などのチラシを配る時に発達の資料を配るだけでもいいのでしてもらいたいです。
- 金銭的な援助をもっとしてほしい。軽度の障害であっても援助をしてほしい。働けない、子供を家族に預けるのが大変。(家で見るのが大変なので)
- 子どもが中学生、小学校高学年で、それぞれ発達障害の診断を受けた時、幼少期にわかっていたら違っていたでしょうと言われたが、診断を受けたその年齢で療育を受けるところがなく、何かあればそのあとで対処するしかないと言われました。どんな年齢でもどこかしらその年齢にあった療育を受けられるところがあればいいと思います。
- 我が子の特性を知ろうと療育の先生方のお話や、本を読むと私がそうであると思う部分がたくさん出てきて、それを受け入れることが割としんどい状態にある。と同時に我が子を待つことはできるようになっているものの、自閉そのものを受け入れることがなかなかできない。でも療育では、我が子の全てを受け入れ、じっくり指導や、見守るということをしてくださるので、とてもありがたく、大きな存在です。就学前までの施設なので、ぜひ就学後のケアも今の先生方にさせていただきたいと切に願っております。
- 短期間で変化や結果を求めないで頂きたいです。何年も後に成果がでてくるものかもしれません。継続して療育を受けれるようお願いします。
- 未就学児は利用可能日数が多いが、就学後は日数が減ることに不安がある。就学後も利用できるサービスが増えればよいと思う。

- まだまだ発達障害への理解がないです。障害をご近所で否定されたり、外出先で変な目で見られたり多々あります。上の子の学校の役員は下の子がいるとパニックを起こすので不可能でそれを障害から逃げるなど言われました。近所の人にデイサービスも向かないタイプの息子は、週末に学校行事があると預けるところがなかったりもしますし筋力が弱いので上の子の小学校まで45分は歩けず、車で行けない行事は自動的に行けません。我が家は息子が障害があるのをオープンにしていますが、障害への理解はまだないのを目の当たりにしました。発達障害は見た目ではわからないことが多いので、オープンにしたい人には妊婦マークみたいなしるしをくばるのもありなのではと日々思います。1から人に説明するのも大変です。それに受診や買い物など駐車場が遠いと歩けなかったりするので、発達障害マークを作って欲しいです。
- とても毎回楽しく利用させてもらっています。室内だけでなく買い物支援などいろいろ考えてくれて充実した時間を過ごせているようです。療育後の先生の話も細かく伝えてくれ、自宅での様子もよく聞いてくれてアドバイスをしてくれ、短い時間の中とても支えになっています。利用者人数が多くて仕方がないのは理解していますが、もう少し利用日数が月1回では、支援内容が身につかず、もったいないと思うことがお多いので、日数がもう少し増えたらいいなと思います。
- 私は療育を利用し始めて3ヶ月です。システムというか流れが最初分からず大変でした。療育の中でも学習面を力を入れている事業所、心理面を力を入れている事業所があるということや、療育の流れ（私が利用している事業所は1時間で終わりますが、他の事業所はもう少し長いようです）を一例でわかるパンフレットなどあったら参考しやすかったように思います。
- 3歳で指摘されてから後、医療機関はメモ書きで紹介されたのみでした。5歳になって大変になってきたからも民間の療育しかなく自ら足を運んで市街の施設を見つけました。今では充実しているのだろうと思いますが、当時はとても大変でした。これから中学に入学しますが、高校からはまた何も無い状態からのスタートになります。児童だけではなく、成長していく子供たちの支援も充実させてもらいたいと思います。
- 療育先の先生は優しく良い先生ばかりですが、子供の様子をもっと詳しく聞きたいと思うことがよくあります。引継ぎは連絡帳に書いていることをただ読んでいることが多いです。お母さんどうしが仲良くなる機会がもう少しあればと思いました。
- 倉敷市は幼児期は療育の日数も多く、手厚いが、小学校に入ると日数が5日と少ないので、特に長期休業中など困ります。夏休みだけでも日数を増やしてほしい。空白の時間を過ごすことが苦手な子供たちなので夏休みは本当に困ります。不登校になった時も5日しかないと思ったら不安です。不登校の時は日数を増やしてもらえるのでしょうか。療育があるので親はいつでも相談できる場所があると安心して暮らせます。本当にお世話になっています。ありがとうございます。
- 障害を区別しないといっても、個々にいろいろ気をつけることが違います。肢体不自由児と発達障害児とを同じフロアで与えることの不安、不平があります。デイサービス等、事業所ができて発達障害児ですぐに満席状態。肢体不自由児（重度）（医療ケア）は結局行けるところがない。リハビリも制限されている中、重度障害児は邪魔にされているようでとても嫌です。必死に生きている子供たちにもっと目を向けてもらいたいです。
- 学習障害に対しての啓発とそれをフォローできる専門家の育成を切に願っています。
- もっと幼い頃からの療育施設を増やしてほしい。受給者証があっても日数があっても、施設が少ないので入れず、週に1.2度しか通えないのでは残念に思う。小学校の先生にも療育とはの勉強会で特性等の理解を深めて欲しいと思う。市役所からもっと情報を郵送してほしい。

- 最初「発達が遅れている」と市の検診で言われて目の前が真っ暗になりました。第3子で上の兄妹の時はなんとも思っていなかった「発達を促すのははたらきかけはどんな風にすればよいか」という方法論をとりあえず探して回らなければならない。という思いにとらわれ、子育ての難しさを痛感しました。でも、そんな中で発達が遅い事をどのように捉えるか。ということを実業所の先生方に本当に教えていただいたなとこの1年を振り返っています。この子をどう発達させるかではなく、まず現在の子の状況を受け入れる。私にとってとてもむずかしいけど、ありのままをうけとめてやることこそして見守ってやることこそが親としてとても大切です。まず、やるべきことなのだと思えるようになり、そういうことで私自身とても楽になり、子供とも笑顔で接することが増えたように思います。本当に精神的に不安定でどうしようもなかった親にとってもおひさまキッズの先生たちの存在は太陽のようなあたたかな気持ちをくれる場所になっています。この出会いにここから感謝です。そして今後共よろしくお願ひいたしますという思いでいっぱいです。
- 地区の担当保健師、最初に療育施設を紹介、訪問したきり。その後の成長など全く見に来ない。連絡もしてこない。家庭での様子、センターでの様子を期間を設けて面談するべき。保健師の仕事を何かかんちがいしているのではと思う。クムレ単独に子どもを送迎している保護者、駐車場内での立ち話多すぎる。駐車スペースが空いているところ、駐車場内の走行スペースで何人もがよく立ち話をしている。本当に迷惑。小さくらの共有駐車場なので礼儀をわきまえてほしい。センタークムレの職員の方もそういう現場をみたらきちんと注意すべきだと思う。どうして注意しないのか不思議に思うし納得できない。
- 療育では大変お世話になり、利用して良かったと感じております。ただ、小学校へ上がると、放課後等デイサービスの利用できる場所が少なくなり（通級もありますが仕事をしている親は利用するのが難しいですし授業を途中で抜けることへの心配もあります）せっかく今までしっかり療育して頂いたのに、これからもサービスを利用できればもっと成長できるかもしれないのと感じています。
- 倉敷市も福祉サービスを2つまでなら受け入れるという制度になってもらえるとありがたいです。
- うちの子は変化に対する不安が大きいです。なので不安があっても何を聞けばその不安が少なくなるか、耐えながら新しい環境に馴染んでいけるかという方法を教える、教えていくことが大切だと思っています。そして、困ったときにどうできるか、周りの人達にどう伝えて、必要に応じてヘルプを求めていくかで、少しでも生きやすくなると思います。大人になったとき、就職やひとり暮らし等自立しなければなりません。小さい頃に早めに気づき必要な支援を行い、成長に合わせて内容を検討し、対応できるように環境を整えてあげる・・・しかしまだまだ理解の少ない先生、両親、環境だと感じることが多いです。その時だけで判断するのではなく、10年20年30年先・・・親なき後まで考えられることができれば良い方向へ進めると思います。
- 二人利用しているの後々の支払いすぎた金額を返していただくために1回1回申請するのはけっこう大変なので（子どもが幼く動きづらい）できることなら金額を支払うのを二人分や三人分あわせて支払うのではなく、1家庭分の支払いにしていきたい。もしくは、事業所で申請ができるようにしていただくと助かります。もう少し、発達支援を受けている子供達が安全に遊べる施設を増やしてほしい。（プール利用の際に看護師免許のもっているスタッフが付き添って頂けるなど）病気があっても普通お子どもと変わりないように利用できる施設を増やしていただけることをお願いします。
- 岡山市まで片道1時間かけてかようのはやはり大変なので倉敷市にもダウン症や難聴児に対応、専門の療育が出来たら助かる。先々の進路等、個別に保育園や幼稚園を紹介してもらえたらありがたい。療育を生かせながら、自分が働くことが難しいので、仕事（障害児を持つ親）に出来るものを案内してほしい。

- 保健師の方に進められて療育を受けています。子供も学べていると思っています。また、親も子どもへの接しかたを教えてもらえる機会があり、大変助かりました。療育を通じて親子共々成長できたと思います。4月からは幼稚園に通う必要があるのだろうか少し感じています。子供も成長し、以前よりは不安に感じることも減ってきています。小学校に入学するまで通わせる必要があるのかなと思います。
- おかやまかなりや学園と岡山聾学校の違いがわからない、あいまい。療育を受ける条件をはっきりさせたほうが良い。それぞれの立場も。
- 今、娘がお世話になっている事業所は、日頃からこどもや親にたいして丁寧に向き合っていて困ったり悩んでいたら話を聞いて一緒に考えてくれていて、社会活動もあり、子供に色々体験させてあげて良い事業所にてあえてよかったなと思っていますが、小学校2年生までしか通えません。3年生になったら新しい事業所はみつかるといえるのだろうかという不安があります。お友達は1年生から新しい事業所を行かなければいけないが、なかなか見つからないと言っていて私は今のところは小学2年生まで大丈夫だけどそれから先の未来は大丈夫かなと今から心配です。今の事業所のようにこどもや親と向き合ってくれるところと出会えることを切に願っています。
- 小学校以上の療育の場を増やしてほしい。仕事をしているので日中一時支援のように送迎を可能にしてほしい。
- 日中一時、また、このような療育支援をする事業所は多く出来ているが、質に問題があると思う。スタッフを育成する場が現場だけでなく、ほかにないといけないのでは。子供を育てている親御さんはみんな本気で子供たちの将来が明るいものになるよう頑張っている（そのような親子ではない方も多いのも問題だが）と思うので、スタッフもしっかりして欲しい。このような親御さんにもトレーニングが必要なので、もっと懇談など、勉強会も参加できるようになれば良いと思う。今通っている所の話ではありません。世の中全体のはなしです。今まで関わってくださった先生方にとっても感謝しております。
- 1歳半検診でひっきり2歳で発達障害とわかった時は、障害を理解することもできず、不安でしかたありませんでしたが、保健師さんと話をし、児相で発達検査をして2歳半から療育を始めました。現在は10歳になりお世話になった事業所は何箇所にもなります。療育について劇的な変化を感じたことはなく年齢での成長か、療育での成長かはわかりにくいですが、ただ、どこの事業所でもやさしくせっしていただいて、良いところをたくさんほめていただいていたので、事業所が変わっても嫌がることはなく楽しくかよわせていただき、やさしい子に育てていると感じています。
- 1年前まで相談事や家庭での取り組みの方法を教えてもらっていたが、27年度時間が決められ、その中でないとダメだとなってから、療育施設との連絡帳内だけになり、とても不便となった。また、家庭での取り組み方も全くできなくなった。1人親家庭でなかなか仕事も休めないのが時間の制約はとても辛い。家庭での取り組み姿勢が下がった。家庭での取り組みがもっとも子供の成長をさらに上げるといえるので、子供だけでなく、家庭での取り組み方のセミナーをすることも大事ではないでしょうか。また、そこから親同士、また先生といろいろ話をしたり意見交換もできるのではないのでしょうか。
- 療育が終わった後に、スタッフの方にその日の様子を聞く時間があるのですが、次の方が待っているのがわかるので、待たせているのもわかるので、こちらから話す機会を遠慮して設けることができません。私自身が待っている人のことを気にしすぎなこともあると思うのですが、気兼ねなく話せる時間がほしいなあと思うことが多くあります。

- 療育は早いうちから小さいころから受けた方がいいと思います。それには親が「自分の子どもが成長が遅れている、障害があることを受け入れなければいけない」この作業が一番つらいかもしれません。ですので、障害があっても就職して自立して生きていける。お手本、モデルの人や事例などを話したり、説明をしてあげて親を支えてあげる必要があると思います。虐待のことももしかしたら子ども(発達障害)などの症状がある場合もあるかと感じることもあります。
- 平成27年4月より療育の時間が17時から16時までになりましたが、幼稚園が終わってからとか13時30分位からの利用になるので短いように思いました。平成28年4月からは小学校に通いながらになり土曜日の月1回か2回の利用になるのでかなり不安です。もう少し増やして欲しいです。
- 低い年齢のうちから早く専門家に相談、療育をかいしできたので良かった。年長、就学してから発達障害の診断を受けても好ましい行動までの目指すのはとてもむずかしい。(ご褒美がグレード高くなってきたり、こちらの言葉、支持の聞き入れが幼児期の方が素直)と思う。園によって表情に発達障害のこどもさん受け入れますと言いつつ、問題行動に頭ごなしに言葉を発したり、否定されたり、行ったこともあると聞きます。せめて就園時は子供たちの自己肯定感を伸ばす、その子を認めてあげられるような関わりを先生方に持って欲しいです。子供と相談支援と一緒にいて、福祉事務所に一緒にいってと小さい子を連れて何箇所も行くのがもう少し簡略されると良いと思う。
- 初めてゆめばるに相談に行ったとき、資料一覧をいただいて、あとはお母さんがどこか興味のあるところにTELをと言われましたが、できたら療育機関との初アポイントメントをとっていただけたらと思います。もしくは相談支援の方との相談するためのアポをとっていただけたらなあと。ただのしょうかいであれば、ネットでもいろいろ調べられるので、そこからの一歩出だすだけしていただけるゆめばるであってほしいと思います。我が子が療育?とと思っている保護者にとってのTELでの相談アポはかなり勇気がいると思うので。
- 息子が発達障害だとわかり、どうして良いかわからなかったとき、保育園の先生や福祉課の方々とてもお世話になりました。保護者の茶話会と一緒に来ていただいたり、たくさん話も聞いていただきました。進路相談などもとても役に立ちました。おかげで息子は5年生の3学期から支援級から普通級に主軸をうつし、今のところ大きな問題もなく、順調に学校生活を送っています。診断を受けないと療育は受けませんが、不安のある親御さんにはなるべく専門医を受診して少しでも早く療育を始めて欲しいと思います。子どもが成長すると相談機関や療育機関も少なくなるので、成長に合わせて通える期間が増えるといいと思います。
- 療育について最初はわからないまま事業所の見学にまわりました。それぞれ規模や設備も違い、どこを選ぼうかと悩みました。定員数も限られるので、希望のところに通えるか、いつから通えるのかなど、療育が必要と言われてから実際に療育がスタートするまでの不安が多かったと思います。療育先が決まるまでの間の相談が気軽にできたらなあと。通常より何かと迷惑や面倒をかけることが多いわが子ゆえに負担をこれ以上おかけしたくないという思いも生まれ、気軽さというのはありがたいのです。ゆめばるのスタッフには大変お世話になったのですが、また、仕方ないことかもしれませんが、通院ばど病院も遠いところだったり、対応いただけるところを探しているので交通費などにかかる金銭的負担が大きい中、療育の費用も発生するのが辛いところではあります。いろいろと書きましたが、今後ともより良いご支援をいただけるようよろしく願いいたします。
- 療育の先生方がとても親切に子供に接して下さり、とても助かっています。この1年近くで子供がすごく成長していると感じられました。できる事がどんどん増えて、本人も自信が付き、精神的にも安定したように見えます。また親の相談にも親身になって聞いてもらえたり私もとても助けられました。自分だけではよくわからない福祉の制度や仕組みも詳しく教えていただけるので助かります。

- 療育に通い始めて本当に良かったと思っています。しかし、療育に通っていることを知られると、偏見を持たれるのではないかという気持ちがあって、でも隠す必要はないだろうし、という複雑な気持ちです。療育に通っている保護者の交流の場を作ってほしいと思います。同じような環境だと悩みを打ち明けやすいと思いますし、いろいろと情報もきけると思うので、ぜひ、そのような場を作っただけたらと思います。
- 私の場合、療育を受けさせるまでに半年以上かかり、申込をしてからも数かげるまちました。保護者の方は、わらにもすがる思いをして施設に行っている人たちもいると思います。何をすればいいんだろうと動いても〇〇へって〇〇を申し込んでください〇〇へって〇〇が必要です、こればかりで徒労に終わる日々が続いたことは保護者にとって負担と精神的な苦痛でした。手帳がないと受けられないことはわかりますが、実費を自己負担させてでも早めに受けさせることができるというお試し療育があってもいいと思いました。
- 発達障害という言葉聞いたときは本当にショックでしたが、今は子どもの一つの個性として付き合いしていきたいと思えるようになりました。ただ、頭ではそうなんだと思える時と、何度注意しても聞いてくれないと、気持ちに余裕がない時は怒り散らしたりして自己嫌悪におちるときもあります。ただ、子どもの優しさに救われることが多々あります。毎日良い対応をしてあげることができていないと思うけど、今日一日を精一杯ぼちぼち子どもの成長を楽しみながら過ごしていきたいなと思います。
- 今度小学校ですが、支援クラスとふつうクラスで受け入れや本人がスムーズに又、クラスの他の子の接し方が気になります。
- 最初は認めたくない思いもあり、抵抗を持ちながらの療育でしたが、子どもの成長している姿を見て、行かせてよかったと感謝しております。子供の足りないところをこれからも助けてあげれる親になりたいと思っています。
- スタッフの入れ替わりが早い。子供のことをよくわかってもらえたと思ってもいなくなる。大変なお仕事だとは思いますが。
- 悩みを溜め込むタイプの子です。学校のことで嫌なことが色々あって学校に行きたくなくなった時があり、担任の先生は忙しくてゆっくり話を聞いてくれる時間がなさそうなので、月1回来校されるスクールカウンセラーの先生に、子どもが話を聞いてもらっています(10月~今までに6回くらい)。溜め込んでいたのは学校のことだけでなく、家庭のこと、私にうるさくいわれることもかなりストレスになっていた、ということがわかりました。幼い頃から溜め込み続けていることを聞いてもらって、心をほぐしてもらえているようです。わが子も私も、スクールカウンセラーの先生に救われています。月1回より、もっと頻繁に来ていただきたいです。担任の先生だけでは対応しきれないと思います。担任の先生が1人で抱え込む、ということにならないようにしてほしいです。また、通常学級で、がんばっているけど支援や配慮の必要な子なのです。
- 発達障害児は、他の子に比べると知識の吸収も遅いのですが、理解するとわかってくれる事が多い為、根気よくつき合いをしてあげて欲しいのですが、時間が限られている為、してあげたい事の半分もできないなどの声を耳にする事もあります。倉敷市は、児童に対しての時間の配分が他県よりも少ないとも聞きました。もう少し、時間を頂ければより重質な教育をしてもらえるのではないかと思います。1日あけば憶えたことの半分は、忘れてしまう感じなのに、1週間もあかなければ次の日程が取れないのは、かなり不足に感じています。見なおしをお願いします。(制度)
- ポコがなくなってからの小学校の生活のイメージができない。これからは、どこに相談をしたら良いのでしょうか？

- 子供が小学生になってから、未就学児の時の様に療育を受けられなくなった（回数が減った）。高学年になっても通える事業所が増えてほしいと考えています。
- 今、とてもよくしてもらっていると思います。4月から小学校に入りますが、学習支援・児童デイサービスありますが、なかなか放課後デイサービスが少なく見つける事が難しく感じました。数が少ないのかなと感じています。今行っているぽこさんにとってもよくしてもらっているので、できれば小学校でも療育をうけたいのですが、そういうわけにもいかず……ぽこさんに小学生もお願いしたいです。難しいのですが……。あと、色々な手続きが難しくなり、あっちに行ったりこっちに行ったり。仕方ない事ですが、どうにかならないかなと思う事があります。今、ほんとはよくしてもらっている（ぽこさんもゆめばるさんにも）います。安心しています。
- 療育を利用して娘は凄く変わりました。言葉や行動などすべてが急に伸びて、とても嬉しいです。支援があることにとっても感謝しています。
- 発達支援をして下さる場所・人にご縁があった事、本当にありがたいと思っています。はじめは我が子の特性を受け入れ難く、「お母さん、育児大変だったでしょう？よく頑張ってくださいね」という言葉が、今なら分かってもらえて嬉しいと思えるのかもしれませんが“そんな風に言われるほど大変な子供を抱えてしまったのか”というショックの方が大きく、目の前が真っ黒になった記憶が鮮明に残っています。そこから一步一步やってこられたのは沢山の人、場所に支えられての事なので本当に感謝の気持ちでいっぱいですし、まだまだこれからの不安も大きいのでこれからも良いご縁があると良いなあと思っています。
- 療育に行ってしまうとあまりぐずぐず言わないようですが、通いだしてもうすぐ1年なのに、行く時になると「行きたくない」と言って泣き出します。療育の先生も好きなキャラクターのぬり絵やシールを準備してくれたり、興味のありそうな遊びに誘ってくれるのですが、何か心配なことが本人にはあるようです。少しずつ療育に通い出して出来ることも増えてきているので、楽しみながら通ってくれとありがたいのですが。
- 小学校に上がり、日中一時の場所が少ない。もっと送迎のサービスを増やして欲しい。例：学校→家、学校→職場などのタクシーみたいな感じなのが欲しいです。
- 療育を受けるための受給者証の申請手続き等にもものすごく時間がかかりすぎるかなと思います。面談以外に、療育での様子も見てくださるのであれば2年に1回の更新にする等の改善があれば助かります。発達障害者にとって、療育は必要不可欠な存在（場所）です。そして、保護者にとって療育は唯一心の拠り所です。職員の先生のおかげで何度も救われました。そして希望も持てました。親子共々感謝しています。
- 小学校の先生の発達障害に対する知識の低さに驚かされます。通常クラスでの特別な支援は行わないと言われました。そういう支援を受けたい場合は、支援級へと。何度か話をして、少しは支援をもらっているようです。が、何かある度に障害があるからのように報告されます。例えば、体育の授業中、他の子とぶつかってしまいました。「〇〇さんが、衝動的に考えもつかない行動をしたので、怒ってしまいました」のように。ただ子供が立ち止まっただけらしいですけど。困っている時に、少しの支援で他の子達と変わらず学校生活を送れるのにそれをすることを渋られます。子供は通常クラスで友達と勉強・生活することを望んでいます。もう少し理解してもらいたいです。
- 幼稚園までの療育はすごく助かりますが、小学校からは支援級など入れなかった場合が置いていかれるだけの感じとよく聞きます。もう少し、低学年まで通えるようなところがもう少し増えたら嬉しいです。あと、更新の手続きなど、毎回面倒なことが多いです。

- 学校の先生が福祉の勉強を全く知らない人で、子どもが不登校になりかけてしまう等、大変だった。普通学級にも知的に問題ない障害児は在籍するので、無理解な先生では困る。そのあたり、学事課にも伝えて欲しい。
- 交通手段の不便さを感じます。私は免許を持っていないので、バス、自転車で通園していますが、経済的にもバスでの通園は負担になっています。近くに療育施設がないので、送迎があればと思いますが、今、通っているところからは距離もあるし、送迎自体が廃止の方向にあるとのこと。
- 小学校へ馴染めるか不安です。小学校へ見学に行けるチャンスが、個人→学校ではなく、もっとオープンに（大学などが行うオープンスクールの様に）体験出来るようにして欲しい。
- 療育日数が少ない。定員数や先生の人数などありますが、学校生活のために通って療育をしているのだから、もっと必要な子供さんには日数を与えて欲しい。
- 療育を受けたくても、なかなか空きがなく、新たに探すにも福祉事業所の担当者から、うちの地区はいっぱいだから前に居住していた地区に通えるならそのまま通った方がいいと言われるくらいです。もう少し、事業所を充実させていただきたいです。
- 自分の子どもが療育を受けたいと思ってから何か月も入所することは難しく、初めて病院に行って発達検査を受けたりする間も入れると1年弱かかりました。我が子の様にボーダー児の場合、特に決断するのも時間がかかりますが、幼児期の支援はとても大切だと思うので、もう少し早く（スムーズに）受けられたら良いと思いました。また、仕事をしている事で利用できる施設に限りがあり、仕事にも負担になりました。働く親にももう少し預けやすい所であれば良いと思います。また、保育料と利用料2つ合わせると、利用料は負担していただけますが、保育料は月の半分しか利用しなくても全額負担で金銭的にも大変でした。
- 小学校はどこに入れたらいいか、普通クラスで本人がしんどくないか、心配。どうやって親は決めたらいいのかわからない。
- 事業所にすごく不満という訳ではないが、異動や退職などで担任の先生が変わることが多く、半年ごとの面談の度に先生が違ったりすると、長く見てくれている先生と違い、いちいちどういう特性や性格や家庭の様子等、話すのが面倒に感じる。仕方ない事だと割り切ってはいるが、度々だと嫌になる。
- 運よく未来図に通えるようになり、もし通えていなければ今のような成長は見られなかったと思う。まわりの子も小学生が通える事業所が少なく、通いたくても通えない子が多いので、もっとあればいいのと思います。支援級に在籍していても、療育はしてもらえない（学校の先生は理解していない人が多い）ので、困っている人が多いと感じました。
- クムレの先生方には、本当に感謝しています。また、療育を受けることを拒否していた夫に、保健師さんが見学に同行して下さり、説得して下さったので通園することが出来ました。今では、夫も通って良かったと言っています。
- キャンセル待ちなどで療育が利用できないかとハラハラしました。障がいのある子がたくさんいるのだなあと思い、たくさん施設があればいいなと。利用時間は施設によって違うので、長い時間利用させたいけど幼稚園との兼ね合いで出来ないのが残念です。
- 環境の変化に敏感な子供には、スタッフの入れ替わりの激しさはマイナスだと思う。今年度より、利用の時間帯の変更があり、大変困りました。療育の利用が必要とされても、利用をやめざるを得ない状況が出来てしまっていると思います。

- 行政、医療機関の対応の遅さ、手続きの手間を改善して欲しい。我が子の場合、1歳3ヵ月頃に通っていた保育園の主任先生に「発達の遅れが気になるので、1歳半健診で保健師に相談して」とアドバイスいただき、3ヵ月後の1歳半健診で保健師に相談したら、臨床心理士に相談するよう言われ、その前にゆめばるで予約してから相談するよう言われました。臨床心理への予約も、確か3ヵ月程待ちました。でも、結局そこでも医師に相談するよう言われ、またゆめばるで病院を紹介してもらうようになりました。保育園、保健師、ゆめばる相談員、臨床心理士に毎回同じことを伝え、我が子の何がおかしいのか、何の障害があるのか聞きましたが、全てのところでたらい回しにされ、「こちらでは、それは答えられない」とのことでした。その後、やっと病院を予約しましたが、受けられたのは半年以上待ちで、結局はじめに保育園の先生から何かおかしいと言われ、子どもの障がいの診断が下るまで、1年半程かかりました。その間の親の気持ちがわかりますか？初めての子で、自分の周りには障がい者もいなかったし、自分の子がこれからどんな人生を歩まなければならないのか不安でたまりませんでした。不安に思う親のサポートをするのがゆめばると聞いていますが、ただ話を聞かれるのはこちら仕事する身なので、その時間を割くのはもったいないです。これからのお母さん方もきっと同じ道を歩むのかと思うと可哀想です。ぜひ、改善をお願いします。
- 我が子はまだ年齢が小さいですが、小学校・中学校と年齢が上がるにつれて、色々サービスを利用したいが事業所の数が少なかったり、定員が少なかったり、利用年齢が決まっていたり（放課後等デイサービス・日中一時支援など）利用できないという声をよく聞きます。我が子も今は満足のいくサービス提供を受けていますが、これから先“いつ、サービスが受けられなくなるかもしれない（受け入れ先が見つからない）”という将来に向けて漠然な不安を抱えています。我が子は障害が重たい方だと思うので（知的面、精神面で）一生、福祉サービスを利用して生活をしなくてはならないかもしれません。あれも、これもと欲張りなことは言いませんが、必要最低限なサービスは継続して受けられるよう、（社会が皆に優しいものになるよう、制度・事業所の拡充）願ってやみません。
- 療育の先生、保育園の先生、皆様にとっても良くしていただいています。子供はどちらも楽しいようでいつもニコニコです。今回、障がい福祉課からお手紙が来てとても驚きました。
- 発達障害で病院に連れていくと“病気にされてしまう”と周りから言われて、大変迷いながら病院の門をたたきました。幸いなことに、うちの子は大変成長してきている為、明るく前向きに頑張られて、病院に連れて行ったことに後悔はないのですが、療育に関してはご担当の先生で正直当たりはずれを感じます。子育てを経験されている先生はもちろんその様なことはないのですが、お若い先生は学校で習ったことがすべてで幼い子特有の行動もすべて特性と結び付けられ、一生回復しない等、子供を否定する発言もあり、子供も行きたくないという始末です。子供だし、どうせこの子は分からないとみくびられて困っております。ほとんどの先生がきっと志し高い先生が多くいらっしゃるでしょうに、この人は……普通の会社ではやっていけない……と疑う先生を採用されているのは不安を感じております。
- 療育する場は増えていますが、質の低下があります。倉敷学園も毎年たくさんのベテラン先生が辞めて（他へ引き抜かれて）しまいます。そして、新人が入りますが、やはり質の低下があり、差を感じています。
- どの機関でも手厚く見ていただきありがとうございます。これからもよろしくお願い致します！（要望：障がい福祉課の名称を変更していただきたい）
- 家で出来ないこと、しないことも事業所で出来てきているので様子をみながら家でも取り入れていきたいと思っています。→トイレトレーニングについてです。

- 療育では、先生に恵まれ、成長を実感できている。相談員さんの立ち位置がよく分からない。特に、アドバイスがもらえるわけではなく、モニタリングだけなら事業所と利用者が直にやれば色々なところへ足を運ばなくてもいいような気がする。相談員さんとの面談が定期的にあっても、私にとってはあまり意味がない。それをやるなら、事業所の先生から直にアドバイスをいただきたい。
- いつもお世話になっています。子供が少しでも協調性を持って楽しく過ごせたら嬉しいです。子供の個性は消したくないので、良いところをたくさん伸ばしていけたらいいなと思います。いつもありがとうございます。
- 療育の職員の方や色々な人がもっと積極的に学校の訪問をして欲しいです。何かあってからの訪問だと遅いと感じています。忙しいのも分かるのですが、親からするとそう思ってしまいます。今の療育のスタッフの方は、とても頑張っているのはとても伝わりますが……。そう感じています。
- パートなのかよく分かりませんが、やる気がないのかなとか、こういう障害の子供のことや扱い方、対処方法とかわかってるのかなとちょっと疑問に感じる方がポツポツいらっしゃいます。全員が全員精通してる方ばかりというわけにはいかないのかもしれませんが、最低限やる気にあふれてる方に先生として関わって欲しいです。
- 事業所の待機が多い。先日、病院で発達検査を受けました。医師の先生は息子を深く見ずに療育は週2日は必要だと言われました。説明が少なかつたため、不安が募りました。
- うちはたまたまタイミングよく、希望するところでお世話になる事ができたけれど周りで気にはなるけれど(子ども)発達検査を受けるところから予約がとれない。療育に通うとしても空きがないという話をよくきく。
- 学校で「発達障害」についてどれだけ対応されているかわからない。支援学級に入るほどでもないが、何かしらの支援を必要とする子、支援があれば暮らし易くなる子がいると思う。「療育」を利用している立場で言うことではないが放課後「療育」施設に出向いて療育を受けるよりも、実際の学校生活の中で療育的な丁寧な指導を受けることが大切な子供も沢山いるのではないだろうか。担当の先生だけで対応するのは難しいだろうから学校全体、学級全体でとりくんでもらえたらよいのではないだろうか。
- 児童デイサービスはあるが小学生はあるが中学生をとりあつかう事業所がない。もっと通える所を増やしてほしい。事業所が成人か小3以下というくくりで中・高が通うところがない。重度児は基本的引きうけてくれない。
- 私自身、子供の事でいろんなところへ相談へ行きましたが、やはり一番うれしかったのは「お母さん、よく頑張ったね」と言っていた事で。そして、子供のおかげでいろんな今まで知らなかった事、周りに対する配慮など、学ぶ機会になり、これからの人生に少しでも役に立てば良いなあと思います。
- 療育の施設の見学へ行き、思ったことですが(私が見させてもらった所が限られた範囲の中なので他がよく分かりませんが・・・)どの建物も新しく作る、ではなく以前あったものを、そのまま使っているのが多かったです。先生方がパーテーションなども手づくりで工夫されていました。きっと療育に関わる市からなのか、国からなのか補助自体が少ないんだらうなーと感じ、世の中の関心が低いことになさしく思いました。
- 支援を受けられない子どもたちも多勢いいると思うので、できる限りの支援を受けいれるようにしてあげて欲しい。

- 療育に通い始めて目に見えてグングン成長という訳ではないですが、それでも療育なしにこの成長ぶりはなかったのではと思っています。入園前に通っていたことでよかったことはお弁当でした。私自身悩んで、心配しての日々だったので通っていて本当によかったと思います。特にれっつさんのほんわかした雰囲気も子どもにあっていたと思います。これからもまだお世話になるつもりです。最初にゆめばるさんで話を聞いてくれた方も優しくて親の大変さ等の気持ちに寄り添ってくれていたと思います。子どものほうに目がいきがちなので親のほうの気づかいに感謝です。
- 保健所から病院の紹介は倉敷成人病センターかこころクリニックの2つだけでした。どちらも数か月待ちの中、岡山市でも倉敷市に近い重井医学研究所附属病院などもあるのだから教えて欲しかったです。いきなり、子どもの精神科を受けるようにすすめられて、2つしか言われなかったら他にもあるのだろうか・・・と冷静には考えられませんでした。1歳半の健診で言葉が遅いので様子見でしたが、2歳の頃には言葉が出ていました。よく育てにくいと思ったら相談をというようなポスターはあったと思いますが、「発達障害のおそれがあるかも」とはっきり教えて欲しかったです。(育てやすい子なんているんですか?)小学校にあがると放課後等デイサービスなどの利用が始まると思いますが、実際に利用が出来るようになるか不安です。希望する人がみんな利用できる程の事業所がないように思えます。しっかりとした事業所が増えていって欲しいです。療育先が決まるまでは、とても不安でした。今は幸せなことに倉敷学園で一日療育を受け入れられ子どもも楽しく登園して成長しています。希望する人達がみな療育を受けられる環境になるよう願っています。市もがんばって下さい。よろしくお願い致します。
- 我が子は、幼稚園の指摘もあり、発達障害だと判明したが、普通学級の中でも多くの子どもたちにその疑いがある。ただのわがままや学習に対する嫌悪ととられがちだが、本人も家族もずいぶん悩んでいる。教師も学校も発達障害についてしっかり学習し教育方法や環境に配慮して欲しい。決して難しいことではなく簡単に導入できることも多いはずだ。教員全て通級指導を経験させて欲しい。教育が画一的すぎて、子どもたちの個性が死んでいる。もっと出来ることはとびきりのばして、出来ないことは目をつむる姿勢を見たい。教師自体にもっとのびのび仕事をして欲しい。
- 小学校4年以降、勉強が難しくなったり、友人関係も難しくなるので、親も不安だが療育で利用できる施設が少なく、事実上利用できない。親が相談したり、子どもも支援してもらえる場がほしい。
- すでに中学校を卒業する年齢となった今、我が子が3、4才位のころにもっと療育やデイサービスを受けられればよかった。今の子供達はめぐまれています。肢体不自由で発達障害の子供の行ける所は本当にありませんでした。体調が小学生最後に悪化し、医療的ケアが必要となるようになり、本当に利用できるサービスがなくなりました。体調を安定させるためにオペをして、医療的ケアが必要になくなったのですが、それまで小1～小6まで利用していた日中一時支援のスタッフに「あんな子は、ずっとお母さんが面倒を見るべき。人に預けるなんてひどい」と心無い言葉をかけられました。それまで本当に良い関係ができていたと思っていたので、あまりの無理解さにショックでした。学校もほとんど休まず元気に通っていますが、兄弟や年老いてきた祖母などの用事があってもサービスが使えず、母親の体力にも限界があり、去年は疲れから入院することになってしまいました。オペをしないでいたほうが、本人が大変だったかもしれないけど良かったと後悔しています。
- 発達障害と1つ言っても、出方や特性はみんなそれぞれで、1人1人の子に対応していて、とても大変だと思います。本当にありがたいことです。
- 小学校以降、療育を受けたいが受け入れ先が見つからない。少ない。早期療育として、もう少し小さい年令から受けたかったが待機人数が多くは入れなかったのが、今も残念で育児の中でもこうかいしている。

- 療育の場は子どもの為でもありますが、保護者の場でもあってほしいです。なぜなら親は思った以上に孤独を感じています。特に我が子をふくめボーダー圏にいる子どもは一見集団にも混じって園の先生も特に困っておらず注目をあびないのでスルーされがちですが、親から見れば”本人困ってるだろうな”というのが他の子より違和感を感じるとともに分かります。ですから親はもやもやと周りに相談出来ず一人悩んでいたりします。なので専門的な話しの出来る療育の場は保護者にもひらかれていて欲しいのです。
- 今年はお産、息子の入学、もろもろの更新手続きが重なり、ものすごくバタバタし、息子も変化を感じてか荒れているので、ものすごく大変です……。赤ちゃんのお世話、病院、息子のリハビリや診察、送迎1日2hなど普段もなかなかゆとりが持てない中、障害児の更新手続きや入学関係でやることは、他の人と比べてこんなに大変なのか……。とびっくりしています。冬なので家族も次々ダウンし……。ボロボロになりながら、大事な事だから……。と頑張っていますが、もう少し時期を分散できたりしたら、これからのお母さんが少し助かるように思います。
- 私の利用している真備の with ひろばとかなりや保育園の先生達は連携してくれているので、とても子供がすごしやすい環境になっています。保育園の先生達も、子供の個性を理解して個別対応や環境の配慮をしてくれています。担任の先生も、人数を増やすなど保育園全体として障害児により良い環境をつくってくれています。子どもの年齢が大きくなると担任の人数も減ってきます。障害のある子供が就学前まで少しでも良い環境ですごせれるように、医師の診断を受けている障害児を受け入れてくれている保育園に対して先生の人数が増やせるように、市町村が検討してもらえたらいいと思いました。先生方の負担も大きいと思います。1才半健診や3才健診など、多い人数での健診を障害児が受けるのはとても難しい事です。時間や待ち時間の配慮をしてくれると助かります。
- うちは出生時からトラブルがあって病院にフォローしてもらっているので情報ももらえだし、相談することもできましたが、出生時に何の問題がなかったお子さんはどこに相談したら良いか、どうやって病院にかかっているのときかれることが多かったです。情報を欲しい人はいるのに上手く伝わっていないなという感じがあります。
- うちの場合は学校、療育、一時あずかり、医療機関などが問16にあるような連携をして下さっているので、本当に助かります。学校の行事の見学に来て下さったり、何かあれば電話で連絡をとり合っただ下さるようお願いしています。しかし、他の方々の話を聞いていると、それぞれの機関を親が結びつけなくてはならず、あちこちの話とこちらに伝え、また、こちらの都合をあちらに伝え……。の繰り返しに疲れてしまう方もいらっしゃるようです。親は子供といる時間が長くはありますが、自分の子供のことしかわかりません。支援のプロの方同志、親抜きで遠慮なく子供のことについて話し合っただけいただくことが必要な時もあると思います。そういった機関同志をつなげてくれる所があればいいのにとおもいます。
- 学校の先生達は、発達障害などの勉強をしてきているのでしょうか？療育の先生は専門的な勉強をされているので話が伝わりやすいのですが学校の方はどこまで話が伝わって理解できているのか不安。教育学部では必修科目になっているのか、なっていないのか。お母さんの中で「療育」を知っている人はまだまだ少ないと感じます。「療育」を誤解している人も多くいます。健常児の親の方にももっと発達障害・療育について正しく認識してもらえたら、園生活や学校生活がさらに充実したものになるのではないかと考えます。
- 縁があって、満足のいく療育を受けることができありがたい。玉島地区の子どもの福祉サービスがほとんどないので、増えるといいなあと思います。高校時や卒業後など大きくなった時に利用できる場があるかどうか不安である。

- 今は、保育園、きらり、家庭でしっかり連携がとれていて、安心して子供を預けることができているのですが、小学校に上がると子ども自身にまかされることが多く、大丈夫かなあという不安でいっぱいです。両親共働きで、子供に十分手助けをしてあげられるか心配ですが、わが子が無理なく楽しく学校生活を送れるよう親として努力していきたいと思いますので、学校の先生と定期手に我が子についてお話しできるとうれしいなあと思います。
- 子ども一人一人に相談支援の方がついてくれることになったものの、支援員の方が知識がなく、受けられるサービスが受けられていないケースが見られます。そのあたりを平等にするべきだと思います。先進的な自治体の児童発達支援センターでは医療ケアがある子供でも就学前の1-2年は週4日は単独通園、週1回は親子通園というふうな体制ができている。そういうことができるようにしてほしい。岡山だと医療ケアのある子は就学まで親子通園するしか療育を受けられずにいます。せめて年長さんくらいまでは親と離れて学校へ行く準備も必要だと思います。
- 自分の子が障害であると受け入れられなかったことで、一人で思い悩み周りに同じような子もおらず育児ノイローゼ気味になっていたころ、保健師さんに療育を進められました。はじめは人に見てもらうのも嫌だったのですが、子供は楽しんでいる姿をみてホッとしたのを覚えています。今は娘が障害であることを受け入れて、周りも気にせず娘さえ楽しかったらと思うようになりました。療育という場もはじめは受け入れられずにいたのですが、遊びを通して学べるので療育のおかげで私も救われ娘も救われたと思います。療育のおかげです。今では良くお話もしてくれるし、色々なことが出来る様になり「どこが障害なんだろう」と思ってしまうくらいに成長しました。本当にありがたい療育だと思っています。
- 玉島地区で、学習や運動とうの支援が受けられる施設があれば良いと思う。
- 今、年中ですが小学校に入る時のことに不安があります。相談する機関など知りたいと思います。小学校によって対応が違うと聞くので・・・。
- 倉敷市は障害福祉がとても充実していて感謝しています。早い気づきがあったため、早くから療育を行う事ができよかったです。ただ、中学生からは医療費がかかるので、発達障害で飲んでいる薬のコストが高いので、つづけていくことができるか不安です。
- 検診で相談、医療機関にかかり療育を待機する事なく行けたのでありがたかったです。両親が発達障害を学習する所があれば、家庭での接し方、声のかけの仕方、カードの利用などわかっていいと思います。療育うけている所で30~1h お話するとかあればいいのになと思います。公演となると託児所がないと行けないし、どのようなピンポイントの公演があるわけでもなく、もしくは本の紹介など。親のサポートする機関の紹介などパンフレットがあればいいと思います。なぜ両親かというと、母親と接する時間が多く父親が子供をみる時、接し方が違ったり、声かけなど発達障害を勉強してくれないので、分かってもらえない所があるので、一緒にがいいと思います。よろしく願いします。ありがとうございました。
- ゆめぱるの方にも各事業所の特色などを含め紹介してもらいたい。小学校まで、まだ数年ありますが小学校に入ってからの情報を提供して頂きたい。窓口での対応に不十分な感じがありました。
- 日々、子供の成長が感じられる反面、不安に思うこともあったりで、保護者としては安心して相談できる機関があればと思う。どこに相談したらいいかわからなくて、親自身情緒不安定になる事もあって、子供に対して当たってしまいそうで怖い。家庭の事情があって話せないこともあるが、絶対秘密厳守であってほしい。

- レインボーで子供たちがどんなことをしているか知りたいので、参観日があると嬉しいです。先生の名前（顔はわかります）が分からないので名札があると助かります。
- 育てにくい我が子への関わりを先生方や他のお子さんの親にこの子はこの子のままでいいと教えてもらい、落ち込む日もありますが次はこのやり方でやってみようかと元気をもらう時が多々あります。同じ障害を持った子の親同士ではげましあい、子供も親も苦戦しながら成長してこれたように思います。将来への不安もありますが、一人で慣れず話をきいてくれる先生方に感謝です。療育や福祉サービスがなければ親の私が病気になっています。
- 幼稚園の担任以外の先生や他の子の親の異端を見るような態度は気になります。理解するのが難しいのは良く理解していますが、あからさまな差別を感じることもしばしばです。同和問題等は TV の CM 等でみかけますが発達障がいとなるとほぼ皆無ではないでしょうか？すべての人が平等なんて夢物語だとはわかっていますが、少なくとも働きかける事くらいはできるのではないのでしょうか？こういったアンケートが自部署の事だけでなく色々なところで活かせてもらえると幸甚です。支援者の存在でずいぶん気持ち楽になりました。（母）
- 障害を知った時はショックでしたが、早期発見によって早期療育が出来たことは親子共にプラスで子育てしていくにあたって色々勉強できて、とても良かったと思います。日々育てにくさは感じるものの、周囲から助けて頂いて、今はそれなりに楽しく生活しています。
- 佐賀県の取り組みを取り入れて早期発見早期療育。保健師のトレーニング 早く始めてほしいと思います。子育て一番の市町村をいうなら必要不可欠ではないでしょうか。特支援学級の担当はスペシャリストでなければならないと思います。早く育成を望んでいます。もっと親や子供の希望をもてる社会になりますように。
- やっと制度ができ相談支援専門員の方が間に入ってくださって、療育の事業所と保育園の情報を共有出来るようになってきているのですが、医療機関と保健師さんは共有していません。医療機関との情報も共有して欲しいです。また、小学校以降、「どういうふうにご子孫を導いていけばよいか」誰に相談したらよいか分からない時があります。（今は相談支援専門員の方に相談しています。）
- 療育を使用しようと思うと支援計画書の作成が必要になり小さい子供には不必要だと思います。高学年、成人したひとが多施設を使う時に重複しないように導入されたようですが、低学年で1施設しか使用してないので、ただ手間がかかっただけです。
- 療育に通うようになり、子供が驚くほど成長してくれています。こういう場があることをとてもありがたく感じます。ありがとうございます。
- 新しい環境になれることが難しく子供のやりたい気持ち、保護者のサポートしてやりたい気持ちが上手くつたらない。相談してもスタッフの方は勢いだけで、本来の子供の姿性格を把握出来ていないような気がする。
- 療育の先生方には親身になって相談に乗ってくださり、とても心の支えになっています。通園できて本当に良かったと思っています。これからも療育が充実し、困っている方々の助けになることを願っています。
- 就活後、療育の機会が大幅に減ることを不安に思っています。療育をはじめて1年まだはっきりとした変化は感じられません。就学後の療育機関の充実、利用回数の検討をして頂きたい。
- とても熱心に子供に接していただき感謝しています。

- 障がいの事が悩みなのか、子育てのなやみなのか時々わからないことがある。他のお母さんと話をしてみんな同じかぁと思ったり、やっぱり少し違うのかなぁと思ったり。うまくコミュニケーションがとれず親も子もイライラすることがたびたび。しかる？（おこる？）ことも増えます。一度ぐずりだすと長いので付き合いきれず、子供には「話を聞いて」とまたぐずられる。私はこれを誰に話しているのか、相談していいのかわからず、皆同じ、みんな悩んでいると思うしかありません。
- とにかく支援員の先生が少ないです。支援のクラスの子は一人一人ちがって大変なのに専門の先生が少なすぎだと思います。学校では十分に勉強を受けられないので療育があって、ありがたく思っています。もう少し時間が多く受け入れられるとよいなと思っています。進路についてとても難しいなと思っています。今、通っている事業所のようなところが沢山あると支援を受けたいと思っている保護者の方も助かるのではないのでしょうか、すぐにいっぱいになってしまう様なので。
- 子どもの障害の有無がはっきりしない頃、身体面の発達の遅れを理由に以前通っていた保育園から「次年度の受け入れは無理です」と告げられ、つらい思いをしました。入園すると卒園まで通えるものだとばかり思っていたので、今後どのような生活をおくればよいのか思い悩みましたが、毎日通園で療育を利用できる支援センターという制度があることを知り、少しほっとしました。倉敷市は福祉が充実しているとよくききますが、なかなか制度を知る機会が少ないように思えます。医療機関または障害者手帳の交付の際などにもう少し詳しく説明してもらえればと思います。また支援センターに通う前までは、ほぼ同じ境遇の保護者の方と話す機会もなく、情報を入手がなかったように思います。地域ごとにでも同じような境遇の親が集まる機会など保健師さんが企画してくだされればと思います。
- 医療機関から専門的な意見や方法を幼稚園に伝えても、1人の先生では実施することは不可能な事が多いと思います。細やかな対応をしてもらえるように、1クラスの人数を減らしたり、補助の先生の増員をしてもらえたら…と思います。
- 就学について相談できる場所があり、とても助かります。学校の先生だけでなく相談できるので安心です。
- 療育に通っているおかげなのか、成長による脳の発達なのか分かりませんが、ずいぶんと落ちついて日々を過ごせる様になってきました。今、悩んでいる事は療育にいつまで通えばよいかという事です、本人は「なぜ自分だけ行かないと」いけないの？」とは言いませんが周りの目も気になってくるでしょうし、何より気に掛かるのは「自分はバカだから行かなきゃいけないんだ」と人に言っているのを耳にした事があり、心配しています。あと、療育手帳の更新時期がちょうどインフルエンザの流行する頃でただ意見書をもらうだけなのに小児科の待合で長い時間待たされるのが大変です。手続きもややこしくなり親の負担が増えて困ります。
- 療育を利用しはじめてから考え方が変わりました。きりり倉敷を利用することができて本当に良かったと思います。息子の為に通い始めましたが、私自身も相談にのって頂いたり大変助かっています。今、笑顔で家族みんなが生活できているのはきりり倉敷の先生方のおかげです。
- 難聴児に関して、児童数が少ないのでしかたがないとは思いますが、かなりや、ろう学校、通級も老松のみ…と頼れる所が少ないと感じる。近くに（せめて倉敷市内に）難聴児への療育を行ってくれる所があれば…と何度も思った。どうしても情報量が少なく、今後のことを考えると不安になる。
- いつもありがとうございます。たくさんの方に息子とかかわっていただけてありがたいです。
- 今通っている児童発達支援が3年生までなので、4年生からも通える所を増やして欲しいです。他の所に連絡しましたが、空いている所がなくて今後どうして良いのか困っています。

- 放課後デイサービスも含め、空きを増やしてほしい。空気がない人もたくさんおられると思うので。利用したくても。親が理解して我が子を療育へ通わせれる様に勉強会か療育や自閉症を知る機会があればいいのに。子供を怒ってばかりの親もいるので。うちの子はただのやんちゃと思っているみたいです。親が理解して小さい内から療育へ通わせ、若い子の犯罪が減ればいいなと思います。明らかに発達の遅れのある子を私が親に伝えて笑われて相手にされず、4ヵ月後その男の子は高3で自殺しました。
- いつも療育の先生や支援員さんに相談している。支援員さんも療育先に来てくれてモニタリングをしてきている。保健師さんからゆめばるで支援員さんをしょうかいしてもらったのだが、子供の状況など保健師さんは何も知らない様子。たまに電話で状況を聞いてくれてはいるが分からない事（障がいのある子が入れるような受け入れが可能そうな保育園など）を聞いてみたのですが答えられない質問だったのでしょうか）を聞いても「ちょっと分からない」と言うだけで電話を切る時に「また何でも聞いて下さい」と言う。何を聞けば答えてくれるのだろうか。
- ゆめばるさん、幼稚園、事業所のおかげで集団行動や勝ち負けが苦手な子供が少しずつ改善されつつあり、悩んでいた親自身も楽になりました。ただ、園のお母さんの中には療育に関して理解がうすく、差別的な感かくさえ覚えます。少しでも療育（発達障害 etc）について理解してもらい、通いやすい生活になれたらいいなと思います。また、今後の療育を受けれる様、事業所が増え、待機まちが減ってほしいです。待っている1日1日が辛かったので。
- 朝送っていったんですが仕事にいらるので受け入れをやめるか送迎してほしいと思ってます。仕事に行くのに遅れていくので困ります。
- ゆめばるさんで相談させて頂きましたが、対応して下さいの方が親切な方で今まで悩んでいた事がなんだったんだろう？早く相談に行けばよかったと思いました。本当にありがとうございます。
- 学校のひらがなのヨミ、カキが苦手らしい。漢字は時々、筆順を間違う。でもマネして、上手に書く。こうひつのオケイコに通い、友人は少なくとも1人くらい。小学校の同級生はライバルだそうだが仲間も良く、TVはバラエティとNHKとアニメ好き。算数は親子で、指と手で4つ。よく数えている。どうやら、幼稚園の頃からかわらず、工作とお絵かきとハサミとねんどが気になるらしい。実は音楽が大好きで、ダンスと、ピアノが特別、興味をひく。きっかけは妖怪ウォッチ。
- 0歳のうちから今後知的障害、運動のおくれが見込まれることがわかっているのに、利用できる施設がほぼない。0歳～3歳まで脳や身体の発達が最も進むのに、療育が行えるのは3歳～と聞くと、とても遅いように思う。自宅で、自分で調べて、自力で行わないといけないのはつらいです。
- 放課後等デイサービスを月に5回しか受けることがきかないため、もう少し時間が長くなれば良いと思う。0年生までというように制限がある事業所もあり、その学年に達した場合、次の事業所をみつけるなりするのはまた大変。学習面のみ見る所など制限がながくなるようだが、療育をしてくれる所でもっと長く利用できる事業所はもっと必要だと思う。
- めやすばこの先生方は子供だけではなく親の子ともしっかりとフォローしていただきとても感謝しております。
- 療育に通うようになって特性が分かり子供のことを理解できるようになりました。困ったことがあった際には対処方法を提案してもらい助かっています。
- 最後の枠に入れて療育に行くことができ良かったが、まだ療育に行かせたくても入れない家庭もあると思うのでふやせたら良いと思います。

- 毎週、療育にかよっているが、その日にした療育の内容をお聞きしておわるので、お話しする時間が限られています。日頃の家庭での様子や学校での様子を少しお話しする時間がべつにあってもいいように思います。
- 幼児対象の療育帰還は数こそ増えましたが、内容や質が事業所間で差が大きすぎる。保護者は通わせることで安心してしまい、家庭で汎化していくことを努力しない人が多い。なんちゃって療育ではなく、本当に認定された資格者による療育受けられるよう、スタッフの質の向上を願います。学齢期を扱える療育帰還が増えてほしいです。思春期にくずれるケースが多いので、(佐賀県は療育とセラピーはセットで考えられています)セラピーが受けられる専門機関も必要です。学校の先生が担任している生徒について相談できる機会や場所も必要だと思います。(わがままな要望ばかり書き連ねていません)
- やはり、児童という事も色々制限が出てきます。利用できる施設が少ないので、ひまわりを利用していますか送迎はしてもらえず親がずっとやっています。移動支援(児童)を受けてくれる事業者は児島の中にはなく、以前お世話になった法人に依頼し、こちらで知り合いのヘルパーにそこに就職してもらい利用できるようになりました。専門の病院がなく幼少の頃からずっと岡山まで通っています。で、なんとか運よくうまくまわり児島で頑張れそうそうです。今まで出会った方は皆さま言い方ばかりで感謝しています
- 親子通園を卒業して、単独に移る時、センターにしようか幼稚園にしようかととても悩んでセンターに決め、希望をだしたが、断られ、すごくショックを受けました何故断られたのか、説明がなく、あっさりとして、対応だったので、もうちょっと配慮ある対応をしてほしかった。
- 成長したことも沢山ありました。療育のスタッフの方々には本当に感謝しています。3年通って一度も嫌がることもなく毎週楽しみに通い、色々な遊びをしたり、幼稚園では会えないお友達に会えたりして本人はとても満足していました。ただ、一方でやはりなかなか本人に身につかないこともあって家で工夫をしながら本人に伝えはしていましたがやはり難しいことも多々ありました。これから小学校に入学するにあたり改善していきたいと思っています。残りわずかですが療育のスタッフの方にもお願いしたいと思っています。
- 癇癪が増えた。かんしゃくの度に弟に物をなげつけたり、叩いたりとなんどもする。「〇〇くんと遊ぶ」と誘っておいて遊ばずに別の事違う遊びをする。おしゃべりがとまらない。公共機関や公共施設では多動がとまらない。朝から晩まで youtube を見ている。親が起こるとかんしゃくになり、ほっておくとひたすら youtube をみて何もしない。その様子をみて祖母は親が悪いという。が毎日毎日のことで何も改善されないのでイライラしてしまう。
- 自分は医師の診察や発達検査など思ったよりスムーズに受けることができたのでよかったが、発達についての専門的病院、施設が増えればよいと思う。受給者証の交付に市役所を訪れる時に子供と一緒にいくことは仕事の都合などで難しい時もあるのでやめてほしい。仕事を持っているので療育の送迎をしその後、保育園に連れていくので大変な時がある。保育園にも小学校と同じように支援学級みたいなクラスがあって、そこで療育的なことを受けて、運動会や発表会など行事にも参加するようになれば仕事を持ってる保護者にとっても安心できると感じる。
- 子どもがどう思う事よりも親がしっかりとしないと、自分の器が小さいと感じる事の方がたくさんあり、どうしたらいいのか、どんどんわからなくなってしまいます。療育など幼稚園で良く見ってもらってるし話もたくさん聞いてもらっているなかで上手く子供と過ごせない(おこってばかり)自分ではらだたしいです。

- 小学校に入り、支援学級の先生が真摯に向き合ってくださいるために大変助かっています。こどもの日々の様子が分かる方がいて、子供の話を一緒にできる環境があるということに感謝しています。今は療育が必要なく（学校が対応してくださるため）、医師との面談が必要ないのがありがたいのですが、理解のある医師が居てくれることを切に願います。また、発達検査のみを受けたい場合にどうしたら良いのかわからないので、役所の方の丁寧な対応を願います。医師と役所の方との対話にはほとんど疲れ果てています。
- 夏休みや冬休みなどは受ける回数を増やしてほしい。
- 医療機関から言われたことを療育へお伝えするときに、言いにくいこともあるので、連携をとってもらいたいと思います。保護者の口からつたえるのではなくお互いに書面をさくせいするなど。書面で伝えられることもありましたが、書面を鷺池に行く日が別日だったり、子供をつれて行動しなければならないので大変です。医療機関と療育側との温度差のようなものも感じます。今通っている療育では保護者同士が話す機会がとても少ないので、おなじような悩みを持っている親同士が集まる場がもっと増えたらいいのになと思います。
- 発達障害という言葉は、自分の子供がなるまで全然知りませんでした。発達障害を持つ親だからこそ今思うのは、他の方にも、もっと知ってもらいたいという思いがあります。見た目が、普通だからわかりにくいのもあると思います。でも自分の子供が発達障害じゃなくても、発達障害はこんなかんじなんだという少しの理解が欲しいなと思います。今の事業所に行けたこと、知れたことはすごくうれしく思います。本当に感謝しかありません。
- 言語・情緒面が遅れており、Dr からは実年齢よりも発達に合った働きかけを、と言われており保育園側にも何度も伝えました。しかし理解してもらえず「少し上の刺激を入れた方がいい」と独自の理論を言われ、度々悩んできました。そんな中ではじまった療育で、療育と保育園がしっかり連携を取って下さっているのかそれ以降園から「上の刺激を…」と言われることはなくなり安心していています。子供も園でのストレスを抱えることが減ったのではないかと思います。
- 保育園の入所申し込みをする時点では、診断がついておらず、申し込み用紙に特記していませんでした。その後、支援が必要と感じ、2才3カ月の時に診断を受け療育へ通ったりしていました。保育園入所の際には中途入所ということもあり希望する日の一カ月前、2週間前になっても市役所から連絡がなく、息子が療育へかよっていることもなかなか伝えにくい状況でした。個別相談、医療機関等でグレーゾーンと言われた保護者は保育園申請の際にそれを伝えるべきか否か迷います。私も何もわからず、現場の先生方も（発達障害について）知識、ノウハウがあるはずと思い私立保育園へ入所しましたが、登園時間の制限、土曜保育の利用不可等、就労が思うようにできず大変でした。保育士の不足も背景にはあると思いますが、保護者、保育士への情報提供、市での情報共有等の充実を求めます。早期療育はとても必要なことと思いますが、グレーゾーン、疑いの診断や通告を受けた親は不安でなかなか外へ相談し辛いです。そちらの精神的フォローのためにもサービス、情報をふやしてほしいです。
- 療育機関のような環境で学習できる学校があるとよいのになと思います。
- 学校の終わることができていない宿題のフォローをしてくれることがものすごく助かっています。いつ授業についてけなくなってしまうかいつも心配しているので…。
- 療育に通って何が変わったかは正直わかりませんが、子供が小学生になった時に困らないように…と通わせています。子供のために…と思っていますが、当の本人は行きたくないと毎日のように言っており、親としてどうしてあげる事が子供のためになるのか…と悩みます。

- 我が子は境界ゾーンで普通かと言われれば違うし、障害者なのかと言われればそれも違う。普通の所へ行けばこんな事もあればこれから先我が子は、私達親子はどこで生きていけばいいのかと日々思っている。障害者だからと断られ、障害者の所へ行けば健常だと断られたらい回しにされる事が多い。仕方がないが、保育園でも浮いた存在であり白い目で見られたり、人が離れたりキツイ事を言われる事が多い中療育へ初めて通う事になり、事業所を探す為事業所一覧の紙を保健師さんにもらい「ゆめばらに TEL したら色々教えてくれるからね」と言われ TEL すると「自分の好きな所を探してかけてきて（ガチャ）」の様な対応をされ、診断されたばかりで目の前真っ暗、療育の「り」の字もわからない、精神状態も非常に悪かった私は子供と一緒に死のうかと思った出来事だった。その後なんとか TEL したためやすばこきっずの方の対応は神様かと思った。今では笑って「あの時は辛かったー」と話せるが、当時は夫の理解もなく一人でいっぱいいっぱいいてっそ子供と…とばかり考えていた。
- 子どもの特性をよく理解してくれている大人が増えて行くことは、安心につながると思いました。育てにくい子ほど理解者が増えるのが大切だと思います。
- 通所デイがもう少し料金がかからなければよい。回数をふやしたり。
- 療育を始めるにあたって最初は「うちの子のような気むつかしい子なんてたとえ療育施設だとしても受け入れてもらえないのではないか」「先生もイライラしてしまうのでなんだか申し訳ない」とネガティブな事ばかり考えていました。いざ、入園させてみるとさすが先生方！と目からウロコの毎日で、本当にありがたいばかりです。一人でグズグズとふさぎ込んでしまうことも多かったのですが、同じ状況の友達もできて相談したり、明るくなれたと思います。
- 支援学級の先生は理解のある先生が多いのですが、普通学級にも沢山の困り感を持つ子どもが多く先生の言動に左右され苦しい思いをしている友人も沢山みます。校長もとより普通級の先生ももとは優しく率直な発達障害の子供の不適切な行動への対応の方法や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、偏見を無くすべきであり、生徒の心に耳をかたむけ何でこの行動となっているか、考える力を身につけてもらいたい。
- 最初に療育を利用するときの手続きがわかりにくかった。
- 子どもは週一（水）に支援学級で給食を食べています。親子共に、その回数を増やしてほしいと希望しています。そのことをレインボー先生に相談したら、学校に話してみたらと言われましたが、学校側は週一でお願いします、とのことで何度チャレンジしても週一です。今年度から交流学級に行く頻度が増えていますので、給食の回数も増やしてもらいたいなと・・・子供も支援学級の友達がほしいとしきりにいいますので、どうか感じております。小学校にも（NPO 法人未来図）のような方に来てもらい療育をして頂きたいなと希望しております。
- 仕事をしながら合間に事業所への送迎になるので利用時間がもう少し長かったらと思います。集中して出来る時間として 2 時間を設定してくれていますが、2 時～4 時までの利用で 4 時のお迎えに遅れてはいけないうのがきついです。支援の設定時間以外にお迎え以外にお迎えまでの 15 分～20 分ほどの融通の時間あればと思います。
- 倉敷市でも放課後デイサービスをもっと利用できるようにしてほしい。月 5 回限度でなくもう少し増やしてもらえたらと思う。
- 小学校進学時後に、相談できる所の情報がほしい。
- 療育も 1 ヶ所のみを増やして欲しい。障害者のプール療育で水泳指導、プール教室も、して欲しいです。

- 勉強会、講演会等がほとんど日曜だったりして参加しづらい。兄弟がいるが、託児がなかったり、あっても幼児のみだったりしてあまり意味がない。シングルで3人育てていると手が回らない所が多い。対象児を中心とした生活ばかりはできず、その子への対応を幼ない兄弟にも求めなくてはいけない現状。兄弟ゲンカなど負の連鎖も起きやすい。そのような子どもなので簡単にどこへでもあずけられるわけではない。なのでいつも4人一緒にいる時間的にも対応的にも、もう少し兄弟の割合を増やしてあげたいがなかなかできず。療育の先生は、本当に親身になって色々な事を考えて下さり本当に感謝です。特徴はあるが診断がない兄弟への対応や、兄弟が対象児との関わり方など、療育利用児だけでなく、付帯する周りの環境や、母がどう対応すれば良いか、常にアドバイスくれます。全ての療育でこのようなスタンスで保護者と向きあってもらえると、親の負担も減るし、兄弟児ももっとのびのび過ごせると思います。
- 療育の事業所がもう少し増えれば良いと思う。
- 倉敷は療育が進んでいる、充実しているというお話しをよく耳にしますが、障がい児の親から言わせると「全く充実していません」とお話しします。県外の方と話す機会が多いのですが、2ヶ所の療育に補助がでないなんて、ビックリされます。自閉症の子は感覚過敏で苦しみ、生活の場になじめない、できない事が多いなど、自分の特性に苦しみます。1つのアプローチから和らぐなんてありえません。その為には何力所もいろんな特色のある療育に通い、自分の得意なことを見つけたり、病的に苦手な事からの逃げ方を教わるのがとても大切です。早急に補助の拡大をお願いいたします。やればできる子供達ですし、伸ばしようによっては立派な納税者になる子供達です。投資して下さい。
- デイサービスをしてくれる事業所が、あまりありません。日中一時支援はたくさんできたのですが～施設によってかなり違いがあるように思います。もう少し質の改善ができませんでしょうか～？移動支援をしてくれる事業所も少ないので、増やしてください。できれば、デイサービスや日中で、日頃利用している事業所が移動支援もしてくれたら、安心して預けられると思います。本人の特徴を知ってもらうまでに時間がかかるし、ある程度の信頼関係が必要だと思います。そのためにも、よく知ってくれている施設の方だと、本人も安心だと思います。親が休みの日に相手をするのは限界があります。よろしくお願いします。
- 療育を受ける事業所の少なさを何とかしてほしいです。今通っている事業所に不満はなかったのですが、来年どの利用日が週2回通わず予定で1日は午前中（水曜日）になり、もう1日は午後になりました。なるべく幼稚園を休んで通わせたくはなかったのですが、就学前でしたが残念です。なので本当に受け入れの事情だと思いますが・・・。療育を受けることもたちが増えているならば、受け入れ先も増やして欲しいです。
- 療育を利用する際、小学生、幼児の1日の受け入れ人数制限が決まっているらしく、思うように曜日の移動ができない。人数制限がどうしてあるのかわからない。幼児は午前中しかなく、幼稚園も休んで参加しないといけないのが残念。毎週幼稚園を休むと目立ってしまい、子どもが障がい児であることがバレるのでは??とヒヤヒヤする。（パッと見た目ではわからないので子供に障害があることを先生以外に誰にも知らせていないので）午後わくがあればいいのにと思っている。また集団生活の活動の場を週1日失うことになる。集団生活から学ぶこと、友達関係などしげきもあるので休むのがもったいない気もする。
- 親の焦りもあるが、子どもの発達を気にかける日々の中、もっといい刺激や指導を受けさせたいと思うけれど、事業所療育とリハビリ各々1ヶ所以上の併用ができないところにもどかしさを感じる。
- 療育に通うようになって、娘が成長し、療育の先生方には非常に感謝しています。

- 年齢が小さければ小さいほど療育のスタッフと家庭、又は学校（保育園、幼稚園）との連携、それに専門機関との連携は大切なのではと思います。学校等の先生は、ほんとに何人かのこどもたちを1人で見るわけですので、大変かと思いますが、その子その子で特性が違うので、一人一人のことをきちんと把握してもらいたいと思います。そのためには、療育スタッフの方にも積極的に学校との連携もってもらいたいと思います。 受給者証の手続きについて、以前の様にはならないのでしょうか。何となく2ヶ所の事業所とかかわるようになる感じがすると、それだけまた時間をつくらないといけない為、めんどろな気がします。以前のようにゆめばるさんが市の障がい福祉課の窓口で・・・という方が。
- 児童発達支援センターに月20日ほど通っており、療育をうけられてとても助かっています。ただ親子ではなく、子どものみの通園、しかも遠くてバス通園なのでふだんの子供の様子をみたり、先生に会って話をしたりできないのが残念です。 親向けの研修、勉強会や親同士の交流の機会がほしいです。
- 一般の幼稚園とちがい療育では参観日という行事がない為、集団生活での様子がわからない。（毎日の連絡帳で先生が記入して下さることで知るだけです。）
- くすのき園の先生方には、とてもよくしていただいて、本当に感謝しています。子供もとても楽しみに通わせていただいています。家ではできない貴重な経験（学習）ができます。夏休み、春休みに利用させていただいていますが、利用回数が増えたらとてもうれしいです。現状ではちょっと少なくて残念です。
- シングルマザーで仕事をしながら、かなり通園先の先生方に助けていただきながら身体障害のある息子を育てています。子供が病気になった時に障害があっても預かってくれる施設を増やして欲しいです。
- 現在利用しているところが小3までなので、学年が上がっても利用できる療育機関をもっと増やしてほしい。
- いつも親身になって、相談に乗って下さり、感謝しています。手作りの課題もすごいなといつも感心しています。これからもずっとお世話になりたいと思うとてもよい所です。
- 支援に携わる人にもっと向上心を持って勉強してほしい。中学生など、年齢が上の子の支援事業をもっと増やしてほしい。
- 2歳7カ月で中度自閉症、多動症と診断され、当時は大変落ち込みました。しかし、最初に行った療育の先生が「Mくんは必ず伸びると思いますよ」と言ってくださったので、その言葉を信じて3年間、親子で頑張ってきました。その結果、4月からは通常クラスで小学校に入学します。療育に通って本当によかったと思っています。療育を紹介してくださった保健師の方に本当に感謝したいと思います。お世話になりました。
- 今通っている事業所では親のケアを何よりも大事に考えてくれているなと思います。子供と分離の時間をもうけてくれていて、その時間子供は先生とコミュニケーションを取ったり、お友達同士で遊ぶ時間であるけれど、私たち親は勉強（子との関わり方など）会をしたり、悩みを共有したり、少しでもホッとされるような時間となっています。おかげで同じ悩みをもつお母さんたちと仲良くなれ卒園してからも交流を続けていける関係を作ることができました。私も精神的に助けられ、また頑張ろうと思えるようになったのはこの事業所のおかげです。他の事業所では親同士の交流がない所もあると聞くので、今後、そういう場所では交流会など作ってってもらえるといいなあと思います。

- 発達に関して不安を感じ始めた頃、ゆめばるさんで相談でき、たくさん励まされ感謝しています。利用中の事業所の先生方にも大変お世話になり、子どもたちも1年前に比べ成長してくれてうれしいです！あと今回のアンケート内容に沿った話ではありませんが、どこへ伝えてよいかわからないので、こちらで失礼します。現在幼稚園に通っています。支援の先生も配置して下さり大変助か亭ます。園の先生も「何でもいってください」と声をかけて頂いて感謝しています。ですが、言い辛いことも多々あります。実際子供自身が集団の中で困っている姿があっても細かく支援方法を考えてくださるまで行き届いていませんし、何より「発達障がい」の十分な知識が普及していないと感じます。ですが、わがままな思いもあり、保護者としてわが子を個別に支援することはとても裕樹がいることです。幼稚園のように福祉で守られていない場では子供が傷つくのでは？との心配もあります。園教諭の方々に正しい知識と理解をして頂くことを望み、多くの保護者の方々にも「知って、認めて、理解する」機会があれば、子ども自身も過ごしやすかったり、私たち、障がい児の親も子供の成長を楽しく見守ることができるかと思えます。障がい児を大切に明るく育てられる社会になってほしいです。
- 発達障害者が日を追うごとに増えていき、通級も枠がいっぱいで入りにくいと聞いたことがあります。療育に行かせたくても今の事業所では3年生までを途中で放り出されるような感じで不安に思います。枠を気にせず療育が受けられるよう改善してもらいたいです。
- どの程度のことができれば、特別学級ではなく普通クラスで生活ができるのか指標を示した冊子が欲しい。小学校に入って、今通っている療育に通えなくなることや特別学級だけになることが子供が不安になるのではないかと心配。特別学級に通うことで、将来いじめや偏見の目で見られることが怖い。正解がないことはわかっていますが、気休めでも効果のあったことや実践してみたらいいこと等を教えて欲しい。
- 中学、高校の多感な時期に親以外の第三者からの意見を聞けることは大切だと思っています。少しのきっかけに本人が気づくこともあります。そのことで行動を少し変化できることで過ごしやすさにつながることもあります。しかし、部活動などをしているとなかなか時間がつきにくいのが現状です。今は予定を聞いて下さり日程を考えてくれていて助かっていますが、高校生までであり、今後も大学・社会人となっても本人が相談できる場としてずっと繋がっていけるようなシステムとなればいいなあと感じています。
- センターの先生方の考え方を統一してほしい。経験が浅い先生が多いからか、子どもの事について聞いたら「期待を持たせたり、時間に焦らせたりする方法」を教えてもらったり、一方では違う先生に聞けば「この歳では、先の楽しみは持てても、時間に焦ったり、何かに恥ずかしいとかいう気持ちはない」と言われたので、どう対応して良いかわからなくなりました。
- 一部、若い先生の子供と接する時期の言葉使いが悪いのが気になりました。子供は、どうかわかりませんが大人は、聞いていて嫌な気分になりました。
- 月一回の交流会や保護者会の設立もいいかもしれませんが、もう少し療育の充実を考えていった方がいいのじゃないかと思えます。保育園じゃなく療育センターなんですし。
- 事業所←→保育園での連携を密にとってほしい。事業所では少人数、保育園では30人程度のクラスで人数自体も全く違うが、療育なので経験が保育園保育園で役に立っていると感じることもある。療育へ行くことで子供の成長を感じながらも、保育園で「大人数なので・・・」と困る面を色々と聞かされ、間に挟まれる親としてはどうしていいのかわからないことがある。保育園から療育を勧められ、病院でリハビリもし、家庭で取り入れられることは取り入れている。お互いが連携をとり、どうすればよりよくなるかを考えて頂ければありがたいですが・・・。

- 先日ゆめばるに書類を提出しに行きました。少し時間があつたので隣の休憩所に座っていたら「〇〇さん（私）の書類です」と聞こえてビックリしました。その後もゆめばるへ電話で相談の話し声なども聞こえてきたので驚きました。電話でもお名前などを復唱されていたので、この場所にだれでも利用できる休憩所があるのはどうなのかな？と思いました。もう少し配慮が必要ではないかと感じました。
- 倉敷市は他の市や県と比べても障がい児への支援がよくあり、すばらしいと聞き、その市に住んで利用できていることに感謝しております。ですが、支援が必要な方全員が希望の施設に行けないことには疑問もっています。得に支援センターに入れずに泣いているお母様方もたくさんいらっしゃいます。すぐには無理だと思いますが、将来的に皆が希望のところに入園できたらいいなと思います。
- TV では虐待だの成年後見人制度の悪用など、夢や希望もなくなる話ばかりが聞こえてきます。何を頼ればいいのか、どうすればいいのかわからなくなってきました。私たち障害者とその家族はどんどん住みにくい世の中になるのでは…不安になってきます。
- 療育に通うことになり送り迎えのために仕事を休んだり就業時間の変更などをする事になり働きにくくなった。子供に障害や特性があると分かり適切な支援を受けたいと思っても経済的な事情（仕事を辞めないといけない）で受けられなくなったり親の働き方の変更を迫られる。親が近くに居ても理解を得られず助けてもらえない。結局、障害を持つ子を産んだ私が悪いのかと思う。何も悪いことをしていなくても障害を持つ子を産んだ私と何も良いこともしていないのに定期発達の子を産めた誰かがとても社会で平等に生きていると思えない。この先が見えない、将来に希望が持てない。
- 療育を受けている子は習い事をしにくいので支援センターの1室を借りて何かしてほしい。体を動かしたり、楽器を触ったりと。
- 子どもが大きくなるにつれ、学習支援の場が少ないと感じた。学校の勉強の補足に苦労している。親では教えられない。
- 療育機関が少ないと思う。もう少しだが、周りの人たちに理解してほしい。まだまだ、理解されていないので、「ここの障害もある」って事をアピールではないが、して欲しいと思う。別件ですが、療育手帳の更新手続きがややこしい。相談機関で面談をするなら、市役所での面談は必要ないと思います。
- ただ、通っているだけでどうしたらいいとか、どこを伸ばしたらいいとかの教えはないので、変化がよくわからない。このまま続けるべきか悩む。いつまで行かせたらいいのかわからない。
- 年齢、外見、成長がともなっていないので、外とのかかわりが不安です。
- 療育の先生には、日頃大変お世話になっております。小さな小さな進歩を見逃さず、お迎えに行った時に知らせてくださるので、とてもありがたいです。「〇〇しか、できない」という見方ではなく、「〇〇まで、できるようになった！！」「〇〇なら、できる！」という見方に大人自身が変わっていくことが、子どもをますます成長させるポイントだと感じています。学校の先生が困ったことがあると、なんでも療育の先生に相談しています。そして、それを学校の先生にお伝えすると、すぐに実行しようとしてくださる学校の担当の先生にも感謝です。療育の先生も。とても早くに返答して下さるので、いつまでも悩まなくて済むし、すぐに、わが子にふさわしい対応の仕方をして下さるので、どこの施設へ行っても、良い刺激を与えてもらえて、わが子は幸せです。
- 療育と年長からの通級指導を併用してもよいような制度にしてほしい。あと、小学生（情緒）に対する療育受け入れ可能が少なすぎる。月1でなく週1とか受け入れてほしい。

- 私は、早い段階から、子どもの落ち着きなどが気になり、療育を利用させて頂きました。療育の候かは目に見えてわかるというわけにはいきませんが、長い時間をかけ、今では、わが子の力になっていると感じています。保育園の先生方、きらり水島の先生方は、子どものことをとてもよく考えてくれて、私も安心して相談できる環境にいられたことは、とてもありがたかったです。私だけでは無理だったことも、色々な方の、力を借りて頑張れたのかなと思います。ありがとうございました。
- 保育園での力については来ても、小学校への不安があり他の子と同じようにやって行けるかが心配。小学校での普通学級へ行くべきか特別の方へ行くべきか迷う。また行く小学校に特別学級があるかわからないので知りたい。小学校で普通学級に行った場合、担任の先生が理解をしてくれるかが不安。本人ががんばっても、ムリな事もあると思い、まわりが理解をしないとつぶれてしまいそう。とくに担任がイジメないか心配。
- 療育を必要とする子供が増えていて、なかなか難しいかとは思いますが、その子供によって療育の必要性は違うので、一ヶ所のみでしか受けられないのは考えてほしいと思います。
- 今、5歳で来年小学校入学にあたり、支援級、支援学校入学の基準が分かりにくい。どの様にして決まるのか？知りたいです。
- 幼稚園に通っていますが、他にも療育を受けられているお子さんがいると思うのですが、ほとんどの方が非公開にされていて、後々になって受けていたことを知ることがあります。デリケートな問題で人に簡単に言えないので孤独にされている方もいます。園の方で療育を受けられている子の親御さんのための雑話会みたいなもの園長先生が開いてくれないかな？と思ったことがあります。その会で交流を持てたら色々なものを共有し合えるのではないかと思います。なかなか簡単にできることではないかもしれませんが、孤独に1人悩まれている方が一人でも減ればと思います。
- スタッフの皆様は、とても親切で子供をよく見て下さり指導して下さい本当に感謝しています。
- 療育へ通うようになり少しずつ子供の成長を感じる事が出来る様になり良かったです。悩みはつきないですが……。子供のために今後も良い方向へ成長できるよう考えながら取り組みたいと思います。上記の連携にも簡する事ですが特にスタッフの方や園の先生方には本当に良くして頂いて感謝しています。
- 我が子は、発達障害の特性はあるものの診断レベルにないグレーゾーンと言われる枠なのですが、、、目立つタイプでもないし、家庭で生活することにおいては特に困ることがないため、子供の真の弱い所をしっかりと把握できていないのが現状です。療育等の集団の場で目立ってくる苦手なところなどを具体的に教えてもらい、具体的な支援方法（家庭でできることがあれば）についても、教えてもらえるとありがたいと思います。
- 小学校にあがるまでは、時間にも余裕があり、療育も週に2回行っていました。場に慣れに草がある子供のため良かったと思います。今は、小学校にあがり、週1回1時間の実放課後デイに行っています。場にもなじめずして欲しいことをする前に場なれして終わっている様に感じています。利用者が多く一施設に余裕がないこと、家から少し施設が遠い等あり、利用時間が少なくなっているようにも思えます。児童発達支援員が学校等の空き教室等を使用し、放課後に支援しに行く。学校との連携を取るというのは、通級（教育委員会）とのこともあり難しいのでしょうか。お役所の横の関わりを密にさせていただくようにするとより良いものになるような気がします。（あとこのアンケートですが、名前等を記入しなくても、だいたい質問の答えで誰が記入したかわかると思います。）
- 住んでいるところで、療育に行ける回数が違うことが不満です。倉敷市も回数を増やしてほしい。

- 年を重ねるたびに療育機関の数が減り、一番受けたかった小1-小4の間は可能な受け入れ先はありませんでした。日中一時についても、知的レベルが通常相当あるのと、身体的ハンデが表面化していないという理由で思うように利用できなかったと感じることが何度かありました。必要な人が必要な時に必要な療育を受けられる時代が早く来てほしいと願っています。
- 療育に行っている我が子のことを、初めてみるお母さんたちにどう説明したらいいのかわからない。ただ、叫ぶ子。落ち着きのない子。先生のいう事を聞かない自己中心的な子に見えるんだろうと思う不安が当初ありました。言葉だけじゃ子供に伝わらないこともあるのでできれば済む問題じゃないことをどう理解してもらえるのか心配です。
- 放課後デイの月の支給日(?)が5日なのですが、長期の休みに10日程増やしてほしいです。
- 学習面では、療育に通う前は、通信教材と公文に行って毎日できないところは量でカバーさせようと怒ってやらせていた。でもレインボーに行きだしてからは全てやめて、基礎の繰り返しや学校で習った面白かったことや興味を持ったことについて深めていくように家庭でもしてみた。療育の先生方みできる所をたくさんほめてくださるので、良は減ったはず、内容は難しくなったはずなのに、日に日にテストいい点をとるようになってきた。小さい頃のことを申し訳なく子供に思うと共に、療育に出会えてよかったと思う。
- 療育のスタッフのプロの意識の高い人が多くいるわけではないので、そういう方がこれから先、増えてくれると親は心強いです。
- 受け入れの日数を増やしてほしい。
- 医療機関にかかったものは、自力で療育先や相談員を探さねばならない制度は非常に不公平である。右も左も分からず自力でアポイントメントをとることの大変さ、療育機関によっては「相談員を通せ」と、相手にもされず見学もさせてくれなかった。受け入れ順番待ちも個人で待つより相談員さんを通したほうが早いという優遇もあるようだ。自発的に医療機関に行って頑張った者より、検診をただポーッと受けた方が楽に早く受けられるのは、正直者はバカをみるで納得がいかない。
- 療育に入る際、週1回プラスキャンセル対応で、週2にしますと言われたのに実際はまったくキャンセル対応などしてくれない。相談員さんや市の方には受け入れているというポーズをしているだけで、これでは不満である。キャンセル対応もよく呼ばれる人と、そうでない人の不公平もあるようで、透明性がなく非常に不満である。• 障害の重さに合わせて療育時間も割り振るべきだ。医療機関の診断も受けていない軽い多動程度の子が週何度も入れて居たりするのはどうかと思う。その基準をもっと厳密にすべきだ。本当に困っている人が受けられないのでは意味がない。
- アイランドは送迎があり、フルタイムで働く保護者にとっては非常にありがたい。他の療育施設も考えたが、送迎を考えると、条件にあわなかった。保育園への送迎は、本当に助かっています。
- 発達支援事業所のスタッフの方は、障害のある子発達に不安のある子への理解がある方がスタッフとしていてくれるというイメージがあるけど、小・中学校の先生は、どれくらいの方が障害のある子を理解してくれているのだろうかと思う時があります。「障害」「病気」「アレルギー」「薬」「緊急時」「問題児」「毒親」「教師のモラル」など、障害、病気の子を持つ親となってから不安になる言葉が増えました。園、学校の先生の方だけでどうにかできることではありません。子供の命を守るために、先生たちも助けを求めてください。校長・教頭・ボランティア・業者・様々な人をフル活用して、学校のトイレをいつも大人の出入りがある状態にしてください。そうすると「学校内でのいじめ」は激減します。適度な監視は人を成長させます。

- ・3年前岡山から倉敷に家をたてて引越したんですけど、近所に歩いていける公園がまったくない。倉敷には公園がすごく少ないと感じる。もっと子どもがあそべる公園をいっぱい作って下さい！！子どもをどこであそばせればいいんですか？近所の子は家の目の前の道でサッカーをやったりしていて、ボールの音や声がうるさいと感じます。夏休みのラジオ体操もうちの家の目の前でやっています。子育て支援センターも行ったけど、クラスとかイベントの時は満員でぎゅうぎゅうぼくて、あんまり楽しくないし、今はもう全然行ってません。もう少し子どもが（親も9楽しめる所があればいいと思います。今はそんな感じで子育てがあまり楽しいと思えません。学園から帰ってからの時間の過ごし方がよくわかりません。公園も車じゃないと行けないし。あと療育しせつがもっと多くなるといいと思う。待っている人もいっぱいいるみたいだし。
- ・自分の子供に障害があるかも…？と言われた時、多くの母親はショックで中々現実を受け止めることが出来ません。ハイそうですかと行って療育に行き、きびしい現実を受け入れて明るくなれる人などほほえないのです。ほとんどの人はガタガタふるえる足を一步一步がんばってふみだしているのです。受け入れるのに時間がかかるのです。お医者さまやケアプランを作成する方、保健師さんや療育の先生などにはきびしい事をいわれ、心ない言葉に傷ついて一歩がふみだせない方もおられます。生意気な事を言って申し訳ないですが、お話をされる方は受け入れる保護者の気持ちによりそってアドバイス出来るように勉強された方が良いのでは？と感じる事が多々あります。それから個人的な好みを保護者に押し付ける相談員の方もおられます。〇〇病院の〇〇はだめだ…とかいったような内容の事を平気で言って、私は〇〇病院を信用していますという大変ご立腹なさるので、どういう事なのかとあってしまいます。その辺りは改善して欲しいです。
- ・就学前までは療育機関も多く選択する事ができたが、就学後は事業所も少なく、希望の事業所には入れなかった。また、就学前は保育所と療育のスタッフとの連携がとれていて、困った時に保育園へ訪問してもらい、保護者、保育士、療育スタッフで統一した関わりがとれていた。就学後は、何か問題があっても、学校ではその場だけの対応で終わってしまう。リハビリも2年生の夏で終わってしまい、放課後等デイサービスも待機の子がいるのか「卒業ですか？」と聞かれ、子どもの受け入れ先や親の相談する場所がなくなってしまうのではないかと不安になっている。就学後も質のよい支援ができる事業所が増えてくれれば長期に渡って支援してもらえないかと思っている。
- ・自宅から通園させる距離が遠いこともあり、センターへ直接行って先生の話の聞いたり相談したりするのは電話のことが多く、連絡帳だけでは伝えきれない事が多いです。センターで行事があった時など行く予定の時にまとめて相談することも多いため、もっと療育の施設が増えることを望みます。
- ・発達支援の事業所がもっと増えるといいなと思います。
- ・玉島地区の事業所数が少ない。市の方からも事業所にすすめていただきたい。また、事業所を開設する場所を市から提示しても良いのではないのでしょうか。
- ・親子通園のクムレさんに通わせてもらっているのですが、関わりを学べて先生方が親自身の変化や子供の変化を伝えてくれるので、自分自身も変わったと思うし、子供も成長できていると感じてとても嬉しいです。家での実践は、子供が2人（本人合わせて）いるのでなかなか療育でのように関わってあげることが難しいですが、今年1年行けて子供1人に対して時間を作ってあげられたことも良かったと思います。どうしても大人でも1人の人間なので、イライラしたり、子育てでいっぱいになってしまいますことがおおいですが、座談会や勉強会を通して他のお母さん方との話し合いや職員の方が聞いてくれることで気持ちも落ち着くことが出来て、子供にとっても親にとっても療育に行けて良かったと思える1年でした。

- 就学後のフォローを放課後等デイサービスに決め、夏休み前から見学に行っていました。それでも来年度（就学前・後）の用意や手続きで慌ただし2〜3月です。アンケート、6〜7月ぐらいにしてくださいませんか？色々重なり負担になります。下の子を見ながら、母親一人で全て行っている状態です。“保護者”で主人の名前を書きますが、実際は子供のことはこちら任せです。
- 療育に通い、事業所のスタッフの方々と話をする中で、子供への接し方を教わり、どのような接し方で、どのような発達が進められるかを知る事が出来た事はとても良かったと思います。
- 療育を利用するようになり、今まで本人が困っていたことを少しずつ解決できるようになっていると思います。それまでは、「どうしてこの子は」と母親の私がどうにかしないとダメだと思っていました。他のお母さんとの関わりも私が避けていたように思います。私が本人との関わりもきりぎり児島さんで教えていただいたように思います。療育を利用するようになり、色々な面で良かったと思っています。
- 小学生になってから療育の取り組みが激減し、その時どうしたら良いかと思っている。高機能タイプの子供に対するケアが手薄な感じで成長した時、どのようにしていけばよいか不安が大きい。
- 連絡帳に相談や気になる事などを記入していると、毎回、丁寧に返答して頂けるのでとても助かっています。
- with ひろば早島は、スタッフの人も優しく子供に接してれているし、説明も、すごく丁寧にしてきているので、とても満足しています。少人数というのがまた良かったです。子供にとっても。
- デイサービスを行っている事業所が少ないと感じています。（子どもの）成長とともに、悩みや不安、支援を必要とする事は変わらないのにサービスをうけたい人達の方があふれていて思うように利用できていません。
- なにもかもが初めてのことばかりで、保育園の方からも話をされた時「なぜうちの子が？」と不安に感じていたんですが、本人に「行ってみたい？」と聞くととてもうれしそうに「行ってみたい！」との返事が返ってきたのでこの1年間お世話になりました。親は、とても不安だったのですが、毎回きりぎりへ行くたびにとても楽しそうだったので段々行って良かったと思いました。集団の中での困ったことなどを先生に言うことが中々できない娘にとっては、きりぎりの先生との個別で関わってもらえることがうれしかったみたいです。1年間ありがとうございました。
- 家での関わり方など、情報が少ないのでもう少し紙にまとめるなどわかりやすくしてほしい。
- 職員の異動（あまりにガラッと変わり過ぎる）があまり多いと不安になりますので、十分な説明をしてほしい。（引き継ぎなど気になります）。
- 子供の発達について不安をずっと持っていて1歳半、3歳児検診で他児と違う、少し手のかかる子供だと思っていました。保健師さんのすすめで療育をはじめると母親である私はショックもありましたが、良いことだと思って話をすすめましたが身内は、子供は普通だと思う、療育に通わせなくても・・・と難色を示しました。通いはじめても「普通の子供・・・」と言われる。子供は何も知らずに楽しく通っています。一番不安なのは、小学校に入る時に、普通学級に入れるのかどうかです。知人の話を聞いて（支援学級？）3年生の子供が1年生の勉強をしているらしいと聞いたので、普通学級とそこまで差がついてしまったら、ずっと追いつけないのでは・・・？と心配しています。身勝手ですが、親としては普通学級に通うための3歳からの療育（保育園卒園〜1年生まで）を始めた理由です。

- 就学にあたり、療育先からあまり声かけがなかった。(保護者が話しかけたら、十分に相談にのってくれましたが、もう少し「何かあればいつでも言ってくださいね」みたいな声かけが早めにはあると安心します。・相談したら、しっかりと話しを聞いてくれて、丁寧にアドバイスをくれます。
- 保育園からの紹介で、一番初めに相談に行ったゆめぱるは、事業所の一覧リストを渡してただけで、何もしてくれなかった。今ならどの事業所に空きがある、とか、空きがでたら連絡する、とかそういう事はまったくしてくれず、後はすべてこちらが手探りで探さなければならず、その後どうなったか1~2回TELがきただけだった。事業所を利用するためにはゆめぱるを通さないといけないので、連絡したが、正直ほとんど必要性を感じなかった。利用する側は、不安でいっぱいなので、通える事業所を探す手助けをもっと積極的に言ってほしかった。
- 利用などが、もっと自由にできて学年が上がっても同様に利用できるといいと思います。今は月1回のみで、2年生までで終わりです。自由にとっても計画準備があるのでそう簡単にはできないと思いますがなかなか近くに良いと思う新しい施設がなくて行きたくても、3年生になってからは、利用しない方向です。
- 子育てをしていく中でストレスに感じたり悩みをかかえたりすることが多いので、保護者どうし悩みを打ち明ける場が身近にあればいいのに・・・とよく思います。発達障害のある子の特性を理解した上で相談にのってくれるような場もあれば助かります。一度とある場所へ相談にいったのですが、一般論を言われて、あまり納得のいく話になりませんでした。
- 実際、学校と療育先、福祉の方みんなで、話し合いの場を設けて下さって、みんなが同じ方向性で対応してくださり、子供も、やっと、落ち着けるようになりました。学校の先生、療育の先生には、本当に感謝しています。家だけでは、親も負担に思うこともたくさんあったり、悩んで1人ではとてもつらいと思うこともありましたが、学校・療育のフォローで、どうにか、やってこれています。
- 我が子は、来年三年生になります。今お世話になっている事業所を四年生では、通えなくなると伺っています。子供自身も、私自身も、先生方によくして頂いている現状で、また一からというのは、正直不安もあります。いろいろな場所で、新しい人間関係を広げるのも、本人や私自身の良い経験になるのかなと、一方では思ったりもします。学習支援の方も大切だとは思いますが親の要望、その子の状況に応じて療育を継続する選択肢を与えて頂けたら有り難いです。
- 子供のために将来に向けてどういう風にしていってあげることが一番なのか・・・いつも不安です。ゆめぱるさんや事業所さんなど相談する場はありますが学校の先生も大変だと思うので学校に発達支援の先生をふやし先生からみだ目線で子供のことについてアドバイス等をいただけたら良いのかもわかっていいなあ・・・と思ったりします。もっと児童発達支援に力を入れていただけたらうれしいです。
- 親が子供に接するとき、どのようにすればうまくいくか、相談や指導する場があれば、家庭生活が安定して、子供の発達をさらに促すことができると思います。
- 受給者証の申請にとっても手間がかかります。相談支援センターで書類作成してもらい、支所まで提出しなければいけません。一度ですべて手続きできるようにして下さい。毎年、診断書料がかかるのがとても負担です。(療育手帳などのため)せめて500円にするなど料金を下げてほしいです。送迎ができる場所を増やして下さい。働いている方優先で兄弟が多くて大変でも赤ちゃんがいて大変でも優先されません。療育に連れていくのが負担になってしまいます。困っている子供や家族が利用しやすい療育をもっと増やして頂けたらと思います。

- 小学校になっても、何かあれば相談にのると言ってくださり、温かい先生の言葉に感謝しました。
- 療育に行く時には自家用車で行く、帰りは送迎でスタッフの方に送ってもらいましたが、療育時間は13時~16時までなのに、送迎の車は事業所を15時半頃に出発するようでした。本来ならあと30分貴重な時間を療育に充ててもらいたかったのですが、送迎の為に前倒して自宅に送って頂いていました。車でお迎えの場合は16時までに迎えに行くようになるので、30分多めの療育を取るか、送迎を取るか悩みました。送迎が16時以降だと、療育時間を無駄にする事なくとても助かるのですが・・・
- 幼稚園では同級生の1/4が療育に行ったり、リハビリに行ったりしている。園訪問をされる事業所が多いのはいいことだが、先生がいろいろなアドバイスをもらい過ぎてちょっと困っているように思える。また、療育が必要な子が行っていないくて、集団行動できていないのが気になる。3才児検診などで全員発達検査すればいいのと思う。倉敷市は療育先が就学前まで多く満足している。私が今まで療育関係で出会った人たちは本当にいい方ばかりでありがたいです。このまま質を落とさないでほしいです。小学生以降の療育先を増やして頂きたいです。
- これから先、しかるべき事業所・学校・病院で子どもに合った療育・教育・リハビリを受けることができるのか、不安になる時があります。子どもの年齢や進路に伴い、利用する機関も変わっていくと思いますが、その時、親の希望や本人の発達段階に見合う機関を利用できるのか、気になります。
- 最初は数値的にもいわゆるグレーゾーンと呼ばれるところだったので通所を迷っていましたが、今は通うことに決めてよかったと思います。送迎してくださったり本当に助かっているの、倉敷でも運転しない方はたくさんいると思うから他の施設でも送迎があったらより良いと感じています。明るく本当に優しい先生方ばかりで子どもいつも療育の日を楽しみにしています。
- 療育を受けるまでが少し分かりにくかったです。まずは「ゆめぱる」さんにいきましたが（思いついた時、時間が取れた時などに行きやすい、聞きやすい又ある程度パンフレットなど手に入るなどの理由で）療育さん側からみれば相談支援さんが主にいろいろこちら側との療育さんとの相談にに応じてくれるようでした。そうでないところもあるのかもしれませんが、ゆめぱるさんが「まずは、相談支援さんに連絡をとってから」と教えてくれたら（あちこちいなくても良かったようすし）と思いました。子どももよるこんで通っているの、やはり療育をうけることにしてよかったと思っています。今は学校、療育をうけていればそちらの支援の方が主な子どもとの直接のかかわりのあるところとなり、（孤独感はあまり感じていないですが学校生活がなくなったあと、子どもたちのことを相談やいろいろなことを教えてもらったりするところ、又は、子ども自身がそういうところの存在をしていたり、関わり方を知っているということがこれから必要ではと思っています。親としてもそういう関わり方を学んでもらいたい。できるようになってほしいと思います。
- 今は学習支援でレインボーに通っています。言葉がうまく使えないので言葉の方面は病院でリハビリを受けています。しかし、病院はなかなか予約がとれず、1カ月に2回だったリハビリも今は2カ月に1回しか受けることができません。定期的に通える療育の事業所の中にも、話す訓練のように専門手に特化したものがあれば助かるなあとと思います。療育やリハビリで追いつけない所を家でがんばっていたのですが親である私が疲れてしまいました。息子に合うように考えた自主勉や日記をかかせることなどががんばっていましたが、どうしても今は作ることができません。しばらく休んで、また再開すればいいと思っているのですが、妙なあせりというか、やってなくていいのかしら？この子の困り感が少しはなくなるための努力をおしんではいけないんじゃないのかしら？と自らを責めてしまいます。

- もっと療育施設を増やしてほしい。
- 療育の先生、保育園の先生が、息子を受け入れ、接していただいております。本当に感謝しております。1つ思うことは、保育園の先生が障がいを持っている子供に対して接するのに、どうしてよいかわからない方が多いように思います。療育の施設だけでなく、保育園、幼稚園にも障害児のことについての専門の先生が1人でも入っていただくと、ありがたいと思います。
- 子どもと関わってくださっている療育の先生方、園のみなさん、ゆめばるの〇〇先生など本当に日々感謝の気持ちでいっぱいです。正直、保健所の気になる子が通う教室のころは、まだ受け入れられないのに色々と事が進み療育に通うことになり（今思えばとてもありがたいことです）正直死んでしまいたいと悲観していたこともありましたが、少しずつ療育先での勉強会や発達障害のことを知っていき、子どもの特性など彼自身のこと、将来の自立への小さな一歩ずつであること、たくさんのこと教えて頂きそのなくでも子供の成長をうれしく感じられるようになりました。その中でもママさんたちとも少し話すだけでも、私だけじゃないと少しリラックスできる機会も増えました。ひとりじゃないよの冊子など作ってくださった先輩ママさんたち。小学校へ上がること分からないことばかりで不安ですが、あの本のおかげでたくさんのことを分かりやすく知ることができ、ありがたいです。小学校のクラスの関係など色々とあると思いますが通級教室を各学校に作って頂けると親も不安が減ると思います。放課後デイサービスに関して、きちんとした事業所を増やして頂きたいです。せっかく園+療育でうまくいっているので小学校に入ってからをそういう場が少ないということが親としてはとても不安であります。が、いつまでも子ども一番の理解者でいられるようになりたいと思います。
- 日中一時支援事業所が少ない。安心して預けられない。虐待もある。（暴力だけでなく言葉なども含めて）管理のために抜き打ちで見に行っただけの方がよい。ちゃんとした所はやはり人気がありは入れない。仕事があれば仕方なく預けるようになるが子供に申し訳なくなる。発達障害が増える中で新しい事業所も増えていくと思うが安心して預けられないなら必要ない。療育は、安心できるが事業所も少なくなるか行けるところもない。レインボーはやっとはいれました。
- 昔ならば、個人の性格や特徴といわれていたことが、最近は発達障害の為に決められる事が多いように思います。また、事業所・医療機関の先生では所見が異なることもあるようです。受給者証の更新手続きに市役所にお伺いした折、前年の手続きの時の顔や様子について覚えてくださっていてやさしく質問やお声がけをいただき驚きました。ありがとうございました。
- 三才になっても言葉が単語が少しかったので小児科の先生の紹介で、病院で検査してもらって2・3カ月バタバタして療育に入らせてもらう事ができて、先生方のおかげで少しずつ成長させてもらっています。今まで、普通に子育て、中1、小5と育ててきました。3番目だったのでのんびりまわっていましたが、少しのんびりまちすぎたと反省しています。この先の不安や心配もありますが、4月から発達支援センターに通える事になっています。倉敷市のめぐまれた環境に感謝しています。息子が、元気に笑顔で成長して行ってくれることを願っております。
- 療育機関が小学校2年生で終わってしまうので次の機関（ずっと大人になるまで継続して相談できる場所）がなく大変困っている。
- 利用額が高いと感じる。うちの子は発達グレーゾーンでコミュニケーションがとれないことで療育に行かせているがただ年齢に依ってしゃべれるようになったのか、療育に通わせてここまでなったのか、分からない。正直な気持ち、お金（利用料金）が高すぎて通わせるのを中止しようと考えてしまうことがある。
- 子どもの相談できる場がどこにあるかすぐにわかる情報がほしい。

- 今回のアンケート結果はとても興味深いのでホームページだけでなく（パソコンがなく見れないので）アンケートに協力したところには結果を知らせてほしい。
- 発達障害の事がテレビのメディアで取り上げられていて今でも障害がある子どもたちはいじめられていてひどい場合は過激な犯罪に巻き込まれる事は増えていると思います。性科学会にしても渡仲三医師ソノミピョン産婦人科の差別的な研究や治療によって妊娠をした女性たちは中絶を迫られる人はほとんどで運がよくても赤ちゃんポストに入れられ施設に入れられ惨めな生活を余儀なくされます。また、家庭環境にも悪い影響を与え子供たちはぐれて過激な犯罪をおかす子供たちは増えて弱者障害者が過激な犯罪に巻き込まれる事は増えています。自分が犯罪に巻き込まれないかどうか不安です。
- 療育がいつまで続くのか？（続けられるのか？）年齢制限があり、次の行き先（信頼できる）が決まらない不安がある。
- 希望の施設は、すでにいっぱい、「空きも出ません。キャンセル待ちの受付もできません。」と言われてあきらめました。
- 支援学級を希望しましたが普通学級となり、入学後が心配です。途中での変更は容易ではないとも聞いていますし・・・
- 療育先のスタッフの皆さんや支援員の方には、本当に熱心に対応していただき、ありがたく思っています。親の方に相談相手ができ、心の余裕を持てるようになったことで、子どもへの対応も、おだやかに接してやることが多くなりました。市への要望としては、他市から転居し、療育を始めたのですが、受けようと決心し（6月）、長い予約待ちして実際に診断を受け（10月）、療育を受け始めたのが12月からと、スタートまでに半年近くかかったことは、改善すべき点では、ないかと思います。転居前の自治体では、グレーゾーンの子供たちも発達支援センター主催の教室で療育を受けることができていました。転居前にゆめばるに相談した時にも、「様子を見られてはどうですか？」と早期療育に積極的ではない印象を受けました。予算など色々なるのでしょうか、小・中学校での不登校や問題の防止、早期対応で小学校での支援員を減らすこともできるのでは？と思います。早期療育の大切さを現場の先生や、健診に来ている保護者にも、もっと知らせた方がよいのではないかと思います。支援先を探すのも、一件一件、空きを確認し大変でした。これも支援センター等で情報をまとめていただけると、一度の確認ですみ、下に小さなお子さんがいる保護者の方などの負担が減り、時間も短くなるのでは？と感じました。面談（相談支援員・療育先・ゆめばる）も同じ質問もあるので書類を統一するなど工夫してほしいです。（手続き時短化）
- 保育園の施設の中にもっと療育が受けられる場所があればと思う。保育園～療育施設に通うためには、親が仕事をしているので通うのが難しい事が多いと思う。
- 通園のための送迎サービスがないので、私が復職したら通園できなくなるので困っている。移動通学サービスは学童以上でないと使えないとのことで、就労の障がいになっている。有償のものは、使用できるが、毎日となると費用がかさみ、私が働く意味がなくなる。通園サービスの充実をはかってください。（特に働く親においては・・・）→結局、就労しない方がよいということになる。働くママを支援してほしい。
- 療育園退園以上の受け皿が少ない。（15歳以上） 介護者の就労を促すためにも、学童保育のようなものを作ってほしいです。
- 障害児をもつ親の就労支援を本気で支えてほしい。様々な条件での働く環境を可能にしてほしい。納税者にもなれるし、健康な心を取り戻すことにもつながる。

- 未就学児の事業所は多いが、就学児の事業所が少ないので、就学児の事業所も増やしてもらいたい。
- 本当に就学前にすばらしい療育機関と病院に恵まれて、たくさんの支援を得られ、現在小4で支援学校にお世話になっていますが、学習面でも、特性など（感覚過敏の為大人数は苦手、本人もなかよしは落ち着いていいと自ら望んで通っています）も理解し、さらに精神的な悩み（自分は他の事は違う？ストレスからのチック？）なども相談もさせて頂き、学校面でも支援はとても有難いです。本人もとても落ち着き、パニック等もなくなり、いろいろ自分で出来る事も増え、精神的にも成長しています。ただ小学校に比べて本当に少ないことです。小1に入る時、次の療育先を探していましたが、定員オーバーや期間限定（2年間のみなど）で、せめて小6ぐらいまでお世話になりたいです。小学校も高学年になると思春期や体の成長もあり、やはり親だけではサポートしきれない面もあり、子供たちのいやしとなるような、相談仲間などの療育があってほしいと思います。
- 小学校になっても療育を利用したいが受入先が少なく空きがない。子どもの特性にあった療育を受けたいです。
- 療育という言葉に初めて触れた時は、しっかりとした子に産んでやれなかった自分を責め、苦しかったですが、子供の未来を考えた時、これからの人生を少しでも生きやすくする方法を教えて下さるのならと思い、通うことにしました。1年間、通うことを通して、子供の確実に成長している姿を見て、選択にまちがえはなかったと思っています。市の発達支援の機関をはじめ、療育施設、多くの方々に助けて頂いたことを感謝しています。ありがとうございました。
- 児童は、やや増えてきたが、小学校以後の療育機関が少ない。利用したくても、遠方の学校後だと利用がほぼ出来ないで学童の療育機関を増やしてほしい。児島地区は特に少ないように思う。
- 最近、すごく療育に行くことをイヤがる。子供はまだしゃべれず、何がいやなのかわからない。保育園はイヤがらないのに、療育はイヤがるので、何かあるのかと不安に思う。以前、何度か療育に迎えに行った時、朝行く時にはなかった傷やアザがあることがあり、先生に聞くと「朝からありました」や「わかりません」と言われた。そういったことが重なったので少し不安。今よく障害者施設などで虐待のニュースを見るので、そういうのがあるのかな？とってしまう。
- 夫婦共働きの片親世帯が多い中、療育に通わせることが「つれていけないから」むずかしいケースも多いと思います。我が家も祖母の送迎協力がなければ通所ができません。又、夏休み中など、日中一時と放デイが同じ日に使えないために放デイをあきらめる人もいると聞いています。どうして同じ日に使えないのかわかりません。別のサービス(?)なのに。
- 健診で、成長が遅いと言われ、悩んでいましたが療育に通うことで先生方も一緒に考えて下さり、親の気持ちが楽になりました。子供も楽しく通っており、感謝しています。これからもお世話になろうと思います。
- 療育に通いだして、子供の成長をすごく感じられます。子供の成長はそれぞれだと言いますが、あきらかな言葉の遅れや、物事への強いこだわり親として心配と不安がありました。療育に通いだしてから少しずつ言葉が増え、発音はまだ少し苦手ですが会話ができるようになり、息子の意志を理解できることがとてもうれしいです。また、息子の特性を医療機関や療育のスタッフの方から聞き対応の仕方を教えて頂いたことで、息子への接し方が分かり育児に対する私の気持ちが楽になりました。今では療育に通ってなかったらと思うと怖くてたまりません。療育のスタッフの方や息子が療育に通うまでに相談にのってくれた方々に感謝しています。これからもゆっくりでも成長してくれる息子の姿が楽しみです。

- 必要としている方々へ療育の機会をもっと・・・受けてほしいと思う。うちの子だけが受ければいいというものではない。一緒に学び、成長していきたいと思う。本人とどう関わっていくか・・・本人の困っていることをどういった支援をしていくか（日常生活）・受け入れ体制がないことにいきどおりを覚えます。保護者からも伝えていますが専門機関からの方が心強いなあと思ったりします。
- 小学校になると相談する場所が少なく、日頃は問題なく過ごせていても、何が起きた時に、病院だけでなく、今までお世話になった療育機関を利用できればと思います。小～高での専門スタッフがいれば、思春期の時など、一生を通じて利用できれば安心だと思う。
- 受給者証の更新の時の手続きが大変。医師の診断書も必要で経費や手間がかかる。
- 普段の生活ですごく困る!!ということがなくなっています。他のお母さんたちに療育のことを言うと「普通だよ」「療育いなくても大丈夫だよ。」とよく言われます。でも、何かの会の時には必ずじっとできず立ち上がったたりいつも体のどこかが動いていて止まらない。いつもと同じことはできるが急な変更だと不安になってしまうなど親から見ると気になる事も多々あります。今はまだ幼稚園ということで子供の様子を見れることも多く、先生とも不安なことはすぐに伝えられる状況ですが小学校に行けば同じようにはいかないのだから、上手く子どもの特性を理解してもらえるかが不安です。はたから見れば他の子と同じだから、わがままで言っているだけとか話が聞けなくて不真面目だとか思われるんじゃないかと今から心配です。
- 小学校からの療育施設を探している状況なのですが、待機ばかりで、受け入れ先がまだ決まりません。必要とされている方が多くいる中で、療育が充分受けられないという状況を悲しく思います倉敷市は比較的、就学児の療育回数など、不十分な点が多々あると思います。子供たちの将来の為に、今必要な支援を受けることの出来る環境を作っていただきたいです。
- 自分の子どもなのにどう接していけばいいのかわからないことが多く悩みがつきません。将来のこともこの先どのように成長するのか不安です。
- 我が子は春から小学生のため、今までの保育園・療育の先生とはさようなら～です。すべてリセットされて、また一から始まることに対して、制度といえども・・・という思いが。だからこそ、長い目で継続して子の成長その折々の問題・親の苦悩によりそい助言をもらえる人が欲しいなと思いました。最近ケアプランだけ立ててもらいましたが、もう半年以上も、その型とは会ってないし、園に様子を見に行きますと言われて一度もこられてないし、なんだか遠い相談相手です。まとまりなく書いてしまいました。すいませんでした。
- 療育というどうしてもコミュニケーション部分ばかりが大きくなって身体的なことの専門家が少ないよう感じます。もっと身体的な部分(P TやO T等)を重点的に行ってくれる療育機関があるちいいなあと常を感じています。以前、ゆめばるに相談した時非常に嫌な思いをしました。もう少し相談者側に立って相談にのって欲しいと言ったら、ここではそういった相談にはのれません。病院に行ってください。と断られました。ゆめばるではそういう相談や悩みにのって頂けると思っていたのはっきり断られて正直びっくりして、その言い方にも不快な感じを受けました。
- 玉島保育園に年中・年長通っています。障害児受け入れ対応されている影響か、健常児のお母さまからは「ゆるい」「この年齢でなわとびが〇回とべれば平均なのかが、玉保にいたらわからない」など聞きました。私は「大らかに見てもらえる」ので、子供ができない。できない。と否定的になったり、いきたくないと言わずに毎日それなりに楽しく通えてきたと思っています。健常児の保護者とは理解しあえないと思うので、保護者には無理にこんなことで困っている子がいるよ。とか知らせたりしないでいいです。子供どうしてやりやすくなればそれでいい。

- その時の担当保健師さんによって、対応がちがいすぎてとまどっています。担当になりましたと電話1本、1回で終わってしまう保健師さんもいれば週に1回電話で話し、わざわざ時間をあわせて自宅にも会いに来てくださった方もいます。うちのようにリハビリに行ったり養育も利用したりしているお子さんは少なくないと思います。でも私たち母親が連携してほしい、情報交換してほしいと思っても、どう行動すればいいかは分かりません。うちは本当に行動力ある保健師さんと出会えたので連携をはかっていただくことができ娘の成長も本当に感じ、感謝しています。電話だけで終わらせるのなら連絡はいいですね。話をしても何もしてくれないので。時間のむだです。保健師さんの仕事の基準をきめてほしいです。どこまですればいいのか、お子さんにとって何が必要なのかプロとして一緒に考えてほしいです。
- 就学してからの事業所がとても少なく入りたくても入れない特別学級に入るほどではないが療育を必要とする子の受け入れ先がなく、仕方なく普通学級のみになってしまう流れをかえてほしい。
- 仕事をしているため療育の送迎が大変だ。送迎のシステムがあるが車の台数が限られているため、来年度は難しいと言われて調整に困っている。療育では外遊びや指先を使った遊びなど、いろいろなことを体験させてくれて、本人もとても楽しんで通う事ができている。療育に通う子供(通いたい子ども)は多いのに、施設が足りずなかなか通うことができず苦労した。支所でも療育施設を紹介してもらえるとありがたい。
- 昨年、療育施設で支援計画を見直して、1ヶ月程で相談支援のお世話になりました。うちは1つの施設でしか療育をうけておらず見直し直後なので書類を持参し参考にしてほしいとお願いし、実際そのようにして頂いたように思います。しかし、その半年後、療育施設の支援計画の見直し時期がきたとき「相談支援の計画が手元にない」というおそろしい話を聞きました。モニタリングも1年ごとでとお願いしていたのはこちらですが、唯一の療育施設に計画を渡さないまま市はお金を支払っているのでしょうか？手間ばかりが増え、新しいお金の払い先のせいで療育の時間短縮、質の低下につながる予算削減は本末転倒ではないでしょうか？計画書を書くだけなら学生でもできます。報酬を払う際のチェック機能も含め改善を希望します。一応、福祉課には電話でこの件はお話ししました。どこの施設かしつこく聞かれ、それも不快でした。自分の市で起こっている事を認識し、対処する方がたいせつじゃありませんか。
- 医療機関で子供のためにあーした方がいい etc 適切なアドバイスを受けてもなかなか思うように実践できないけど療育ではきちんと子供に合わせて分かりやすく指導してもらえるので本当に助かっています。
- 保育園に通っていた頃に好きだったあそび（音楽など）が療育に行くとなかたりで淋しい気もします。療育と保育園おとなり同士で(同じ敷地内とか)あればいいのにといつも思います。療育の先生にはいつも感謝しています。倉敷市には療育施設が多いといいますが、どこもいっぱいですよ。のびのびと通える施設が増えたらいいなと思いますし、障がい児に対する理解を普通の子の親にも知ってもらいたいと思います。
- 療育に通って色々な経験を積み成長したので療育の先生方、療育を紹介してくださった保健師さんに感謝しています。
- 療育内容はとても満足しているが長期休暇中も時間帯が同じため非常に利用づらい。夕方までの時間、何のサービスも利用できないので丸1日仕事を休むことになる。有給休暇で対応しているが年度末の忙しい時期には周囲に迷惑をかけるので困っている。長期休暇中だけでもどうにかならぬものかと思う。日中一時の事業所が少なくなっており困っている。

- 子供の特性もいろいろだと勉強になりました。はじめは受け入れ難く、よくわからなかった所も今となっては療育に通って本当に良かったと実感します。学校生活も特に問題なく過ごせているのも保育士さんのすすめがあったからこそのことと思います。
- 申請方法が複雑で保健師さんに相談するも情報が福祉課と違っている時があった。療育を受けている保護者の情報も参考にすると、多々ありすぎて混乱した。
- with では、とても楽しく心地が良いみたいで園よりも自由に行動、発言をしているみたいです。ゆえに先生方には困らせたりイヤな行動をしてしまっていると思います。が”療育”という場でそれにそった対応をして頂いて、とても安心して通わせています。私自身も子供との接し方等で相談させて頂いたりアドバイスをもらい、本当に日々の生活の中での支えにもなっています。
- グレーが一番不安がたくさんあり、一人っ子的の場合、性格なのか障がいなのか分からず日々悩んでしまう。だからといって時間がなく相談機関にもなかなか行けず、先々が不安でしかたがない。
- 保育園の間は大きな1つの集団を療育の小さな集団と場所が違い本人もなぜ行っているのかわかっていない部分があるように感じる。遊びの中でいろいろなルールを身につけていっているようなので療育に言って本当によかったと思う。小学校へ行くにあたって支援学級へ進むのですが同じか学校内で大きい集団小さい集団と分かれるので本人的にはどうなのか、周りの子の見方はどうなのか気になる所です。
- 春から中学生になります。中学生を学習支援しているところが少なすぎます。玉島にはありません。あれば教えてください。もっと支援を利用できる環境を増やして欲しいです。子供の特徴や接し方を理解して学習支援をしてくれるところが近くにないので中学生になるのが親が不安です。普通クラスなので学校生活よりも小学校のときのように本人が辛い思いをするのがかわいそうです。
- グレーゾーンの子供さんはどっちつかずな為、社会に適應する為のしつけの仕方が分からない(手遅れだと思う)。対応の仕方は、医療機関療育の先生に月1のペースでOTや相談をさせて頂きながら、本人に合った対応の仕方を実践していましたが(家庭でも)現時点で中3の思春期、反抗期に直面しています。親は子供に対して、アドバイスしても、聞く耳を持ってくれない。学習能力が乏しいが故に、負のスパイラル状態です。親の私も何かの障害を抱えていると思うので、言語一つにしても、まったくお手本にならないから成長も著しいままなのが痛々しくて、常に子育てに対して自信が持てず。日常親子と同じように、目に見えないストレスを抱えています。
- 現在通わせていただいているぽこあぼこさんは、スタッフの方のスキルや専門性が皆さん非常に高く、また保育園とも数ヶ月に1度の割合で連携をはかってくださり、家-療育期間-保育園、共通のやり方で子供を療育していけるという意味でもすごくありがたく恵まれた環境だなと感じております。また子供も少しずつ改善、成長が見られ早期に療育を行うことの大切さを改めて実感しております。しかし、親側のメンタルも維持していく難しさを常に感じており、どこへ相談するのが良いのか悩む所です。療育機関から受けたアドバイスは理解しているつもりですが、100%いつも大きな器で子供を受け入れてあげられるかばかりではありません。怒りすぎたり、感情的になって子供を傷つけるような言葉を言ってしまうたり、時には頭をたたいてしまったり、自己嫌悪に陥ることが多々あります。そんな時に親側の心理相談ができる機関があればいいのにと思うのですが…。
- 1年後は就学なので、1年間は大きな集団へという思いで幼稚園(年長)へ通うことに決めました。実際に4~5園、見学し園長先生と話し、それぞれの方針先生の考え方の違いに気付かされました。まだまだ受け入れや理解は厳しいなと感じます。その中で決めた園は、唯一私の思いと副園長先生の思いが同じで、とても安心して通わせられると感じ、4月から通園します。

- 園での様子を聞いたりみたりすると、我が子よりも利用したほうが良いと思う子が沢山います。利用のきっかけをもっとつくってほしいです。我が子が利用をだし、成長していく中で同じクラスの子が言葉や暴力でせつかくの成長がマイナスになります。園での対応がすごく大事だと思います。
- まだ4歳ですが、小学校が不安です。新しい場所、初めてのことにはとても敏感なので、周りにきちんと理解されるか、いじめられないか、2次障害を引き起こさないか、など、親である自分がもっとしっかり気持ちを持たなくてはと思うんですが、時々不安になります。
- 教員が普通学級と特別学級の両方を経験して、研修を深めて、集団作りにいかしてほしい。
- 保育園よりも、療育の方が少人数で対応してくれやすいのか、療育の方を好んでいきます。療育で使用している連絡ノートを園にもっていつているのですが、あまり園では活かされていないように感じます。療育ではできていても園ではできないということがたまにあり、その部分が少なくなってくれたらと思っています。
- 療育の時間は3時間なんですが、もう1～2時間増やしてもらえたらいいなと思います。
- 保育園や幼稚園でも参観日があるように普段こんな活動をしているというのを説明だけでは分からない部分もあるので実施にみる機会があったらいいと思いました。月齢が小さい子たちもいるから親たちが来たら普段通りに子どもたちができないということもあるのかもと思いますが、やはり自分の目で我が子の活動ぶりを見たいです。自分の子は人の子と比べてどうなんだろうということも相談したりする機会があればと思います。療育で色々な子たちを見ている専門家のスタッフさんからみた評価を聞いたりするのはあるのでしょうか。私の子はまだ通いだして1年もたってないのでそういうことを話せる面談などがあればうれしいです。

※できるだけ原文のまま記載しました。